



System x3100 M4

Type 2582

インストールとサービスのガイド





System x3100 M4

Type 2582

インストールとサービスのガイド

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、547 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、551 ページの『特記事項』、「保証情報」、および IBM Documentation CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： System x3100 M4
Type 2582
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1版第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について	vii
安全に関する注意書き	ix

第 1 章 IBM System x3100 M4 Type

2582 サーバー	1
IBM Documentation CD	3
ハードウェアとソフトウェアの要件	3
Documentation Browser	3
関連資料	4
本書で使用される注記	5
サーバーの機能および仕様	6
サーバーが提供する機能	9
信頼性、可用性、および保守容易性	14
IBM Systems Director	16
サーバーのコントロール、LED、および電源	17
正面図	17
背面図	21
サーバーのパワー・サプライ	23
サーバーの電源をオンにする	23
サーバーの電源をオフにする	24

第 2 章 オプション装置の取り付け

IBM ビジネス・パートナー用の手順	28
IBM への DSA データの送信	28
サーバー・コンポーネント	29
システム・ボードの内部コネクタ	30
システム・ボードの外部コネクタ	31
システム・ボードのスイッチとジャンパー	32
システム・ボードの LED	35
取り付けのガイドライン	35
システムの信頼性に関するガイドライン	37
電源オンされているサーバー内部での作業	37
静電気に弱い装置の取り扱い	38
サイド・カバーの取り外し	39
ベゼルの取り外し	40
下段ベゼルの取り外し	42
上段ベゼルの取り外し	43
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し	44
メモリー・モジュールの取り付け	48
Unbuffered DIMM (UDIMM)	50
ドライブの取り付け	54
DVD ドライブの取り付け	56
テープ・ドライブの取り付け	59
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	63
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	67
4U サーバー・モデルの内部ドライブ用の電源ケーブルと信号ケーブル	68
ServeRAID アダプターの取り付け	69

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け	73
熱伝導グリース	78
非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け	79
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け	81
取り付けの完了	83
ベゼルの交換	83
下段ベゼルの交換	84
上段ベゼルの交換	85
サイド・カバーの交換	86
ケーブルの接続	88
サーバー構成の更新	90
外付けデバイスの接続	90
サーバーのラックへの取り付け	90

第 3 章 構成情報と説明

ファームウェアの更新	93
サーバーの構成	94
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	97
ServerGuide の機能	97
セットアップおよび構成の概要	98
標準的なオペレーティング・システムのインストール	98
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール	99
Setup ユーティリティの使用	99
Setup ユーティリティの開始	99
Setup ユーティリティのメニュー選択項目	100
パスワード	105
Boot Manager の使用	107
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	108
UpdateXpress System Pack Installer	108
UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更	108
統合管理モジュールの使用	109
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	111
IMM ホスト名の取得	111
IMM 用の IP アドレスの取得	112
Web インターフェースへのログオン	113
組み込みハイパーバイザーの使用	114
Ethernet コントローラーの構成	115
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化	115
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化	115
RAID アレイの構成	116
IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム	116
IBM Systems Director の更新	117
最新バージョンのインストール	117

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール . . .	117
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール . . .	118
汎用固有 ID (UUID) の更新 . . .	118
DMI/SMBIOS データの更新 . . .	121

第 4 章 トラブルシューティング . . . 127

ここから開始します . . .	127
問題の診断 . . .	127
文書化されていない問題 . . .	130
Service Bulletin . . .	130
チェックアウト手順 . . .	131
チェックアウト手順について . . .	131
チェックアウト手順の実行 . . .	132
診断ツール . . .	133
UEFI/POST . . .	135
IBM Dynamic System Analysis . . .	135
DSA のエディション . . .	136
DSA Preboot 診断プログラムの実行 . . .	137
診断テキスト・メッセージ . . .	138
テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送 . . .	138
自動サービス要求 (コール・ホーム) . . .	139
IBM Electronic Service Agent . . .	139
エラー・メッセージ . . .	139
現象別トラブルシューティング . . .	139
CD/DVD ドライブの問題 . . .	140
一般的な問題 . . .	141
ハード・ディスクの問題 . . .	141
再現性の低い問題 . . .	142
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題 . . .	142
メモリーの問題 . . .	144
マイクロプロセッサ問題 . . .	146
モニターの問題 . . .	147
ネットワーク接続の問題 . . .	149
オプション装置の問題 . . .	149
電源問題 . . .	150
シリアル・ポートの問題 . . .	151
ServerGuide の問題 . . .	152
ソフトウェアの問題 . . .	153
USB ポートの問題 . . .	154
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗) . . .	154
自動ブート・リカバリー (ABR) . . .	155
ブートが 3 回失敗しました . . .	155
電源の問題の解決 . . .	156
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . .	156
未解決問題の解決 . . .	158
問題判別のヒント . . .	159

第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M4 Type 2582 . . . 161

交換可能なサーバー・コンポーネント . . .	161
構成部品 . . .	170

電源コード . . .	171

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 . . . 173

装置またはコンポーネントの返却 . . .	173
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 . . .	174
サイド・カバーの取り外し . . .	174
サイド・カバーの交換 . . .	175
ベゼルの取り外し . . .	177
ベゼルの交換 . . .	179
下段ベゼルの取り外し . . .	179
下段ベゼルの交換 . . .	180
上段ベゼルの取り外し . . .	181
上段ベゼルの交換 . . .	182
ServeRAID アダプターの取り外し . . .	183
ServeRAID アダプターの交換 . . .	186
内蔵ドライブの取り外しと取り付け . . .	190
DVD ドライブの取り外し . . .	192
DVD ドライブの交換 . . .	194
テープ・ドライブの取り外し . . .	198
テープ・ドライブの交換 . . .	200
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し . . .	205
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換 . . .	206
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し . . .	210
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換 . . .	211
メモリー・モジュールの取り外し . . .	212
メモリー・モジュールの交換 . . .	214
Unbuffered DIMM (UDIMM) . . .	216
システム・バッテリーの取り外し . . .	220
システム・バッテリーの交換 . . .	222
背面システム・ファンの取り外し . . .	224
背面システム・ファンの交換 . . .	225
ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し . . .	227
ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換 . . .	228
Tier 1 CRU の取り外しと交換 . . .	230
シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し . . .	230
シンプル・スワップ・バックプレートの交換 . . .	232
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し . . .	236
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換 . . .	238
フロント・パネル・アセンブリーの取り外し . . .	240
フロント・パネル・アセンブリーの交換 . . .	242
前面 USB コネクタ・アセンブリーの取り外し . . .	244
前面 USB コネクタ・アセンブリーの交換 . . .	247
後部アダプターの保持ブラケットの取り外し . . .	250
後部アダプターの保持ブラケットの交換 . . .	251
ハード・ディスク・ケージの取り外し . . .	252
ハード・ディスク・ケージの交換 . . .	253
非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し . . .	254
非ホット・スワップ・パワー・サプライの交換 . . .	256
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し . . .	258

ホット・スワップ・パワー・サプライの交換	259
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの 取り外し	262
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの 交換	264
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	265
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り 外し	265
マイクロプロセッサとヒートシンクの交換	269
熱伝導グリース	273
システム・ボードの取り外し	275
システム・ボードの交換	279
付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2)	
エラー・メッセージ	283
付録 B. UEFI/POST 診断コード	429
付録 C. DSA 診断テスト結果	447
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	447
DSA Brocade テスト結果	453
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	458
DSA CPU ストレス・テスト結果	460
DSA Emulex アダプター・テスト結果	462
DSA EXA ポート ping テスト結果	465
DSA ハード・ディスク・テスト結果	466
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	467
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果	471
DSA Mellanox アダプター・テスト結果	472
DSA メモリー分離テスト結果	474
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	522
DSA Nvidia GPU テスト結果	524
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	528
DSA システム管理テスト結果	532
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	541
付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入 手	547
依頼する前に	547
資料の使用	548

ヘルプおよび情報を WWW から入手する	548
IBM への DSA データの送信方法	549
個別設定したサポート Web ページの作成	549
ソフトウェアのサービスとサポート	549
ハードウェアのサービスとサポート	550

特記事項	551
商標	552
重要事項	552
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデ ータ消去に関するご注意	553
粒子汚染	554
通信規制の注記	555
電波障害自主規制特記事項	555
Federal Communications Commission (FCC) statement	555
Industry Canada Class A emission compliance statement	556
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	556
Australia and New Zealand Class A statement	556
European Union EMC Directive conformance statement	556
Germany Class A statement	557
VCCI クラス A 情報技術装置	558
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	558
Korea Communications Commission (KCC) statement	558
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement	558
People's Republic of China Class A electronic emission statement	559
Taiwan Class A compliance statement	559

索引	561

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

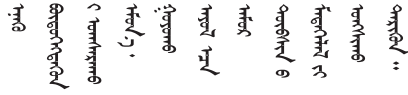
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の **Caution** と **Danger** と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「IBM Safety Information」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM® 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaitte
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)



≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:

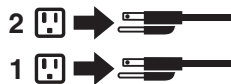
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 11



注意:

このラベルが貼られている近くには鋭利な先端の部品やジョイントが存在します。



安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 13



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 15



注意:

ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 17



注意:

このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。



安全 26



注意:

ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。



安全 27



注意:

近くに動く部品が存在します。



第 1 章 IBM System x3100 M4 Type 2582 サーバー

本「インストールおよびサービスのガイド」には、ご使用の IBM System x3100 M4 Type 2582 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

27 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 28 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3100 M4 Type 2582 には、4U モデルまたは 5U モデルがあります。1 の高性能サーバーです。マイクロプロセッサのアップグレードにより、対称多重処理 (SMP) サーバーにアップグレードすることができます。優れたマイクロプロセッサ・パフォーマンス、効率的なメモリー管理、柔軟性、および信頼性の高い大量のデータ・ストレージを必要とするネットワーク環境に最適です。

パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能が、このサーバーの設計における重要な考慮事項でした。このような設計特性により、お客様が現在のニーズに合わせてシステムのハードウェアをカスタマイズできるだけでなく、将来に備えるための柔軟な拡張機能が提供されます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「IBM 保証情報」を参照してください。

このサーバーには、パフォーマンスおよび信頼性を高めるのに役立つ IBM 次世代テクノロジーが使用されています。詳しくは、9 ページの『サーバーが提供する機能』および 14 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> から入手できます。 <http://www.ibm.com/supportportal> では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、<http://www.ibm.com/ibm/clientreference/>を参照してください。

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとの区切りで測定されています。各区切りは「U」と表されます。1U の装置の高さは 4.45 cm (1.75 インチ) です。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

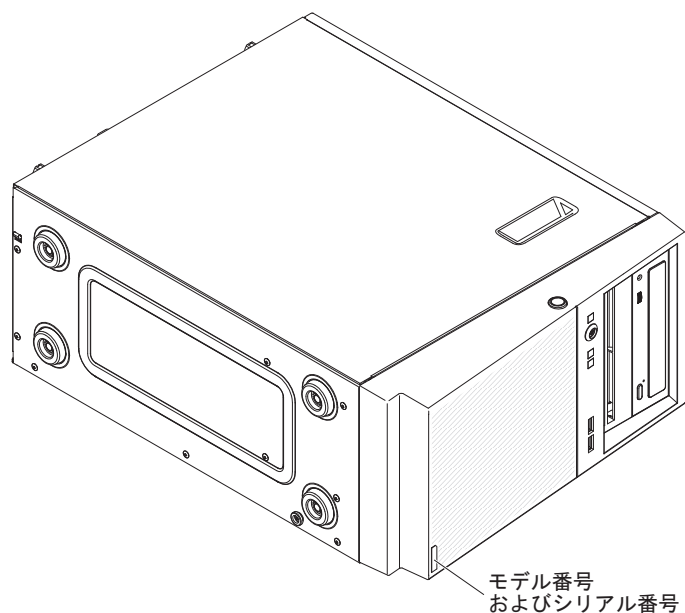
注: 本書の図は、お客様がご使用のモデルと多少異なる場合があります。

このサーバーに関する情報を、以下の表に記録してください。

製品名	IBM System x3100 M4 Type 2582 サーバー
マシン・タイプ	Type 2582
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「ラック搭載手順」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

IBM *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

IBM *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。Documentation Browser を開始するには、次のいずれかの方法を使用してください。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはこの機能がユーザー全員に対しては使用可能でない場合は、以下のいずれかの手順を実行します。

- Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに次のように入力します。

```
e:¥win32.bat
```

ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「Product」メニューからサーバーを選択します。「Available Topics」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。そのワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- **保証情報**

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- **重要事項**

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。

- **IBM 機械コードのご使用条件**

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「IBM 機械コードのご使用条件」が記載されています。

- *Licenses and Attributions Document*

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- **Safety Information**

この資料は、IBM Documentation CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険に関する注記が翻訳されて記載されています。この文書に

記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- ラック搭載手順

この印刷資料には、サーバーをラックに搭載するための手順が記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

System x および BladeCenter の ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。ToolsCenter for System x and BladeCenter は <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-CENTER> にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。これらの更新情報は、IBM Web サイトから入手できます。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. 非ホット・スワップ・パワー・サブライ搭載 4U サーバー・モデルの機能と仕様
ホット・スワップ・パワー・サブライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、表 2 を参照してください。

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる): 1 個の インテル クアッドコア (Xeon E3-1200 シリーズ) またはデュアルコア (Pentium G850、または Core i3 シリーズ) プロセッサ - マルチチップ・パッケージ・プロセッサ・アーキテクチャー - LGA 1155 ソケット対応の設計 - 最大 4 コアまでの拡張性 32 KB 命令 L1 キャッシュ、32 KB データ L1 キャッシュ、256 KB 命令/データ L2 キャッシュ、およびコア間で共用する最大 8 MB の L3 キャッシュ - Intel Extended Memory 64 Technology (EM64T) のサポート 注: - サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 メモリー: - コネクタ: 4 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクタ、2-way インターリーブ - 最小: 1 GB - 最大: 32 GB - タイプ: PC3-12800 (single-rank または dual-rank)、1066、1333 および 1600 MHz、ECC、DDR3 unbuffered SDRAM DIMM のみ - サイズ: 1GB (single-rank) 2GB (single-rank) 4GB (dual-rank) 8GB (dual-rank)	ファン: 1 個のシステム・ファン パワー・サブライ: 1 個の 350 ワットまたは 300 ワット固定パワー・サブライ サイズ: - 高さ: 360 mm - 奥行き: 480 mm - 幅: 180 mm - 質量: 10 kg から 13 kg (構成によって異なります)	RAID (モデルによって異なる): - RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID-C100 オンボード RAID - RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID-C100 (ソフトウェア RAID) 環境: - 室温: - サーバー電源オン時: 10°C から 35°C、高度: 0 から 914.4 m - サーバー電源オン時: 10°C から 32°C、高度: 914.4 m から 2133.6 m - サーバー・オン時: 10°C から 28°C ; 高度: 2133.6 m から 3050 m - サーバー電源オフ時: 10°C から 43°C - 出荷時: -40°C から 60°C - 湿度 (作動および記憶): 8% から 80% - 粒子汚染: 重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、554 ページの『粒子汚染』を参照してください。

表 1. 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの機能と仕様ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、表 2 を参照してください。 (続き)

ドライブ (モデルにより異なる): - ハード・ディスク: 最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA - 注: OS 4690 では 3TB ハード・ディスクはサポートされません。 - 以下のいずれかの SATA 接続光学式ドライブ: - DVD-ROM ドライブ・ベイ: 2 個の 5.25 型ハーフハイト・ベイ (1 台の光ディスク・ドライブが取り付け済み) 4 個の 3.5 型ハード・ディスク・ベイ	内蔵機能: - 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) - Intel 82574L Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き) - 内蔵 SATA コントローラー 7 個の USB 2.0 ポート (シャーシの前面に 2 個、背面に 4 個、内部にオプションのテープ・ドライブ用に 1 個)。 6 個の SATA ポート (シンプル・スワップ ハード・ディスク用に 4 個、DVD ドライブおよびオプションのテープ・ドライブ用に 2 個) 1 個のシリアル・ポート 2 個のイーサネット・ポート 1 個の VGA ポート	発熱量 (消費電力): - 最小構成: 35 ワット - 最大構成: 350 ワット 電源入力: - 正弦波入力 (50 または 60 Hz) 必須 - 入力電圧および周波数範囲 (自動選択) - 低電圧入力レンジ: - 最低: 100 V AC - 最高: 127 V AC - 高電圧入力レンジ: - 最低: 200 V AC - 最高: 240 V AC - 入力キロボルト・アンペア (kVA) (近似値): - 最小: 0.035 kVA (全モデル) - 最大: 0.350 kVA
拡張スロット: 1 個の PCI Express x16 スロット 1 個の PCI Express x8 スロット 1 個の PCI Express x4 スロット 1 個の PCI Express x1 スロット	放出音響ノイズ: - 音響出力、アイドル時: 4.5 ベル - 音響出力、動作時: 4.8 ベル	注: - 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。 - 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。

表 2. ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の機能および仕様。非
 ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、表 1 を参照してください。

マイクロプロセッサ (モデルにより異なる): 1 個の インテル クアッドコア (Xeon E3-1200 シリーズ) またはデュアルコア (Pentium G850、または Core i3 シリーズ) プロセッサ - マルチチップ・パッケージ・プロセッサ・アーキテクチャ - LGA 1155 ソケット対応の設計 - 最大 4 コアまでの拡張性 32 KB 命令 L1 キャッシュ、32 KB データ L1 キャッシュ、256 KB 命令/データ L2 キャッシュ、およびコア間で共用する最大 8 MB の L3 キャッシュ - Intel Extended Memory 64 Technology (EM64T) のサポート 注: - サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 メモリー: - コネクタ: 4 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクタ、2-way インターリーブ - 最小: 1 GB - 最大: 32 GB - タイプ: PC3-12800 (single-rank または dual-rank)、1066、1333 および 1600 MHz、ECC、DDR3 unbuffered SDRAM DIMM のみ - サイズ: 1GB (single-rank) 2GB (single-rank) 4GB (dual-rank) 8GB (dual-rank)	ファン: 1 個のシステム・ファン パワー・サプライ: 1 個または 2 個の 430 ワットの冗長パワー・サプライ サイズ: - 高さ: 438.60 mm - 奥行き: 569.11 mm - 幅: 217.25 mm - 質量: 19.6 kg から 21.4 kg (構成によって異なります)	RAID (モデルによって異なる): - RAID レベル 0、1、および 10 を提供する ServeRAID-C100 オンボード RAID 環境: - 室温: - サーバー電源オン時: 10°C から 35°C、高度: 0 から 914.4 m - サーバー電源オン時: 10°C から 32°C、高度: 914.4 m から 2133.6 m - サーバー・オン時: 10°C から 28°C ; 高度: 2133.6 m から 3050 m - サーバー電源オフ時: 10°C から 43°C - 出荷時: -40°C から 60°C - 湿度 (作動および記憶): 8% から 80% - 粒子汚染: 重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、554 ページの『粒子汚染』を参照してください。

表 2. ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の機能および仕様。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、表 1 を参照してください。 (続き)

ドライブ (モデルにより異なる): - ハード・ディスク: 最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA - 以下のいずれかの SATA 接続光学式ドライブ: - DVD-ROM ドライブ・ベイ: 2 個の 5.25 型ハーフハイト・ベイ (1 台の光ディスク・ドライブが取り付け済み) 8 個の 2.5 型ハード・ディスク・ベイ	内蔵機能: - 統合管理モジュール II (IMM2) (複数の管理機能を単一のチップに統合) - Intel 82574L Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き) - 内蔵 SATA コントローラー 7 個の USB 2.0 ポート (シャーシの前面に 2 個、背面に 4 個、内部にオプションのテープ・ドライブ用に 1 個)。 6 個の SATA ポート (シンプル・スワップ ハード・ディスク用に 4 個、DVD ドライブおよびオプションのテープ・ドライブ用に 2 個) 1 個のシリアル・ポート 2 個のイーサネット・ポート 1 個の VGA ポート	発熱量 (消費電力): - 最小構成: 100 ワット - 最大構成: 506 ワット 電源入力: - 正弦波入力 (50 または 60 Hz) 必須 - 入力電圧および周波数範囲 (自動選択) - 低電圧入力レンジ: - 最低: 100 V AC - 最高: 127 V AC - 高電圧入力レンジ: - 最低: 200 V AC - 最高: 240 V AC - 入力キロボルト・アンペア (kVA) (近似値): - 最小: 0.100 kVA (すべてのモデル) - 最大: 0.506 kVA
拡張スロット: 1 個の PCI Express x16 スロット 1 個の PCI Express x8 スロット 1 個の PCI Express x4 スロット 1 個の PCI Express x1 スロット	放音音響ノイズ: - 音響出力、アイドル時: 5.0 ベル - 音響出力、動作時: 5.3 ベル	注: - 電力消費量と発熱量は、取り付けであるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。 - これらのレベルは、管理された音響環境のもとで、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 によって指定された手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。ある場所における実際の音圧レベルは、室内での反響やその他の近隣騒音源のために、ここに示されている平均値を超える場合があります。公称の音響パワー・レベルは、大多数のコンピュータが作動する上限を示しています。

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

• Active Energy Manager

IBM Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生に合わせて測定し、レポートする IBM Systems Director 拡張機能です。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と関連させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、IBM Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、IBM Systems Director インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) または <http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html> を参照してください。

• Dynamic System Analysis (DSA)

このサーバーには、サーバー上の内蔵 USB メモリーに IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして IBM サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、136 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポート**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。内蔵イーサネット・コントローラーにより提供される、Fiber Channel over Ethernet および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・アクティベーション・キーを購入できます。詳しくは、115 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID サポート**

このサーバーは、RAID レベル 5、6、50、および 60 アップグレードに対する Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。Features on Demand ソフトウェアの RAID アップグレードは、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれています。詳しくは、115 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation CD* には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、インストール済みのオプション・ハードウェアを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。 *ServerGuide Setup and Installation CD* について詳しくは、97 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director**

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、IBM Systems Director インフォメーション・センター (<http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html> and 16 ページの『IBM Systems Director』) を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わされています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、109 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/supportportal>) を参照してください。

• 内蔵ネットワーク・サポート

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。詳しくは、115 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

• 内蔵 Trusted Platform Module (TPM)

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。TPM の実装について詳しくは、<http://www-03.ibm.com/systems/x/hardware/enterprise/index.html> を参照してください。Setup ユーティリティーの「**System Security**」メニュー選択で TPM サポートを使用可能にすることができます (99 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。

• 大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能

サポートされている SAS/SATA バックプレーン構成を使用する場合、このサーバーは、最大 16 個の 2.5 型ドライブ、32 個の 1.8 型ドライブ、または 2.5 型と 1.8 型の両方のドライブの組み合わせをサポートできます。このサーバーは、2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクまたはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ (SSD)、あるいは 1.8 型ホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。

ホット・スワップ機能を使用すると、サーバーの電源をオフにせずに、ハード・ディスクの追加、取り外し、または置き換えを行うことができます。

• 大容量のシステム・メモリー

このメモリー・バスは、registered DIMM が取り付けられている場合、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。unbuffered DIMM が取り付けられている場合は、サーバーは、最大 64 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、最大 24 個の業界標準 PC3-8500 (DDR3-1066)、PC3-10600 (DDR3-1333)、または PC3-12800 (DDR3-1600)、DDR3 (第 3 世代 double data rate)、SDRAM デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、Light Path 診断 LED を参照してください。

- **マルチコア・プロセッサ**

このサーバーは、最大 2 つの Intel Xeon™ E5-2600 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。ご使用のサーバーには、1 個のマイクロプロセッサのみが取り付けられています。

- **PCI アダプター機能**

このサーバーには、6 個の PCI インターフェース・スロットがあります。スロット 1 は、PCI-X 変換コネクタ・カードを介して、PCI Express または PCI-X アダプターをサポートすることができます。詳しくは、186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照してください。

- **冗長接続**

オプションのイーサネット・ドーター・カードを追加し、適切なアプリケーションをインストールすることで、冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能を提供することができます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・ドーター・カードがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、自動的にオプションの冗長イーサネット・ドーター・カードの接続に切り替えられます。適切なデバイス・ドライバをインストールすると、この切り替えはデータ損失なく、ユーザーの介入なしで実行されます。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

このサーバーは、最大 2 個の 750 ワットまたは 900 ワットのパワー・サプライ・パワー・サプライ、および 6 個のシンプル・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性とホット・スワップ機能を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。サーバーには、1 個の 750 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと 2 個のファンが標準で搭載されています。

サーバーに 2 個目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、ファン 2 を取り付ける必要があります。冷却装置の冗長性を得るために、オプションでファン 4、5、および 6 を注文することができます。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

注:

1. サーバー内で 750 ワットと 900 ワットのパワー・サプライを混用することはできません。

2. 2 個の 225W GPU が取り付けられている場合は、サーバーは電源冗長モードで稼働していません。2 個の 900 ワットのパワー・サプライが必要です。

• **リモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

詳しくは、111 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

• **ServeRAID サポート**

ServeRAID アダプターは、構成を作成するためのハードウェア新磁気ディスク制御機構 (RAID) サポートを提供します。標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

• **システム管理機能**

サーバーには統合管理モジュール II (IMM2) が備わっています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクタは IMM 専用です。専用のシステム管理コネクタは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

• **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

UEFI ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、Active Energy Management (AEM) テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性サポートなどの機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーテ

ィング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

注: このサーバーは、DOS をサポートしません。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。システム・ボードの USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクターに USB フラッシュ・デバイスを取り付けてください (30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。詳しくは、114 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

このサーバーには以下の RAS 機能が備わっています (機能はご使用のモデルによって異なります)。

- 部品および作業ともに 1 年間の限定保証 (マシン・Type 2582)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための SDDC (Single Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン

- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- ホット・スワップ・パワー・サプライ
- 通知および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール (IMM)
- DIMM、マイクロプロセッサ、ハード・ディスク、ソリッド・ステート・ドライブ、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティ・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- PCIe バスのパリティ・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、SAS/SATA ハード・ディスク、またはソリッド・ステート・ドライブの障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー上の Serial Presence Detection (SPD)、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサおよびメモリー拡張トレイ、ならびにイーサネット・アダプター
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (I2C) プロトコル・バスを通じたシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード

- マイクロプロセッサ、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。IBM Systems Director は、業界標準を使用することによって、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director では、単一のユーザー・インターフェースによって管理対象システムを一貫性のある形で表示し、それらのシステムの相互関係を判別し、それぞれの状況を識別することができます。したがって、技術的リソースとビジネス・ニーズの相関関係を把握しやすくなります。IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。一般タスクには、管理対象システム、ハードウェア・ログ、電源、および Light Path の検出、インベントリー、構成、システム・ヘルス、モニター、更新、イベント通知、自動化などがあります。

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (<http://www.ibm.com/systems/management>) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、35 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

次の図は、サーバーの前面にあるコネクタおよび LED を示しています。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデル前面のコントロールおよび LED を示しています。

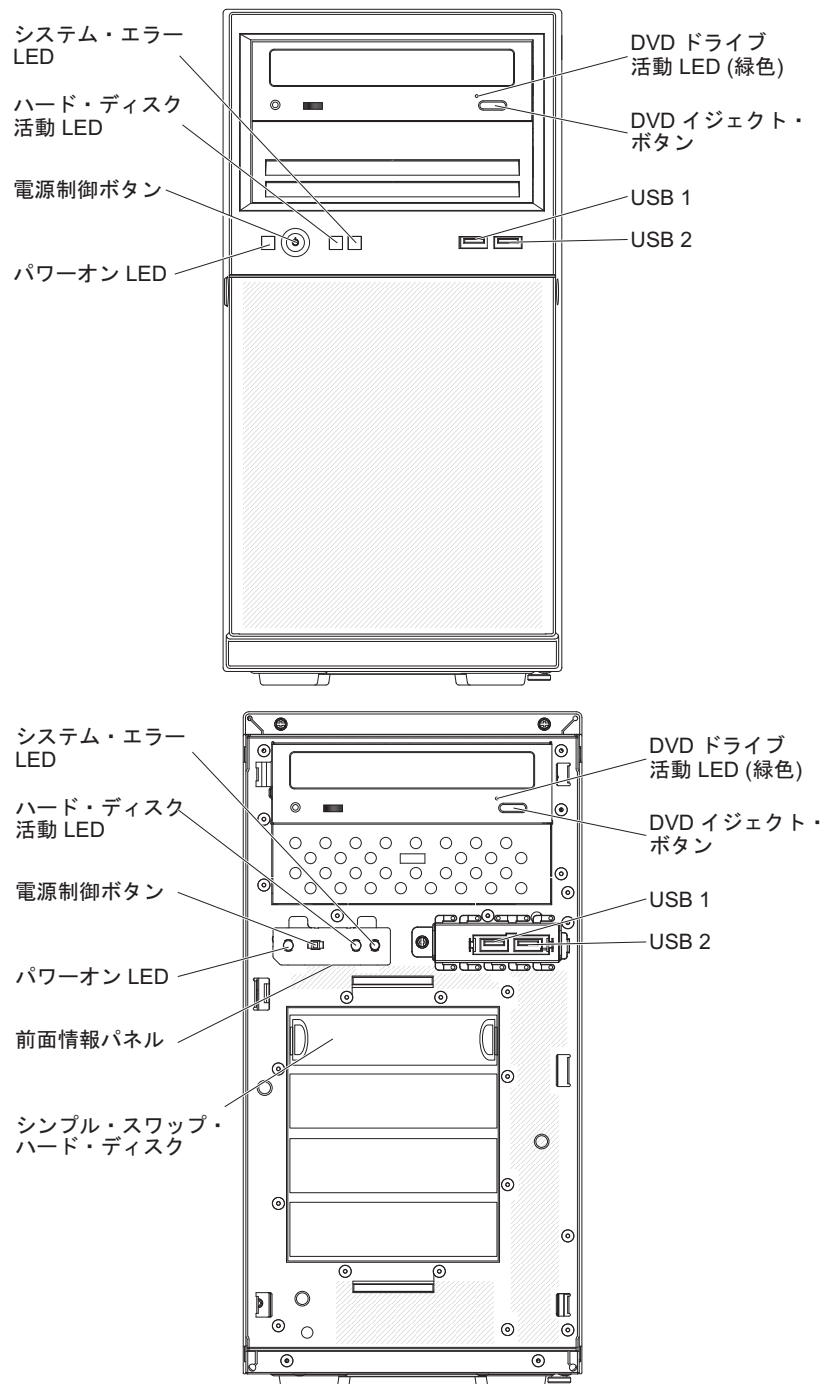


図 1. サーバーの前面図

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の前面のコントロールおよび LED を示しています。

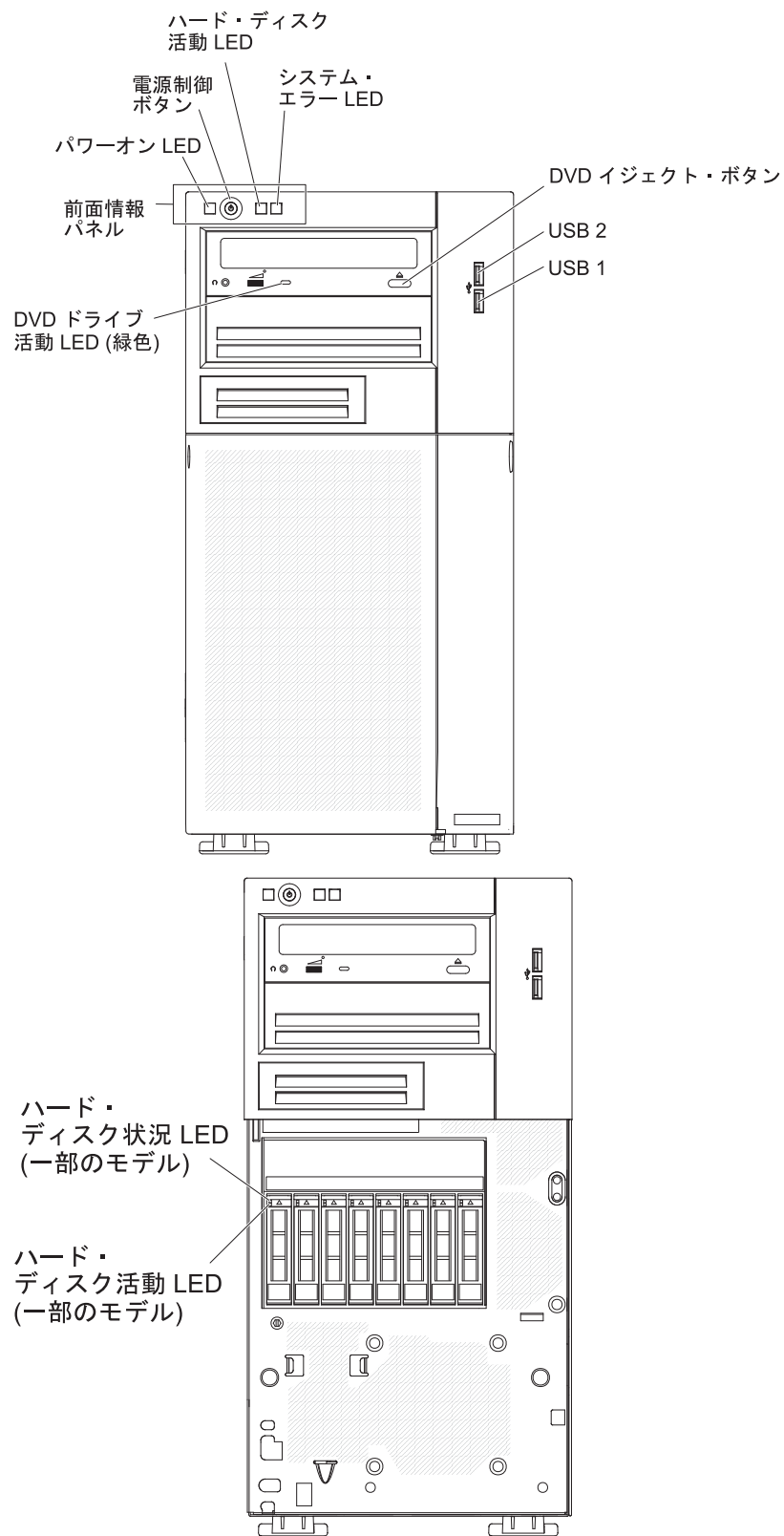


図 2. サーバーの前面図

- 電源制御ボタンとパワーオン LED:

サーバーの電源を手動でオン / オフするには、このボタンを押します。 パワーオン LED の状態は次のとおりです。

- **オフ:** AC 電源が存在しないか、あるいは、パワー・サプライまたは LED 自体に障害が起こっています。
- **高速で点滅 (毎秒 4 回):** サーバーの電源が部分的にオンになっているが、完全にオンになる準備ができていません。 電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 1 分から 3 分継続します。
- **ゆっくり点滅 (毎秒 1 回):** サーバーの電源がオンになる準備ができています。 電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。
- **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。

• **ハード・ディスク活動 LED:**

この LED が高速で点滅しているときは、ハード・ディスクが使用中であることを示します。

• **システム・エラー LED**

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・ボード上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。

• **USB コネクター:**

USB 装置をこれらのコネクターに接続します。

• **DVD イジェクト・ボタン:**

DVD または CD を DVD ドライブから取り出すには、このボタンを押します。

• **DVD ドライブ活動 LED:**

この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。

- **ホット・スワップ・ハード・ディスク活動 LED (一部のモデル):** 一部のサーバー・モデルでは、各ホット・スワップ・ドライブにハード・ディスク活動 LED が付いています。この緑色の LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。

ドライブを取り外す際には、SAS/SATA バックプレーン上のドライブ・コネクターの隣でもこの LED を確認することができます。このバックプレーンは、3.5 型ハード・ディスク・モデルの場合はドライブ・ベイ 4 から 7 の裏側のプリント回路ボードです。

- **ホット・スワップ・ハード・ディスク状況 LED (一部のモデル):** 一部のサーバー・モデルでは、各ホット・スワップ・ハード・ディスクに黄色の状況 LED が付いています。ドライブでこの黄色の状況 LED が点灯しているときは、関連のハード・ディスクに障害が発生していることを示します。

オプションの ServeRAID アダプターがサーバーに取り付けられており、この LED がゆっくりと (1 秒間に 1 回) 点滅している場合、ドライブは再構築中です。この LED が素早く (1 秒間に 3 回) 点滅している場合は、アダプターがドライブを識別中です。

ドライブを取り外す際には、SAS/SATA バックプレーン上のホット・スワップ・ハード・ディスク活動 LED の下でもこの LED を確認することができます。

背面図

次の図は、サーバーの背面にあるコネクタおよび LED を示しています。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバーモデル背面のコントロールおよび LED を示しています。

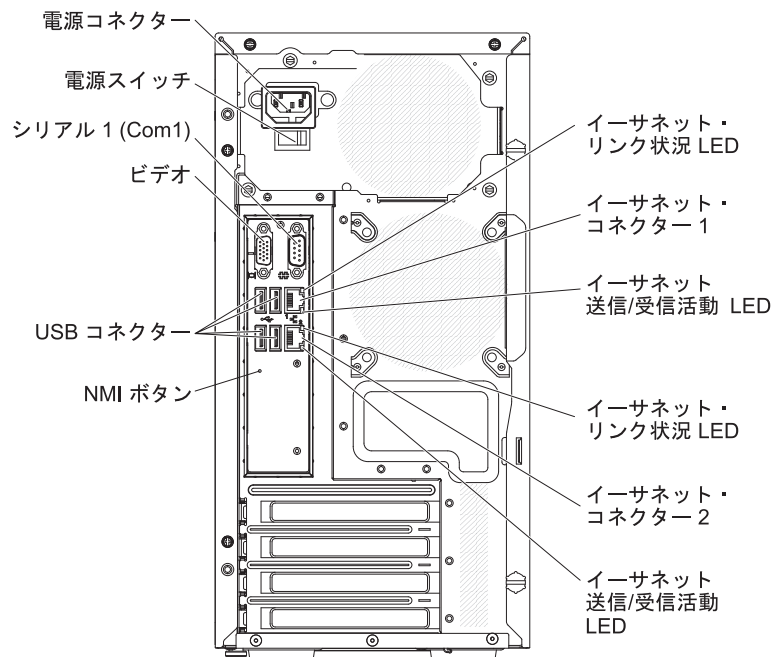


図 3. 4U サーバーの背面図

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の背面のコントロールおよび LED を示しています。

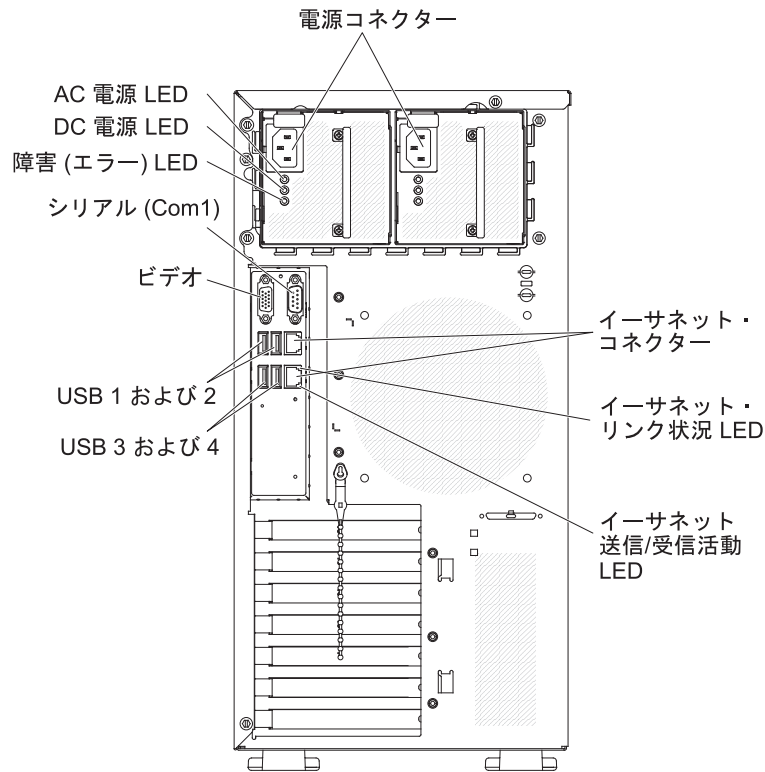


図4. 5U サーバーの背面図

- **電源コネクタ:** 電源コードは、このコネクタに接続します。
- **AC 電源 LED:** この緑色の LED は、パワー・サプライの状況情報を示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
- **DC 電源 LED:** この緑色の LED は、パワー・サプライの状況情報を示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
- **障害エラー LED:** この黄色の LED が点灯しているときは、パワー・サプライに障害が起こったことを示します。
- **シリアル・コネクタ:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクタに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。IMM2 は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共用シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行えます。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターは、このコネクタに接続します。

注: 機器にモニターを接続する際は、指定されたモニター・ケーブル、およびモニターに付属の干渉抑止装置を使用してください。

- **USB コネクタ:** これらのコネクタには、USB 装置を接続します。
- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

- **イーサネット・コネクタ:** これらのコネクタのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 0 コネクタを使用するときは、1 本のネットワーク・ケーブルで IMM2 とネットワークを共有できます。
- **イーサネット送信/受信活動 LED:** この LED はイーサネット・コネクタ上にあります。この LED が点灯しているときは、サーバーとネットワーク間に活動があることを示します。
- **イーサネット・リンク状況 LED:** この LED はイーサネット・コネクタ上にあります。この LED が点灯しているときは、イーサネット・ポートにアクティブ接続があることを示します。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを適切な入力ソースに接続しても、電源がオンにならない場合、オペレーティング・システムは実行されず、サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただし、サーバーは、サービス・プロセッサへの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。パワーオン LED が点滅することにより、サーバーが入力電力に接続されているものの、オンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED が低速で点滅すると電源制御ボタンがアクティブになります。

次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオンにすることもできます。

- サーバーの電源がオンの時点で電源障害が発生した場合は、電源の復旧時にサーバーは自動再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注: 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバーの構成、および構成済みの PCI (周辺コンポーネント相互接続) 装置によって決まります。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーの電源をオフにして、サーバーを AC 電源に接続したままにしておくと、サーバーは IMM2 に対する要求 (サーバーの電源をオンにするためのリモート要求など) に応答することができます。サーバーを AC 電源に接続したままにしておくと、1 つ以上のファンが稼働し続ける場合があります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に、正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについての詳細は、オペレーティング・システム関係の資料をお読みください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置内の電流を完全にカットするには給電部からすべての電源コードを取り外してください。



手順

サーバーは、次のいずれの方法でも電源をオフにできます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express アセンブリーおよび PCI-X アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール (IMM) は、クリティカルなシステム障害への自動対応としてサーバーをオフにできます。
- 左サイド・カバーが開くと、サーバーの電源がオフになります。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

始める前に

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 28 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

手順

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、93 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用します。 *Firmware Update Guides* 資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。追加のヒントは、以下の Web サイトから入手可能です。
 - System x 構成ツール: <http://www-03.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html>
3. オプションのハードウェア・デバイスを取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクタのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによって、新規に取り付けたデバイスを検証する、IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、135 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを IBM に送信します。データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/>で入手できます。

IBM への DSA データの送信

IBM に DSA データを送信するには、標準アップロード、システムのシリアル番号を使用した標準アップロード、セキュア・アップロード、およびシステムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロードを使用できます。

始める前に

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html>の利用条件をお読みください。

手順

以下のいずれかの方法を使用して、IBM に診断データを送信することができます。

- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの主要コンポーネントを示しています (サーバー・モデルによって異なります)。本書に示す図は、ご使用のハードウェアと少し異なっていることがあります。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次の段落を参照してください。

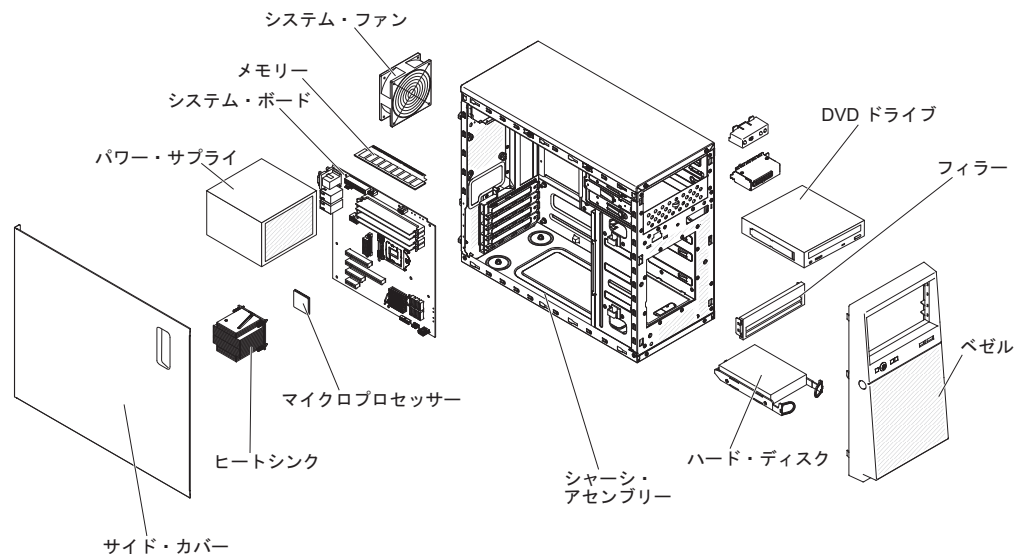


図 5. 4U サーバーのサーバー・コンポーネント

次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の主なコンポーネントを示しています。本書に示す図は、ご使用のハードウェアと少し異なっていることがあります。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、上の段落を参照してください。

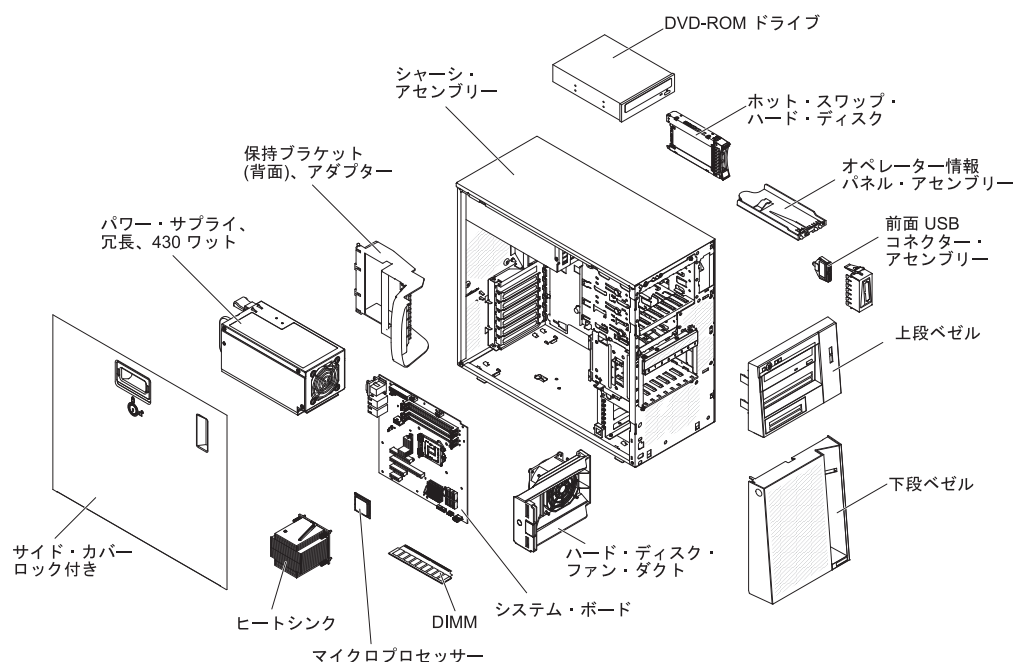


図 6. 5U サーバーのサーバー・コンポーネント

システム・ボードの内部コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

注: システム・ボードの図に示すコネクターは、サーバー・モデルによってはご使用のシステム・ボードとは多少異なる場合があります。

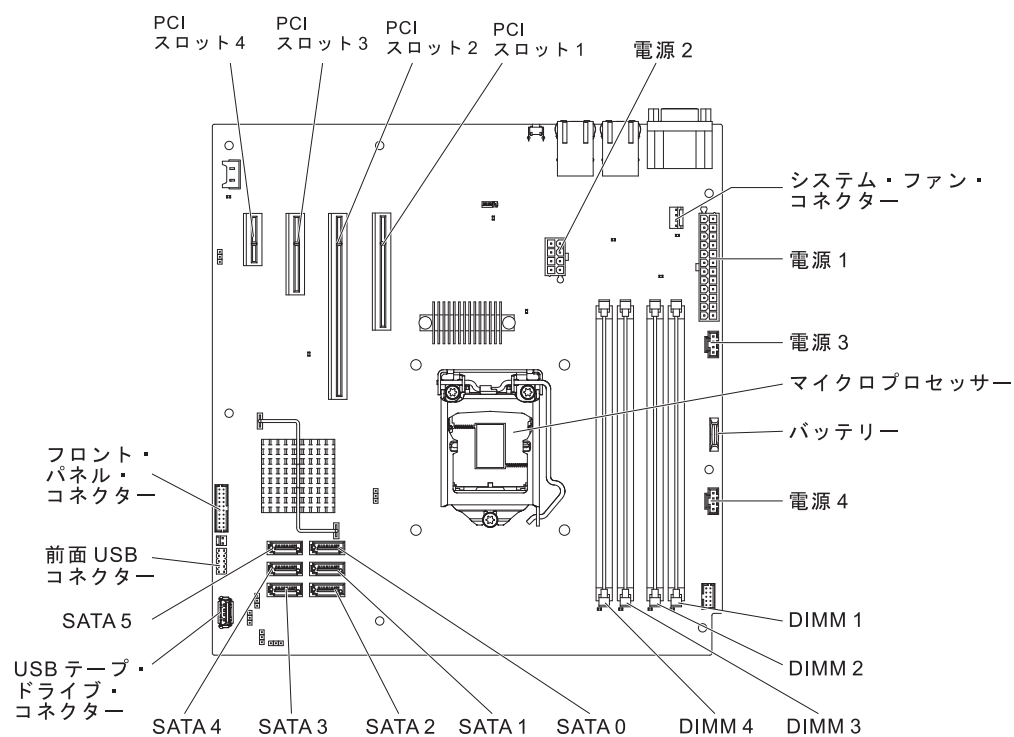


図7. システム・ボード上の内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

注: システム・ボードの図に示すコネクタは、サーバー・モデルによってはご使用のシステム・ボードとは多少異なる場合があります。

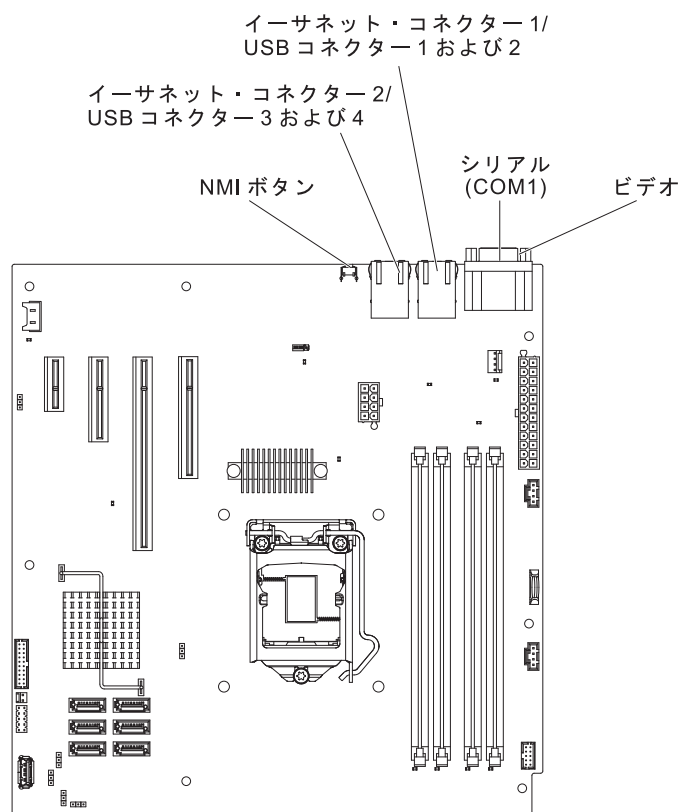


図 8. システム・ボード上の外部コネクター

システム・ボードのスイッチとジャンパー

以下の図でスイッチとジャンパーについての位置と説明を示します。

注: システム・ボードの図に示すコネクターは、サーバー・モデルによってはご使用のシステム・ボードとは多少異なる場合があります。

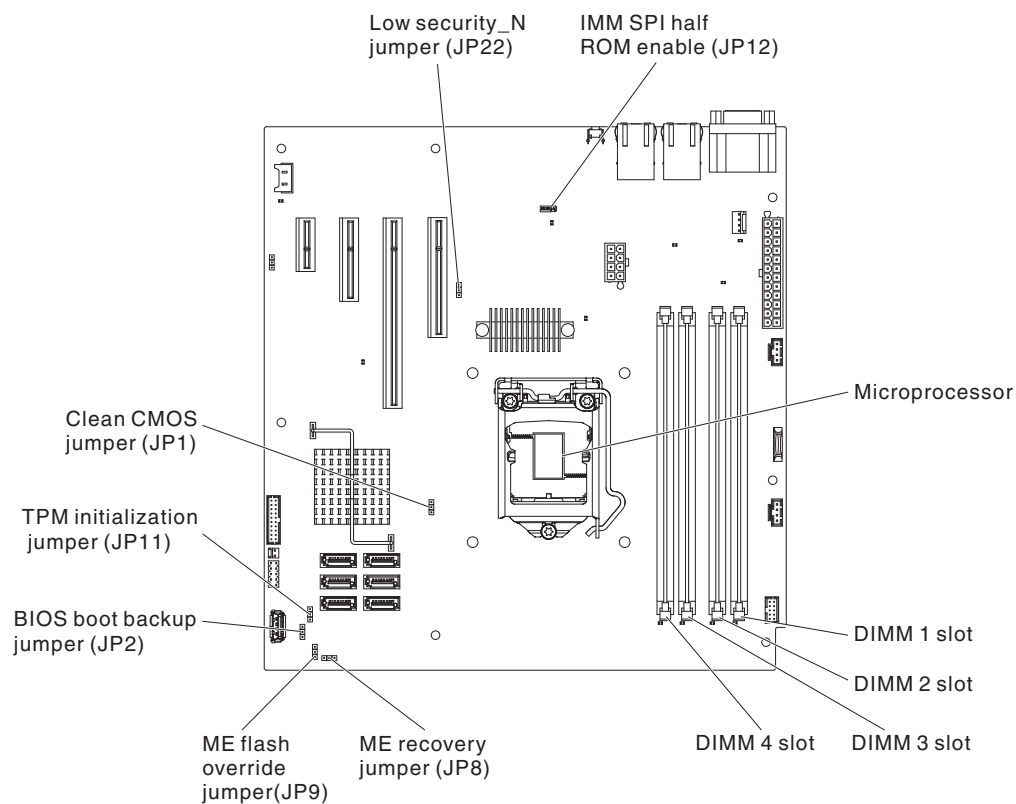


図 9. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

表 3. システム・ボード・ジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
JP1	クリア CMOS ジャンパー	• ピン 1 と 2: CMOS データの保持 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: CMOS データのクリア。
JP2	BIOS ブート・バックアップ (ブート・ブロック・ジャンパー)	• ピン 1 と 2: プライマリー BIOS ページからのブート (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: バックアップ BIOS ページからのブート。
JP10	TPM 物理プレゼンス・ジャンパー	• ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) • ピン 2 および 3: TPM をプルダウンする
JP11	TPM 初期化ジャンパー	• ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) • ピン 2 および 3: TPM を開始する

表 3. システム・ボード・ジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
JP12	IMM リカバリー・ジャンパー	• ピン 1 および 2: 2 次 (バックアップ) IMM ファームウェア ROM ページをロードする • ピン 2 および 3: 通常 (デフォルト) 1 次 IMM のファームウェア ROM ページをロードする
JP22	低セキュリティ N ジャンパー	• ピン 1 および 2: 通常 (デフォルト) • ピン 2 および 3: 低セキュリティをアクティブにする
注: 1. ジャンパーがない場合、サーバーの応答はピン 1 および 2 を設定した場合と同じになります。 2. サーバーの電源をオンにする前にブート・ブロック・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、このジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。 3. Trusted Platform Module (TPM) の物理プレゼンスが表明されたことを示すメッセージが表示される場合、システムが潜在的なセキュリティ・リスクに対してぜい弱であることを示します。これが生じるのは、JP11 のジャンパー設定がピン 2 および 3 である場合です。JP11 のジャンパー設定をピン 1 および 2 に切り替ええると、Trusted Platform Module (TPM) の物理プレゼンスは表明解除されます。		

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。vii ページの『安全について』、35 ページの『取り付けのガイドライン』、38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 24 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

注: システム・ボードの図に示すコネクタは、サーバー・モデルによってはご使用のシステム・ボードとは多少異なる場合があります。

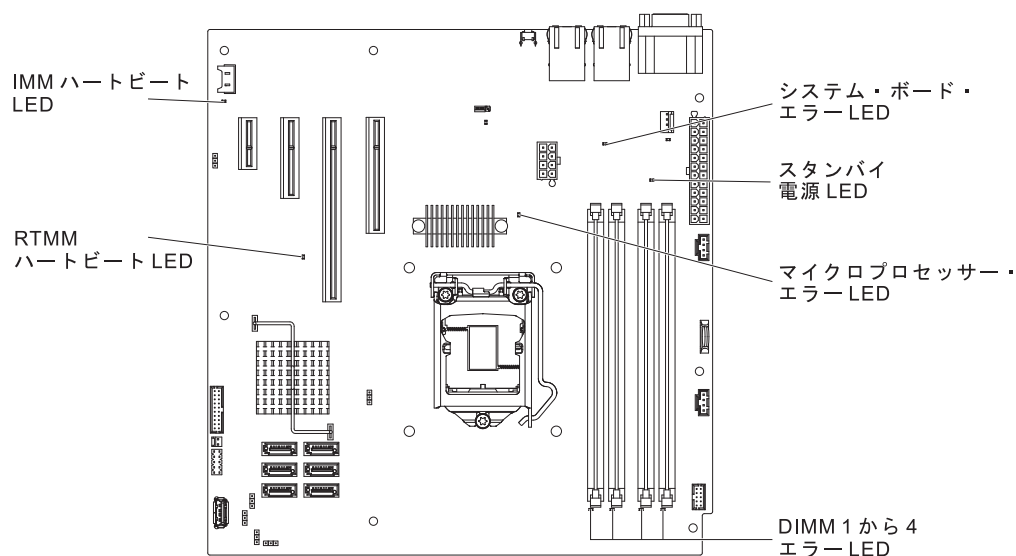


図 10. システム・ボード上の LED

取り付けのガイドライン

IBM System x3100 M4 Type 2582 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、37 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバーを用意してください。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能である

ることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。)それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要がある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。

- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却を確保するためのシステムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

注: 電源がオンのサーバー内部で作業を行うには、サーバー・カバーを取り外す前に電源遮断スイッチを使用不可にする必要があります。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。

- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

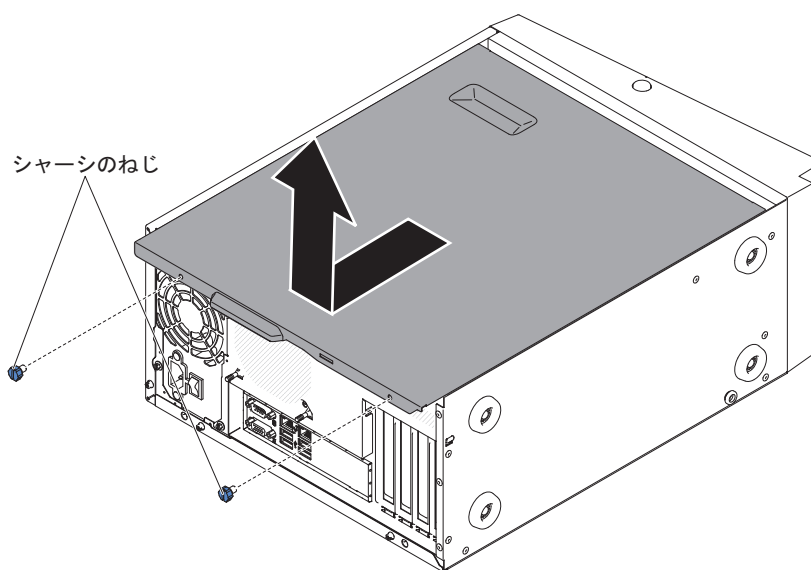
サイド・カバーの取り外し

サイド・カバーの取り外しを行うには、この情報を使用します。

重要: サイド・カバーを外した状態で 30 分より長くサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する場合があります。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サーバー背面の 2 つのシャーシねじを取り外します。
5. 後部のサイド・カバー・ハンドルを引き、同時に前部のサイド・カバー・ハンドルを押します。

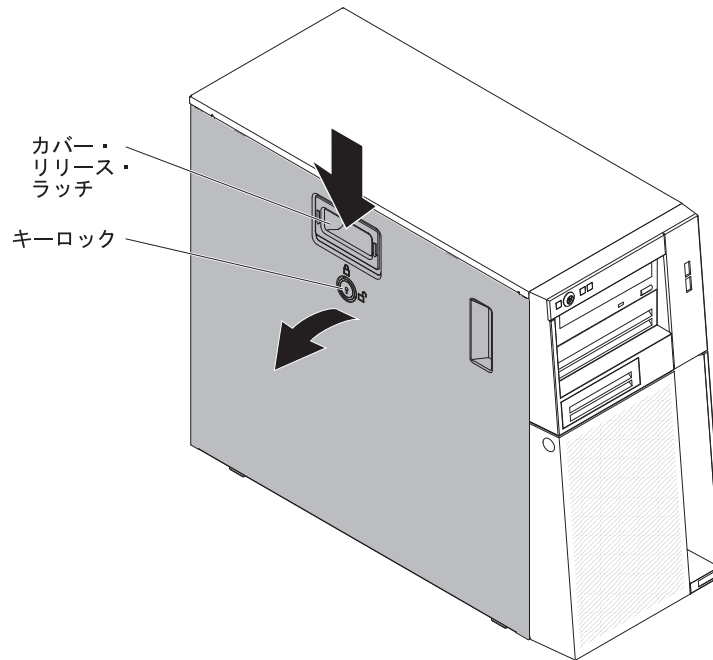


6. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、次にカバー・リリース・ラッチを（図に示しているとおりに）押し下げてカバーを取り外します。



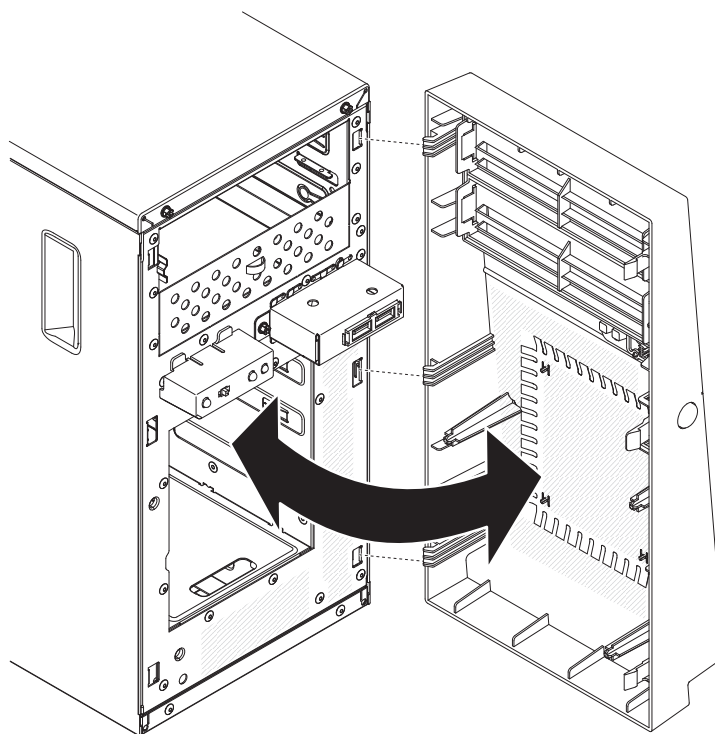
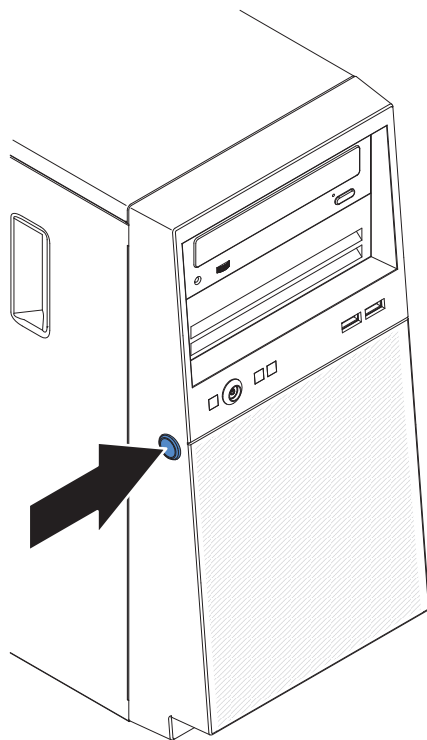
4. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ベゼルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

ベイ 3 から 6 のドライブなどの、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの一部のデバイスについて作業を行う場合、デバイスにアクセスするために最初にベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



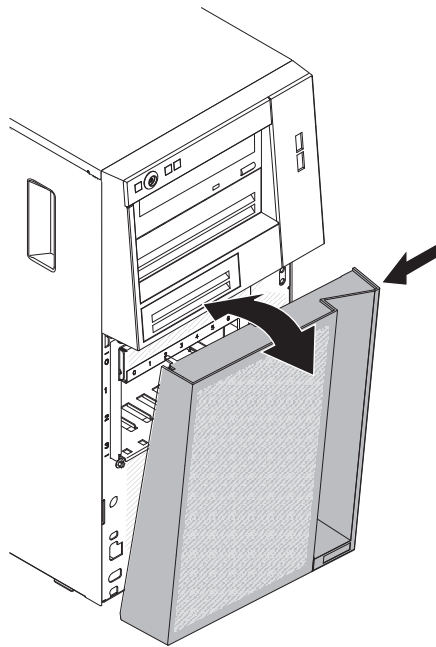
3. ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

下段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のハード・ディスクにアクセスするには、最初に下段ベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. 下段ベゼルの右側にある青いリリース・ボタンを押して、下段ベゼルを下方に回転させ、シャーシから外します。



4. 下段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

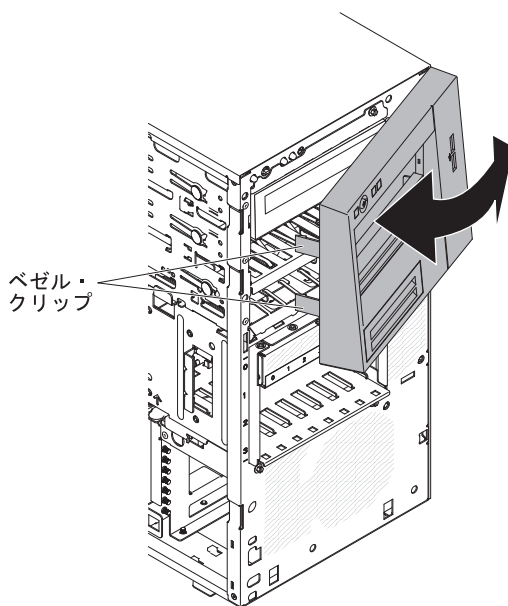
上段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の DVD ドライブまたはテープ・ドライブにアクセスするには、まず上段ベゼルを取り外して、デバイスにアクセスする必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の上段ベゼルを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルの左側にある 2 つのベゼル・クリップを慎重に引き出し、上段ベゼルの右側に向けて回転させて、右側にある 2 つのタブをシャーシから外します。



6. 上段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

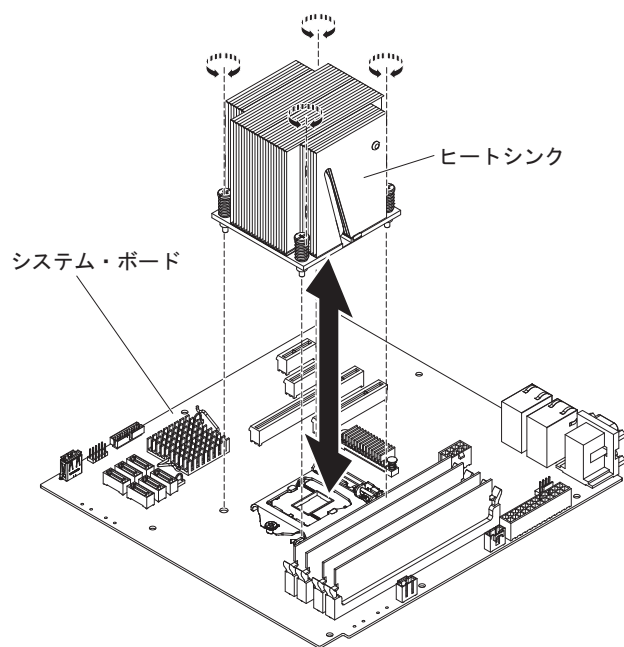
非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのマイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. 次のように、マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

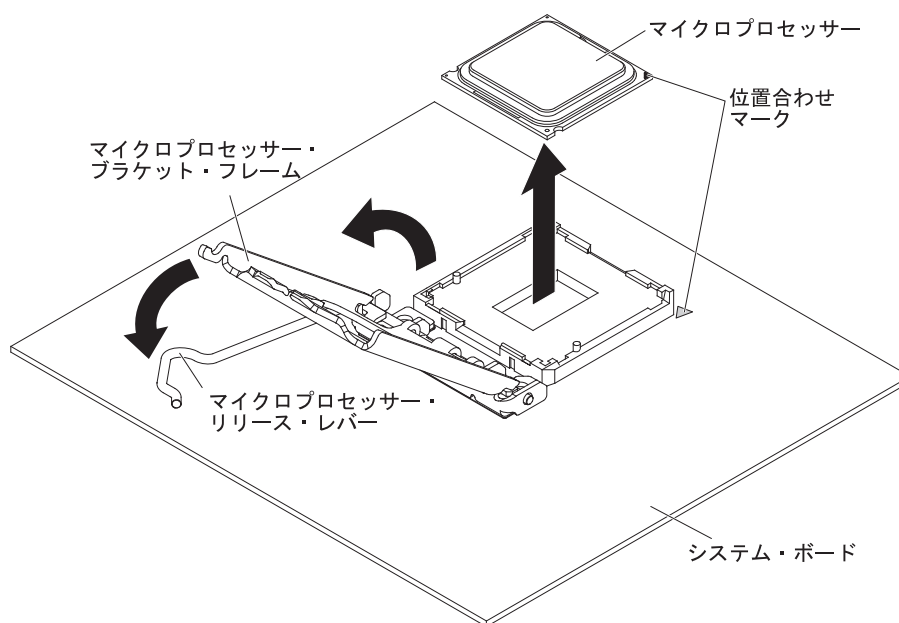
- a. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
- b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
- c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサから静かに引き離します。

重要: マイクロプロセッサとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。マイクロプロセッサとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。



重要: マイクロプロセッサが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサ保持ラッチにはばね荷重がかかっています。ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。



8. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。

10. マイクロプロセッサおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のマイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

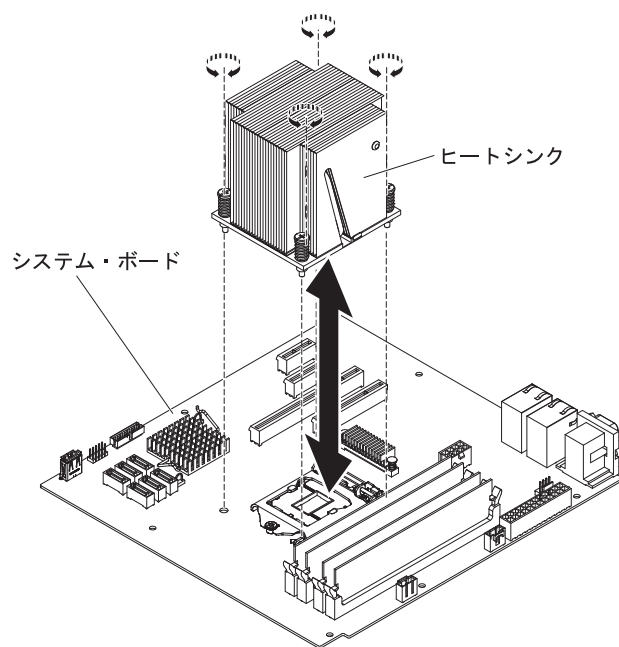
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. 次のように、マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

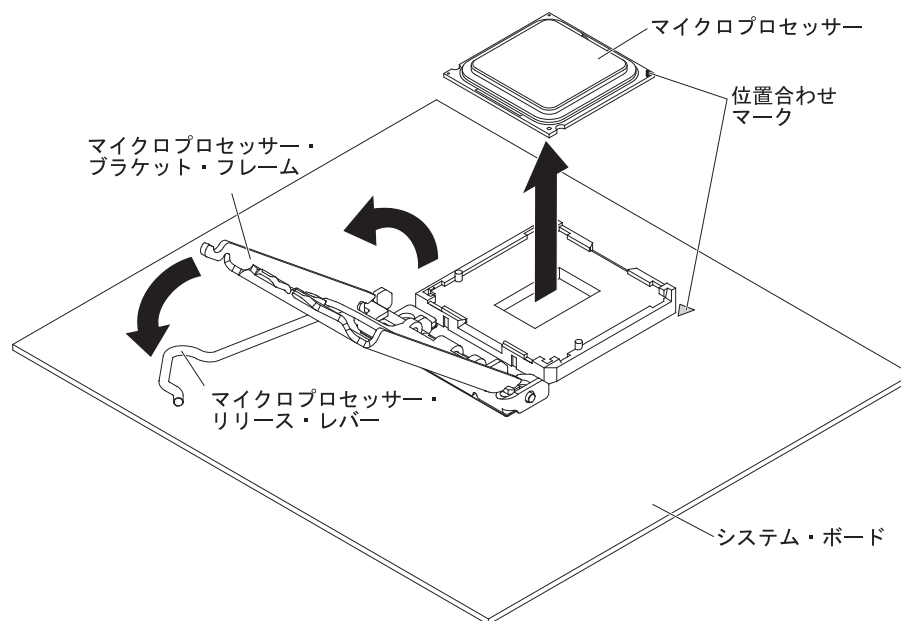
- a. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
- b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
- c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサから静かに引き離します。

重要: マイクロプロセッサとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。マイクロプロセッサとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。



重要: マイクロプロセッサが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサ保持ラッチにはばね荷重がかかっています。ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。



8. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。

10. マイクロプロセッサおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

メモリー・モジュールの取り付け

メモリー・モジュールを取り付けるには、以下の情報を使用します。

以下の注意書きは、このサーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています (30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- このサーバーは、業界標準の 1066 MHz、1333 MHz、および 1600 MHz、PC3-12800 (single-rank または dual-rank) DDR3、registered または unbuffered SDRAM 搭載でエラー修正コード (ECC) 付きの DIMM をサポートしています。このサーバーがサポートするオプションのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> にアクセスしてお客様の国を選択し、このサーバーのオプションのリストに進みます。
- サーバーがサポートするメモリーの最大量は、サーバーに取り付けるメモリーのタイプに依存します。
- 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付け済みメモリーの合計量と構成済みのメモリー量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行してください。追加情報については、Setup ユーティリティーの使用を参照してください。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクター 1 および 3 に取り付けの場合は、DIMM コネクター 1 および 3 に取り付け DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM コネクター 2 と 4 に取り付け DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。
- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムにより表示されます。サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。

- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

ggg eRxff-PC3-wwwwwm-aa-bb-cc

ここで、

- *ggg* は、DIMM の合計容量 (例えば、1GB、2GB、または 4GB) です。
- *e* はランク数です。
 - 1 = single-rank
 - 2 = dual-rank
 - 4 = quad-rank
- *ff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - 4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - 8 = x8 編成
 - 16 = x16 編成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.8 GBps (PC3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注では、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャンネルあたり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。

次の表は、サポートされている UDIMM 装着構成のリストです。

表 4. チャンネル当たりの UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM コネクター	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM の速度	DIMM ごとのランク (すべての組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank

次の表は、ランク付き UDIMM を使用したときの最大 DIMM 装着構成のリストです。

表 5. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB (使用可能な場合)	32 GB

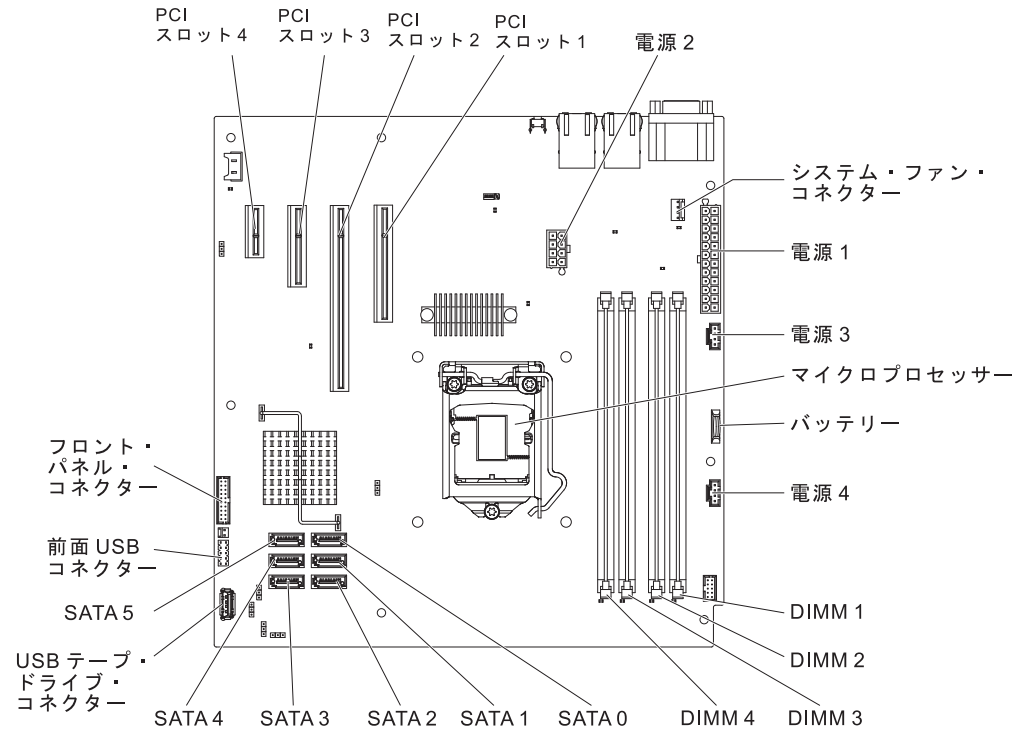
次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための UDIMM メモリーの装着構成の規則を示しています。

表 6. UDIMM 装着構成の規則

DIMM コネクター 1	DIMM コネクター 2	DIMM コネクター 3	DIMM コネクター 4
装着済み	空の状態	空の状態	空の状態
装着済み	空の状態	装着済み	空の状態
装着済み	装着済み	装着済み	装着済み

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

注: 本書の図は、ご使用のモデルと多少異なる場合があります。



重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

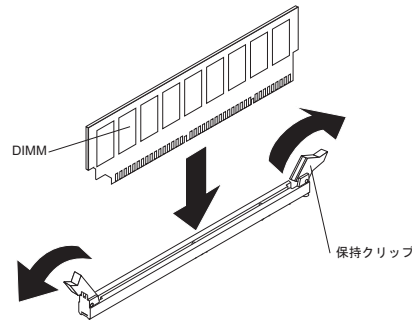
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. システム・ボードの DIMM コネクタを見付けます。DIMM を取り付けるコネクタを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 7. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1, 3
2 番目の DIMM ペア	2, 4

7. 保持クリップを開き、必要に応じて既存の DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



8. DIMM が入っている帯電防止パッケージをサーバー外側の塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
9. DIMM の切り欠きがコネクタと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
10. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。
11. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。

注: DIMM と保持クリップとの間にすき間があるときは、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

12. エアー・ダクトを取り付けます。
13. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

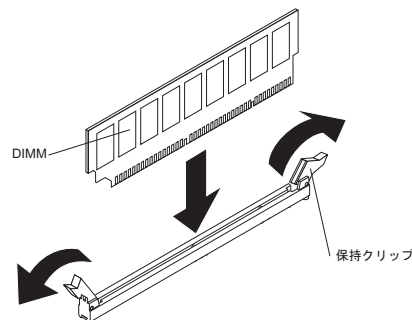
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. システム・ボードの DIMM コネクタを見付けます。DIMM を取り付けるコネクタを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 8. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

6. 保持クリップを開き、必要な場合は既存の DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



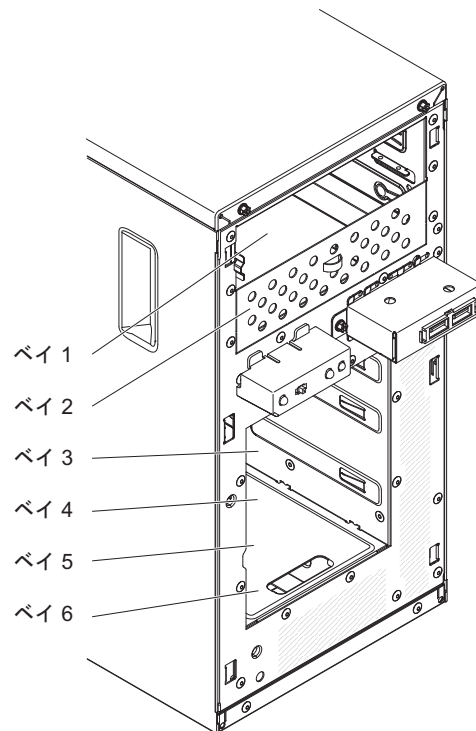
7. DIMM が入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規の DIMM をパッケージから取り外します。
8. DIMM の切り欠きがコネクタと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
9. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく取り付けられていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ドライブの取り付け

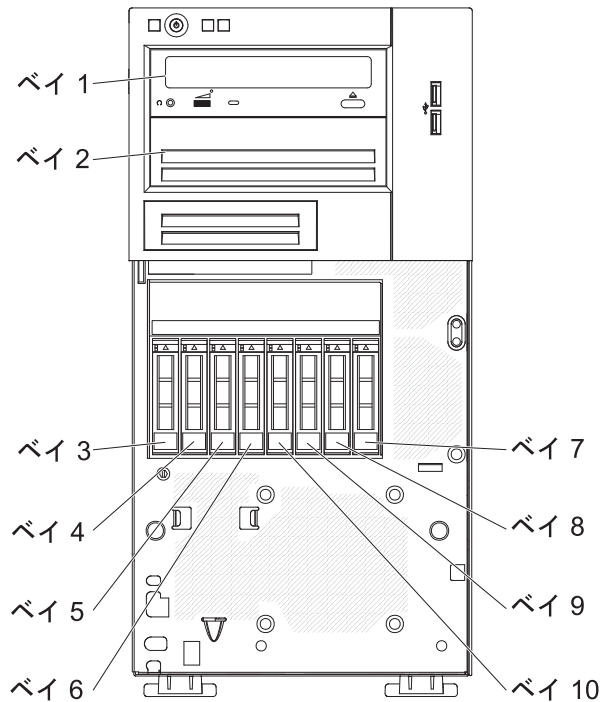
ドライブの取り付けを行うには、この情報を使用します。

サーバー・モデルによっては、DVD-ROM またはマルチパーナー・ドライブがサーバーに取り付けられていることがあります。 非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、サーバーは最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします (モデルによって異なります)。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、サーバーは最大 8 個のホット・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバーのモデルのドライブ・ベイの位置を示しています。



次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のドライブ・ベイの位置を示しています。



以下の注意書きは、このサーバーがサポートしているドライブのタイプ、およびドライブを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明を参照して、ドライブにジャンパーまたはスイッチの設定が必要かどうかを確認します。 SATA デバイスを取り付けようとしている場合、必ず、そのデバイス用の SATA ID を設定します。
- 取り外し可能メディア・ドライブの例としては、オプションの内蔵または外付け USB ディスケット・ドライブ、テープ・ドライブ、DVD-ROM、およびマルチバーナー・ドライブなどがあります。取り外し可能メディア・ドライブは、ベイ 1、2、および 3 にのみ取り付けることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。 ドライブ、PCI アダプター、または PCI Express アダプターを取り付ける場合、 EMC シールドとフィルター・パネルを、ベイまたは PCI アダプターあるいは PCI Express アダプターのスロット・カバーから外して保管しておきます。後でそのデバイスを取り外した時に使用するためです。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

DVD ドライブの取り付け

DVD ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

取り外したドライブを新規ドライブと交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

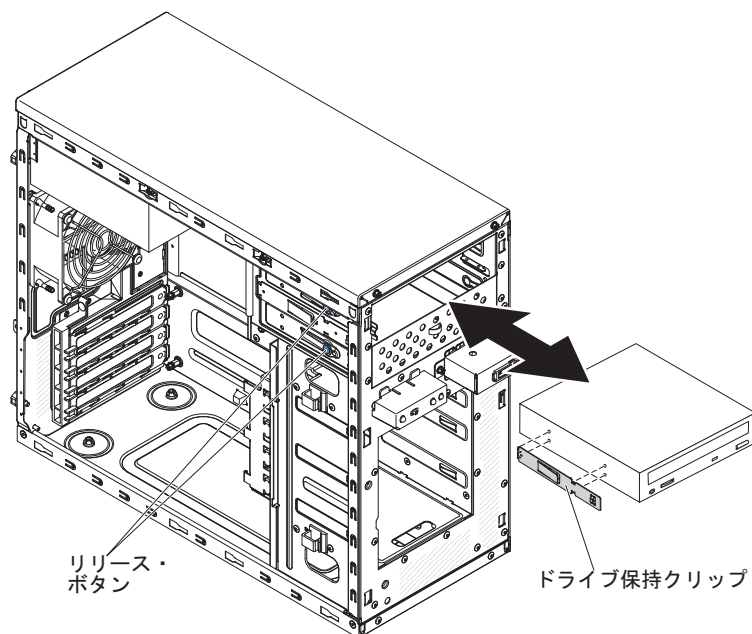
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

6. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. ベイ 1 またはベイ 2 のドライブ・ケージの横からドライブ保持クリップを取り外します。ドライブ保持クリップを前方へスライドしてドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面のねじ穴にはめ込みます。



10. ドライブをベイ内に押し込みます。
11. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
12. 電源ケーブル (電源コネクタ P9) および信号ケーブルをドライブに接続します。

注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

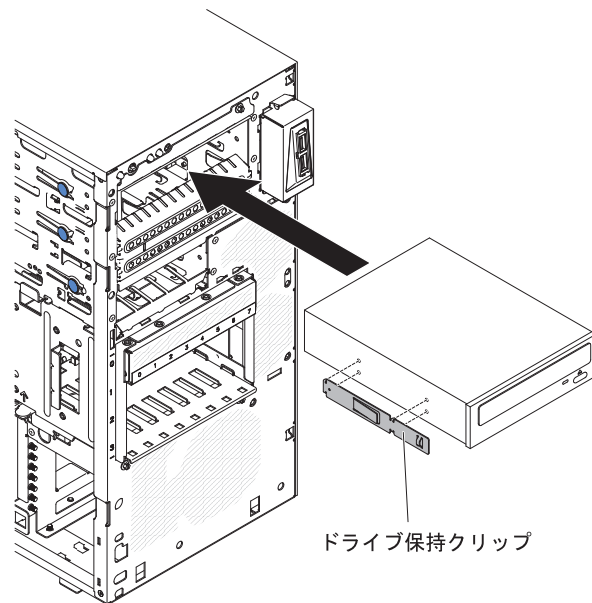
他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. 前のドライブから取り外したドライブの保持クリップを新しいドライブの側面に取り付けます。
4. ドライブをベイ内に押し込みます。



5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブに接続します。

注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

テープ・ドライブの取り付け

テープ・ドライブを取り付けるには、以下の情報を使用します。

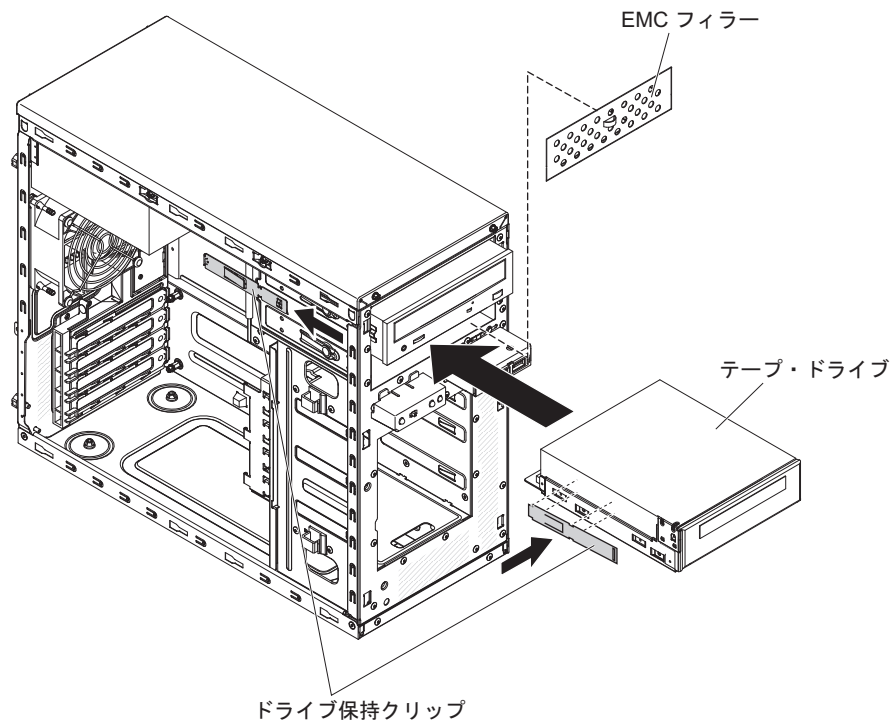
ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- 新規ドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブルおよび他の装置が準備されている。
- 新規ドライブに付属の手順を確認し、ドライブのスイッチあるいはジャンパーを設定する必要があるかを判別している。
- 古いドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外し、新規ドライブの取り付けに使用できるようにしている。

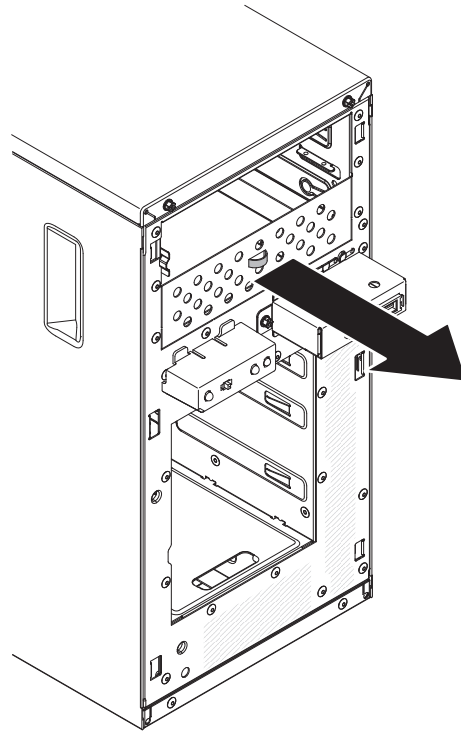
非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。

4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
- 重要:** サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・ダクトを取り外します。
7. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
9. サーバーを元どおり垂直に立てます。
10. ベイ 1 またはベイ 2 のドライブ・ケージの横からドライブ保持クリップを取り外します。ドライブ保持クリップを前方へスライドしてドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面のねじ穴にはめ込みます。



11. EMC フィラーを取り外します。



12. ドライブをベイ内に押し込みます。

注: テープ・ドライブは、ベイ 1 または 2 にのみ取り付け可能です。

13. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

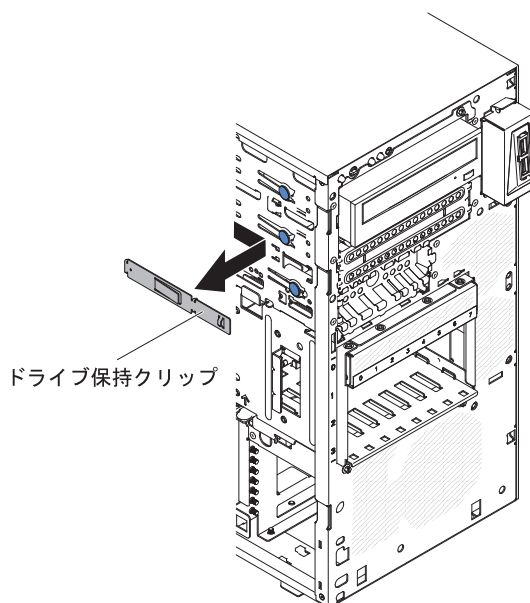
14. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクタに接続されていることを確認します。
15. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

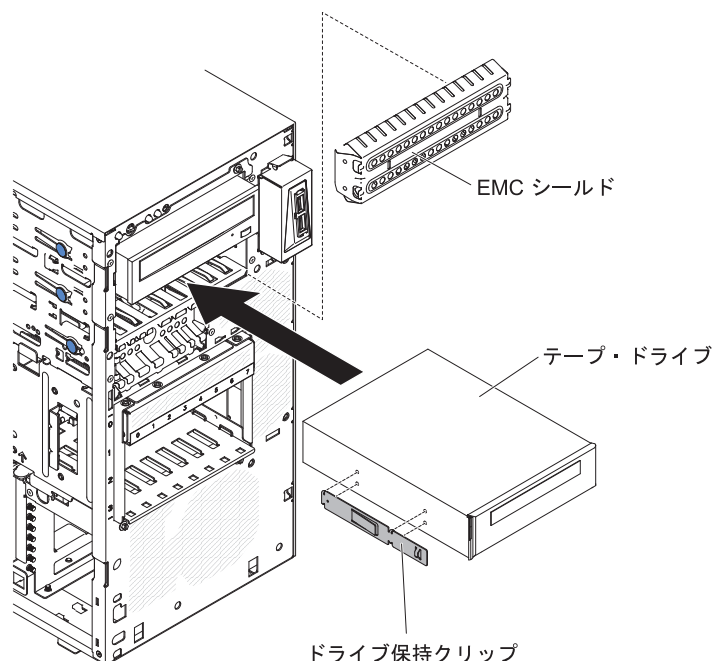
ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
7. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. ドライブ保持クリップを前方にスライドして、ベイ 2 のドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブの側面のねじ穴にはめ込みます。



9. EMC フィラーを取り外します。
10. ドライブ保持クリップを前方にスライドして、ベイ 2 のドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブの側面のねじ穴にはめ込みます。



11. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクタに接続されていることを確認します。
12. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
13. 電源ケーブルをドライブの背面に接続します。このコネクタは一方方向にしか差し込めません。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、サーバーは最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。ハード・ディスクはサーバーの前面からアクセス可能です。シンプル・スワップ・ドライブの取り外しまたは取り付けを行う場合は、事前にサーバーの電源をすべて切断する必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

上部のベイから開始して下部のベイに向かって (ベイ 3、4、5 の後に 6) ドライブを取り付けます。次の表は、ハード・ディスクの ID をリストしています。

表 9. シンプル・スワップ・ドライブの ID

ドライブ・ベイ	HDD ID
3	0

表 9. シンプル・スワップ・ドライブの ID (続き)

ドライブ・ベイ	HDD ID
4	1
5	2
6	3

- シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクは、システム・ボード上の SATA 0 から SATA 3 コネクタに以下のように接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクタに接続されます。
- - ハード・ディスク 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 1 は、システム・ボードの SATA 2 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 2 は、システム・ボードの SATA 1 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクタに接続されます。

注: RAID モードの場合:

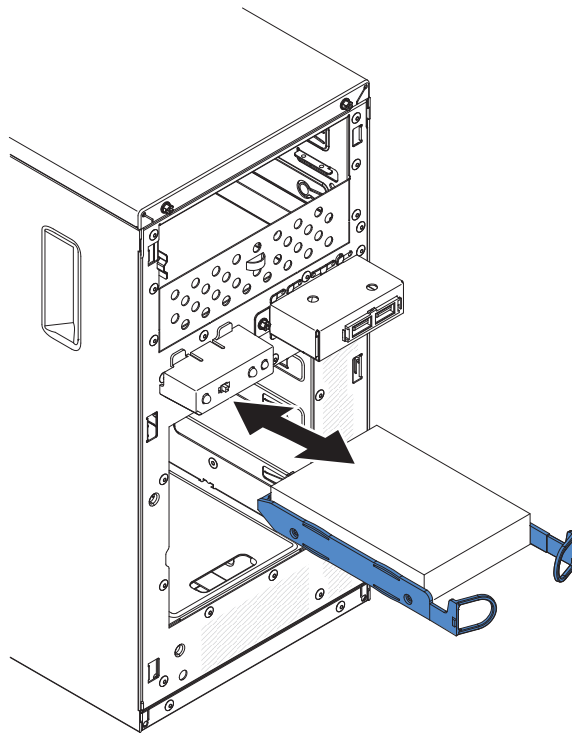
1. uEFI セットアップ・メニューでは:
 - ドライブ 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
 - ドライブ 1 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
 - ドライブ 2 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
 - ドライブ 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。
2. MegaRAID Storage Manager ユーティリティでは:
 - スロット 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
 - スロット 1 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
 - スロット 2 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
 - スロット 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

注: サーバーに ServeRAID アダプターが取り付けられている場合は、SATA 信号ケーブルの他方の端を ServeRAID アダプターに接続してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての外部ケーブルと電源コードを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
5. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます (最初にドライブのコネクターの端を合わせます)。
6. ドライブ・アセンブリーの丸い青色のループを互いに引き寄せてから、ドライブ・アセンブリーを止まるまでドライブ・ベイに静かにスライドさせて挿入し、ループを放します。



注: ドライブ・アセンブリーが完全に固定されるまで、ドライブ・アセンブリーのループを放さないでください。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

表 10. 3TB HDD OS サポート・リスト

OS	サポート制限	サポート状況
Windows 2008R2 SP1 64 ビット (UEFI)		サポート

表 10. 3TB HDD OS サポート・リスト (続き)

OS	サポート制限	サポート状況
Windows 2008R2 SP1 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
Windows 2008 SP2 64 ビット (UEFI)		サポート
Windows 2008 SP2 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
Windows 2008 SP2 32 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
RHEL 6.1 64 ビット (UEFI)		サポート
RHEL 6.1 64 ビット (レガシー)		サポート
RHEL 6.1 32 ビット (レガシー)		サポート
RHEL 5.6 64 ビット (レガシー)、RHEL 5.6 32 ビット (レガシー)	サポートなし、パーティション不可	サポートなし
RHEL 5.6 64 ビット (レガシー)、RHEL 5.6 32 ビット (レガシー)	サポートなし、パーティション不可	サポートなし
SLES11 SP1 64 ビット (UEFI)		サポート
SLES11 SP1 64 ビット (レガシー)		サポート
SLES11 SP1 32 ビット (レガシー)		サポート
SLES10 SP4 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
SLES10 SP4 32 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート

注: OS 4690 では 3TB ハード・ディスクはサポートされません。

表 11. 3TB HDD での ServeRAID サポートの制限

ServeRAID アダプター	サポート制限	コメント
ServeRAID M5014	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID M1015	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID-BR10il	仮想ディスクのみ最大 8TB をサポート。	LSI チップの制限。制限付きでサポート

表 11. 3TB HDD での ServeRAID サポートの制限 (続き)

ServeRAID アダプター	サポート制限	コメント
ServeRAID H1110	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID C100	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート

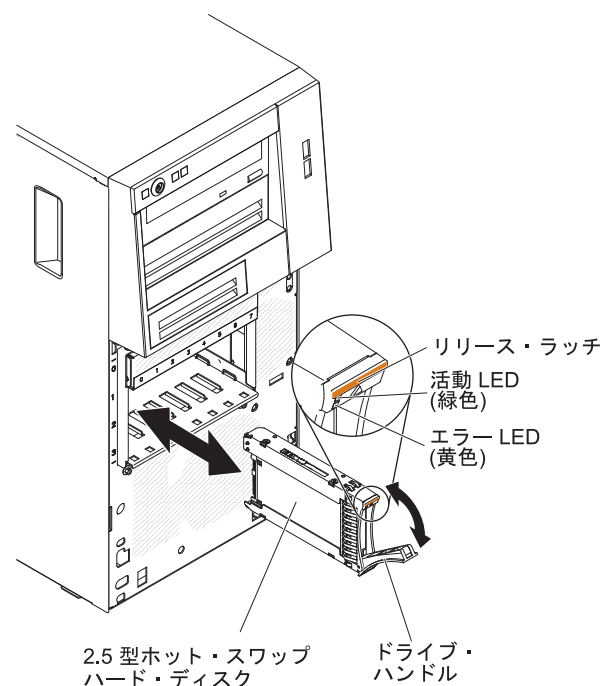
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- ホット・スワップ・ドライブは、すべて SAS ハード・ディスク、またはすべて SATA ハード・ディスクのどちらかにする必要があります。2 つのタイプを組み合わせることはできません。
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。



1. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
2. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
3. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます。その後、ドライブが止まるまで、ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイ内に静かにスライドさせます。
4. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
5. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。(ドライブが認識されるように、サーバーを再始動する必要がある場合があります。) ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があることを示しています。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合は、そのドライブにアクセス中であることを示しています。

注: ServeRAID コントローラーを使用して RAID 操作するように、サーバーが構成されている場合は、ハード・ディスクを交換した後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作についての追加情報、および ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な手順については、ServeRAID 資料を参照してください。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

4U サーバー・モデルの内部ドライブ用の電源ケーブルと信号ケーブル

このセクションでは、4U サーバー・モデルの内部ドライブ用の電源ケーブルと信号ケーブルについて説明します。

このサーバーではケーブルを使用して、SATA 接続、シンプル・スワップ SATA の各装置をパワー・サプライとシステム・ボードに接続します。(システム・ボード・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。) 電源ケーブルおよび信号ケーブルを内部ドライブに接続する前に、以下の情報をお読みください。

- サーバーに事前取り付けされたドライブは、電源ケーブルと信号ケーブルが接続されて出荷されます。いずれかのドライブを交換する場合は、どのケーブルがどのドライブに接続されているかを覚えておいてください。
- ドライブを取り付けるときは、信号ケーブル・ドライブ・コネクタの一方がドライブに接続されており、信号ケーブルのもう一方のコネクタがシステム・ボードに接続されているか、または互換性のあるアダプターやコントローラーを取り付けた場合は、これらに接続されていることを確認します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがドライブの後部あるいはマイクロプロセッサや DIMM の上部への通気を妨害していないことを確認してください。

次のケーブルが提供されます。

- **電源ケーブル:** 4 線の電源ケーブルは、ドライブをパワー・サプライに接続します。これらのケーブルの端には、異なるドライブに接続できるプラスチック・コ

ネクターがあります。これらのコネクターはサイズが異なります。4 線の電源ケーブルまたは SATA 電源ケーブルのいずれかを SATA 装置に使用します。ただし、両方を同時に使用しないでください (どちらか一方を使用します)。

- **信号ケーブル:** 信号ケーブルは、通常、フラット・ケーブル (リボン・ケーブルとも呼ばれる) であり、SATA 接続、SATA および SAS とシステム・ボードを接続します。サーバーには、2 種類または 3 種類の信号ケーブルが付属しています。
 - **SATA 接続 (光ディスク・ドライブの場合):** SATA 接続のフラット信号ケーブルには 2 つのコネクターがあります。これらのコネクターの 1 つは光ディスク・ドライブに接続され、もう 1 つはシステム・ボード上のコネクターの 1 つに接続されます。
 - **シンプル・スワップ SATA:** シンプル・スワップ SATA モデルには 4 本の SATA ケーブルが付属しており、それらのケーブルは、すでにシステム・ボードと、シンプル・スワップ・ドライブ・ケージ背面のバックプレートに接続されています。

SAS/SATA ケーブルの要件および SAS/SATA デバイスの接続方法について詳しくは、それぞれのデバイスに付属の資料を参照してください。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ServeRAID アダプターの取り付け

ServeRAID アダプターを取り付けるには、以下の情報を使用します。

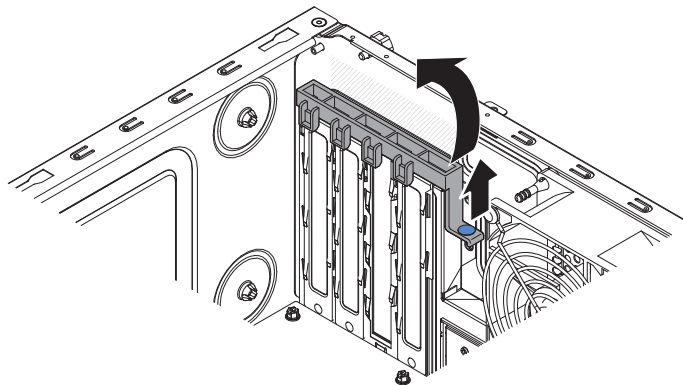
このサーバーがサポートする ServeRAID アダプターのタイプ、および ServeRAID アダプターを取り付ける際に考慮すべきその他の情報については、「インストールおよびユーザズ・ガイド」を参照してください。(拡張スロットおよびコネクターの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)

注: Intel Ethernet クアッドポート・サーバー・アダプター I340-T4 (部品番号 49Y4240) を取り付ける場合、このアダプターは、スロット 1、スロット 2 またはスロット 3 にのみ取り付けることができます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに交換用 ServeRAID アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。

4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
 5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
 6. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
- 重要:** サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
 8. エアー・ダクトを取り外します。
 9. アダプターに付属の配線手順がある場合は、それに従ってください。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
 10. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
 11. 後部アダプターの保持ブラケットの端を持ち上げて、シャーシの穴からタブを外します。



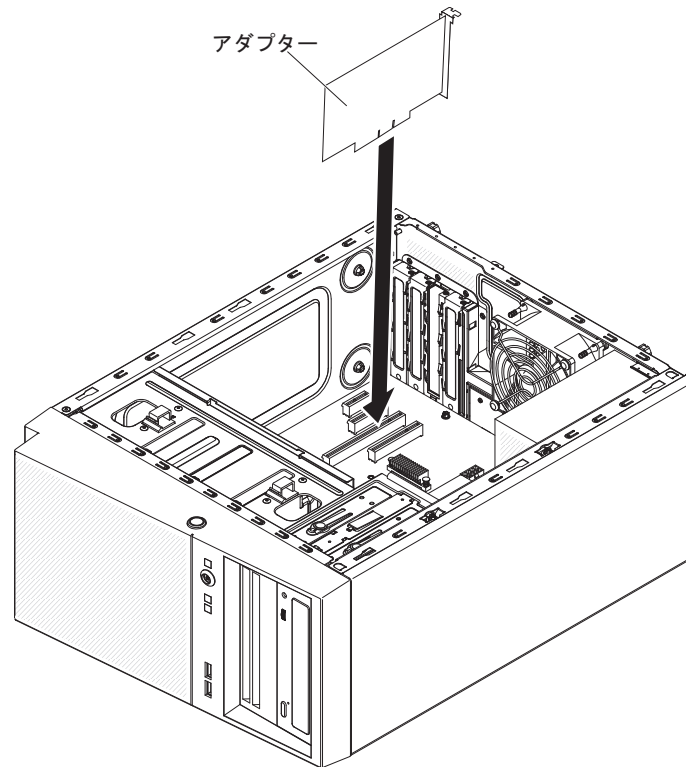
12. 後部アダプターの保持ブラケットを上回転させて、シャーシから取り外します。
13. ねじ (拡張スロット・カバーをシャーシに固定している) を取り外します。拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。

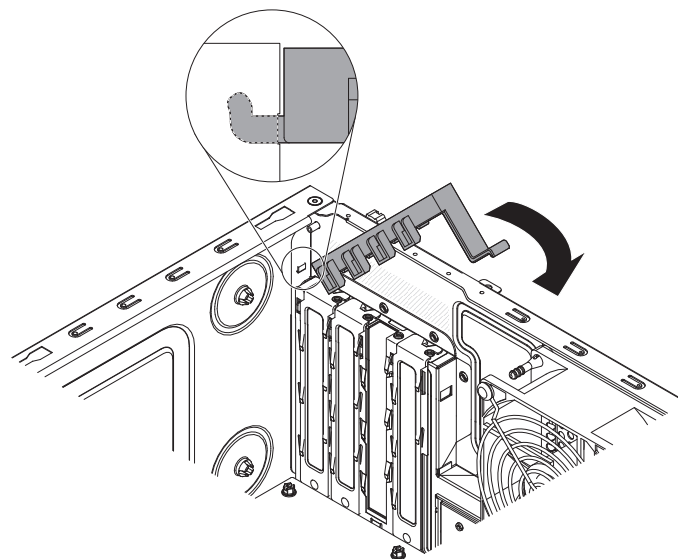
14. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
15. アダプターの上端または上の両方の角を注意して持ち、拡張スロット・ガイドの位置に合わせます。次にアダプターをしっかりと拡張スロットに押し込みます。サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正し

く収まっていることを確認してください。アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

重要: サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。



16. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。



17. 後部アダプターの保持ブラケットを所定の位置に回転させ、反対側のヒンジ・ポイントにある穴がシャーシのヒンジ・ピンにはまるようにします。
18. 必要なケーブルをすべてアダプターに接続します。システム・ファンからの空気の流れを妨害しないようにケーブルを配線します。
19. エアー・ダクトを取り付けます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

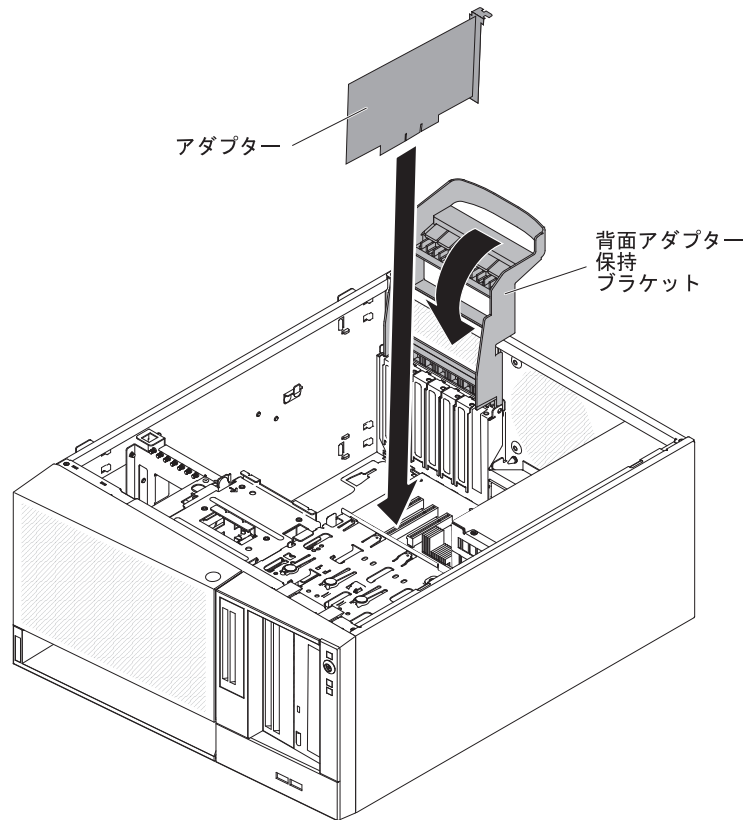
注: Brocade アダプター上で Windows 2011 SBS をサポートするには、3.0.0.0 以降のバージョンのドライバー・パッケージを使用する必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に交換用 ServeRAID アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
6. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

8. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
9. アダプターの上端または上の隅を注意して持ち、帯電防止パッケージから拡張スロットにアダプターを直接移します。アダプターを拡張スロット・ガイドの位置に合わせ、拡張スロットにアダプターをしっかりと押し込みます。
10. 必要なケーブルをアダプターに接続します。ファンからの空気の流れを妨げないようにケーブルを配線します。
11. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。



他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにマイクロプロセッサとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

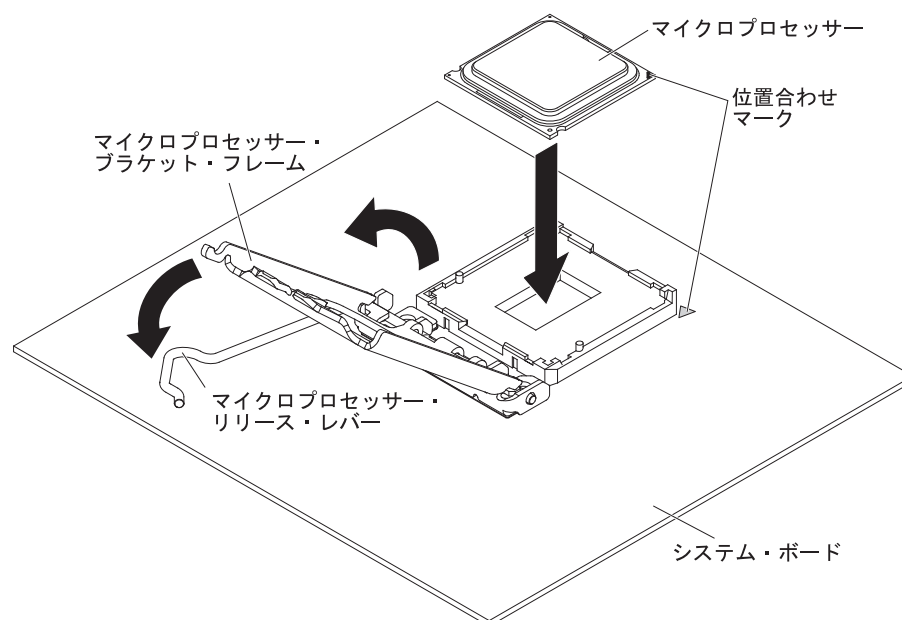
1. マイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。
2. マイクロプロセッサ・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
3. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。それを怠ると、マイクロプロセッサ、マイクロプロセッサ・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

4. マイクロプロセッサを注意してつかみ、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに差し込みます。

注: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- マイクロプロセッサには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
 - マイクロプロセッサの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
 - マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサ保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

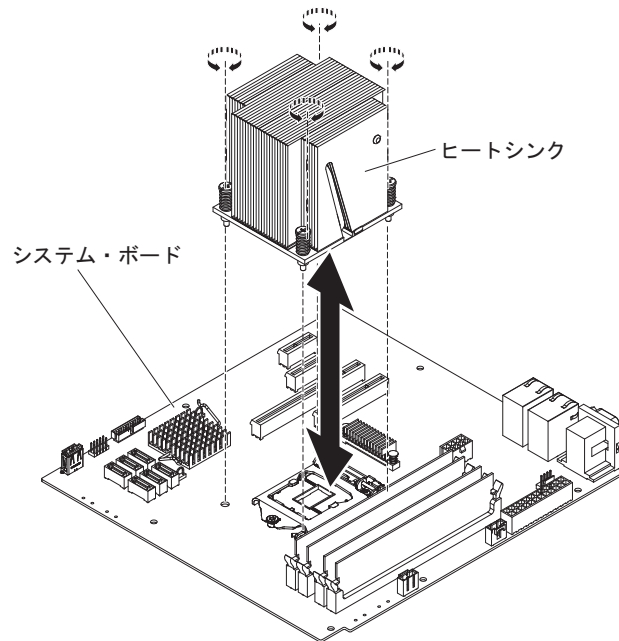


6. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

重要: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
- b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。



7. 古いマイクロプロセッサを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
8. SATA 信号ケーブルを保持クリップで固定します。
9. エアー・ダクトを取り付けます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にマイクロプロセッサとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

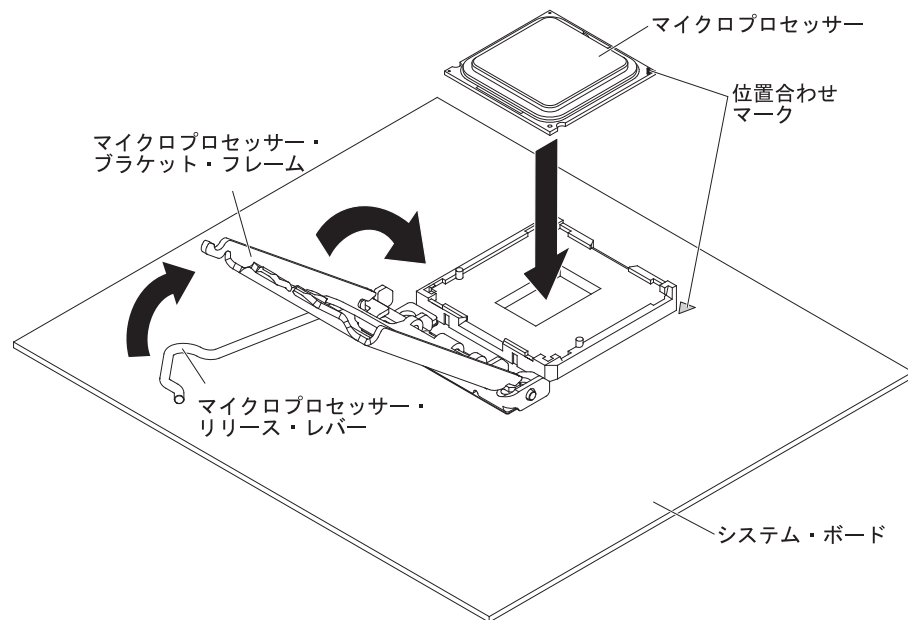
1. マイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。
2. マイクロプロセッサ・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
3. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。それを怠ると、マイクロプロセッサ、マイクロプロセッサ・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

4. マイクロプロセッサを注意してつかみ、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに差し込みます。

注: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- マイクロプロセッサには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
 - マイクロプロセッサの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
 - マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサ保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

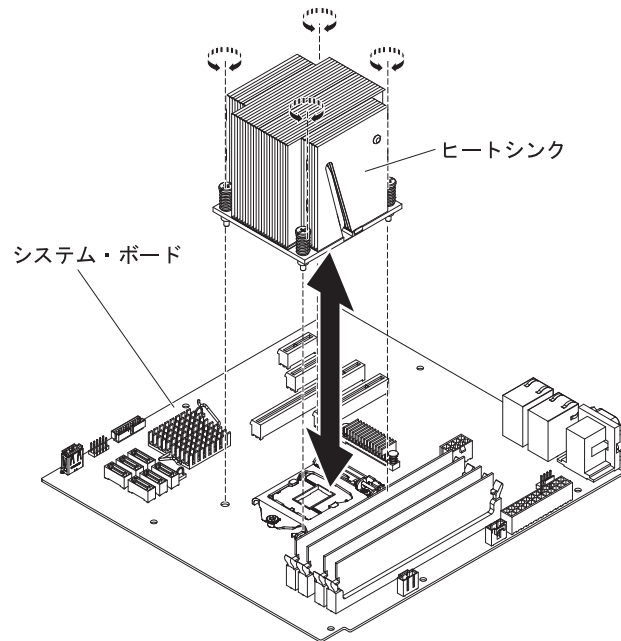


6. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

重要: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
- b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。



7. 古いマイクロプロセッサを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
8. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサと同じマイクロプロセッサにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

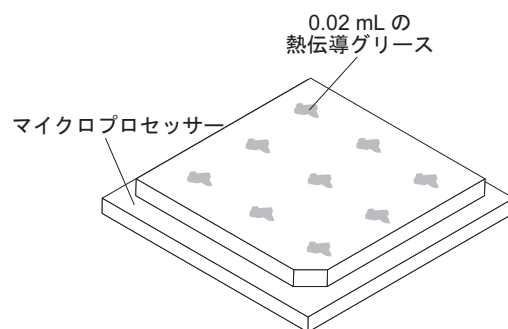
- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 35 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

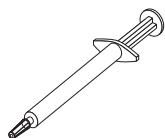
1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの下部から熱伝導グリースを拭き取ります。

注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサ上の 9 カ所に等間隔で 0.02 mL のグリースを点状に配置します。最も外側の点をマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。



注: グリースを適切に塗布すると、注射器には約半分のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (269 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

安全 8



注意:

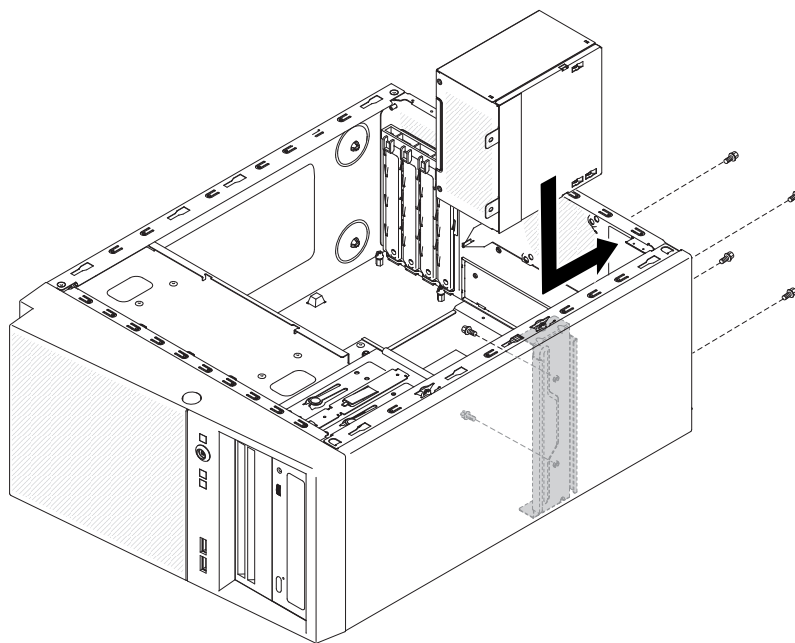
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



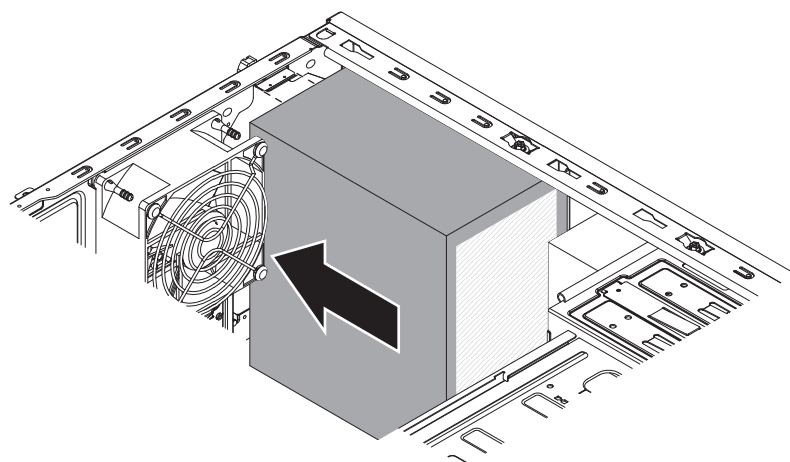
このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. エアー・ダクトを取り外します。
2. ヒートシンクを取り外します (44 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. パワー・サプライのねじ穴がシャーシ背面の対応する穴と位置が合うように、パワー・サプライをシャーシ内に設置します。



注: パワー・サプライの上部および下部が、開口部の上下のタブと位置が合っていることを確認してください。



4. パワー・サプライをシャーシに固定するねじを取り付けます。
5. エアー・ダクトを取り付けます。

他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、83 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- このサーバーには、430 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 つ標準装備されています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- サーバーは、1 個のパワー・サプライで、最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするために、2 個目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

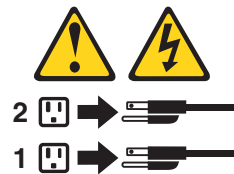
注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

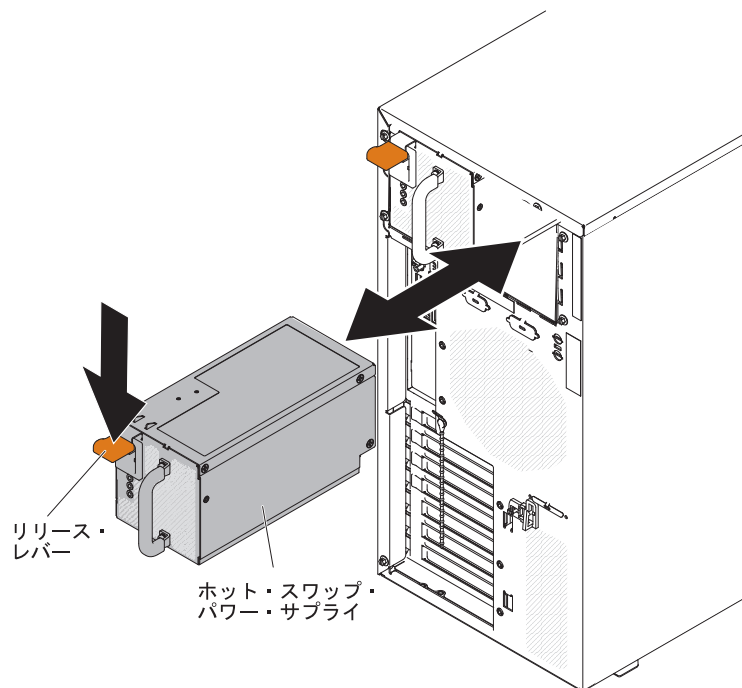


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切に冷却するために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーのいずれかを取り付けおく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行してください。

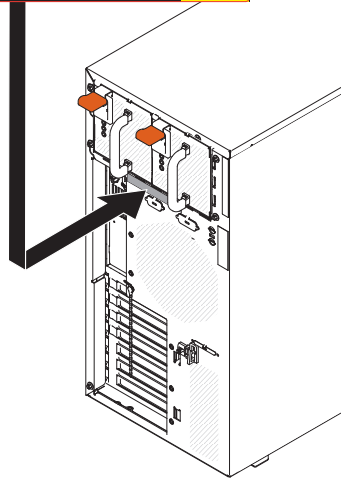
1. パワー・サプライをベイ・ガイドに入れます。
2. ハンドルを使用して、所定の位置にロックされるまで、パワー・サプライをシャーシの前面に押し込みます。



3. 電源コードの片方の端をパワー・サプライの背面のコネクターに接続し、電源コードのもう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。

4. パワー・サプライ背面の AC 電源 LED および DC 電源 LED が両方とも点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを確認します。
5. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルを、パワー・サプライの近くのサーバー・トップ・カバーに貼り付けてください。

	XXXW ~ AC 额定电压 xxx-xxx/ 额定電壓 xxx-xxxV~ 额定電流 x,x/x,x A 额定電流 额定頻率 xx/xx Hz 额定頻率	XXXW ~ AC 额定电压 xxx-xxx/ 额定電壓 xxx-xxxV~ 额定電流 x,x/x,x A 额定電流 额定頻率 xx/xx Hz 额定頻率	



他に取り付け装置がある場合、ここで実行します。そうでない場合は、『取り付けの完了』に進みます。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、この情報を使用します。

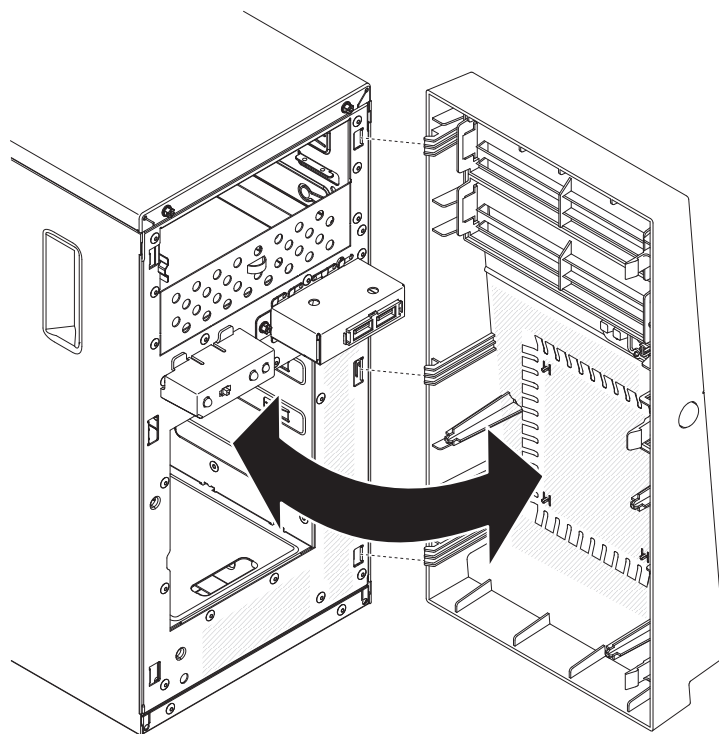
ベゼルとサイド・カバーを再取り付けし、ケーブルをすべて接続してから、いくつかの装置に対して Setup ユーティリティを実行して、取り付けを完了します。このセクションの手順に従ってください。

ベゼルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. ベゼル上の 3 つのタブをサーバー前面の対応する穴に挿入します。
2. 所定の位置にしっかりロックされるまで、ベゼルのサーバー側に回転させます。



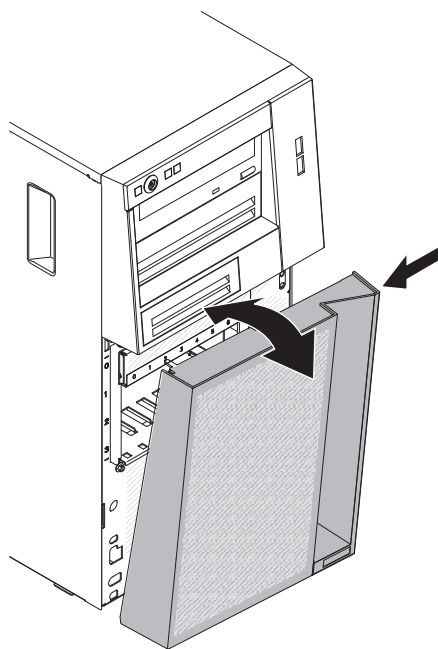
3. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

下段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に下段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. 下段ベゼルの底部にある 2 つのタブを、シャーシ前面にある対応する穴に挿入します。



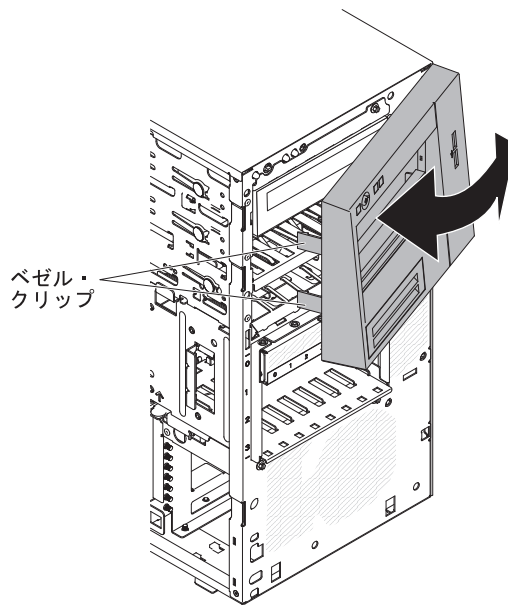
2. 下段ベゼルの上部をシャーシ方向に回転させます。次に下段ベゼルの右側にある青色のリリース・タブを押して、下段ベゼルが所定の位置にしっかりロックされるまで、完全に閉じます。
3. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

上段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に上段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. 上段ベゼルの右側にある 2 つのタブを、シャーシの右側にある対応する穴に挿入します。



2. シャーシの左側の対応する凹みにベゼル・クリップの位置が合うまで、上段ベゼルのシャーシの左側方向に回転させて、カチッと音がするまではめ込みます。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

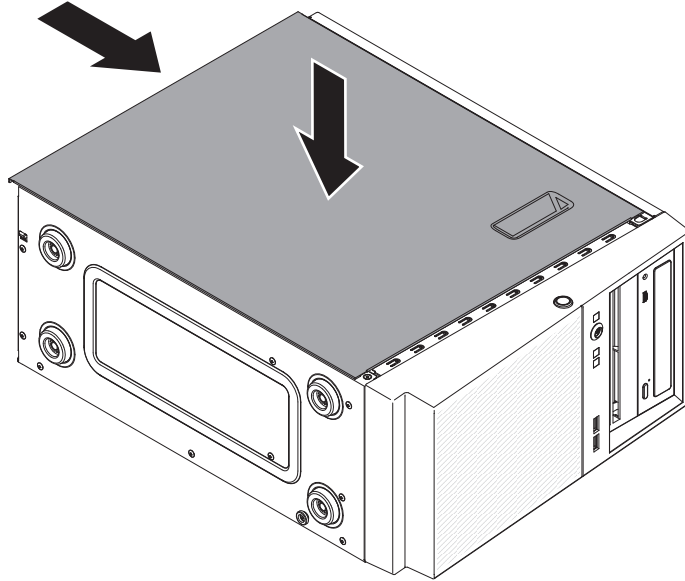
サイド・カバーの交換

サイド・カバーの交換を行うには、この情報を使用します。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サイド・カバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
2. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
3. サイド・カバーを押さえて、サイド・カバーの後部側から所定の位置にしっかりロックされるまで押し込みます。

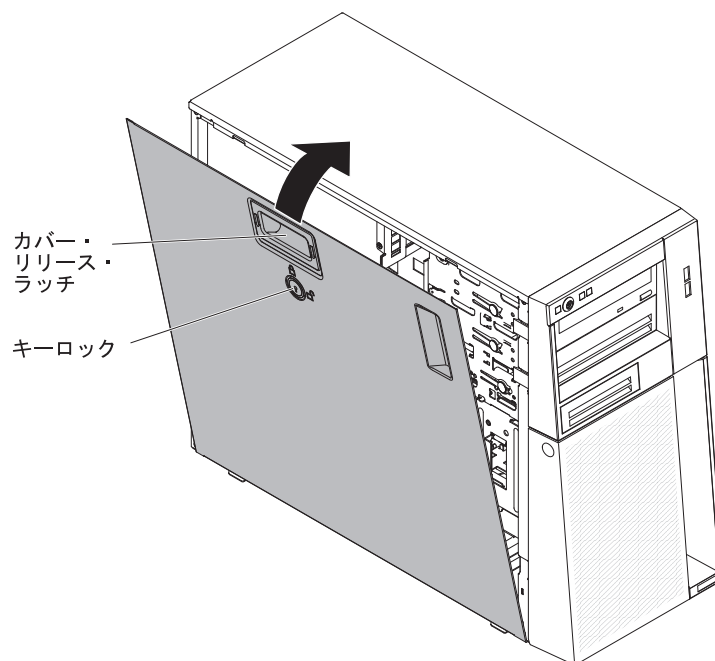


4. サイド・カバー後部の 2 つのシャーシねじを使用して、サイド・カバーを所定の位置に固定します。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

重要: カバー・ロックは、サイド・カバーを取り付ける前にアンロック (開) 位置にしておく必要があります。

1. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
2. 上段および下段のベゼルを取り外した場合は、サイド・カバーを取り付け直す前に、これらのベゼルを再度取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』、および 85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
3. サイド・カバー底部端のへりをシャーシ底部にある水平の台に合わせ、カバーをシャーシまで回転させます。カバー・リリース・ラッチを下方へ押し、カバーが所定の場所に完全に納まるまでシャーシの中に押し込みます。



4. サイド・カバーをロックします。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

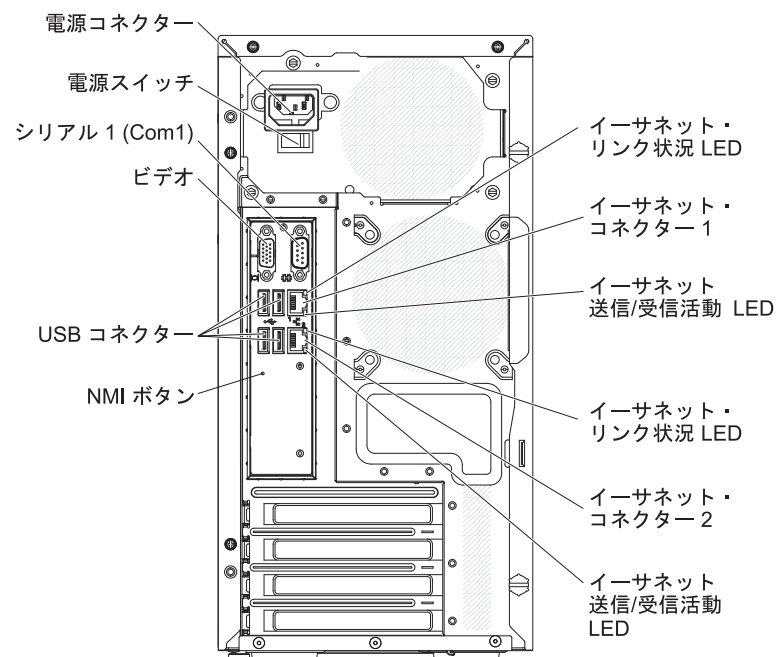
ケーブルの接続

ケーブルを接続するには、この情報を使用します。

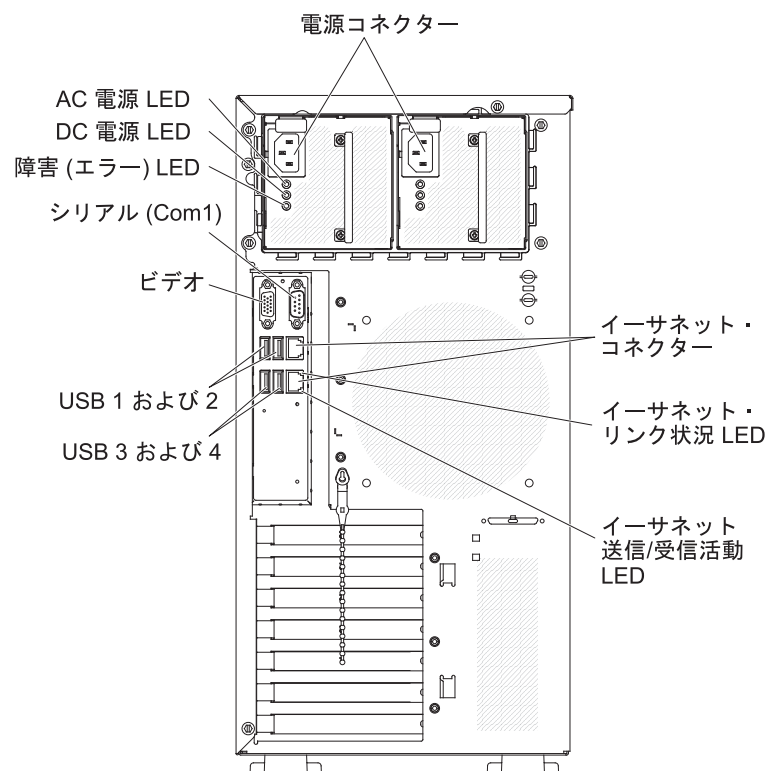
重要: 機器が損傷を受けないようにするために、最後に電源コードを接続します。

サーバー・ケーブルとコネクタ・パネルの接続が色分けされている場合は、ケーブルの先端の色とコネクタの色を一致させてください。例えば、青いケーブルの先端は青いパネル・コネクタに合わせ、赤いケーブルの先端は赤いコネクタに合わせて接続します。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載サーバー・モデル背面の入出力 (I/O) コネクタを示しています (4U シャーシ)。



次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) 背面の入出力 (I/O) コネクタを示しています。



サーバー構成の更新

サーバー構成を更新するには、この情報を使用します。

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように、Setup ユーティリティが自動的に開始します。

一部のオプションには、デバイス・ドライバのインストールが必要となります。デバイス・ドライバのインストール方法については、各オプションに付属の資料を参照してください。

サーバーに ServeRAID アダプターが取り付けられていて、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行った場合は、ディスク・アレイの再構成について ServeRAID の資料を参照してください。

外付けデバイスの接続

外付けデバイスを接続するには、この情報を使用します。

サポートされるオプションのアダプターを取り付けた場合は、外付け装置をサーバーに接続することができます。

外付けデバイスを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーとすべての接続装置の電源をオフにします。
3. 装置に付属の資料の説明に従って、装置の取り付けの準備をして、サーバーに接続します。

注: 外部装置を取り付ける場合は、配線について装置に付属の資料を参照してください。

サーバーのラックへの取り付け

サーバーのラックへ取り付けるには、この情報を使用します。

サーバーをタワー・モデルからラック・モデルに変換するには、ラック・タワー変換キットを使用する必要があります。その後、サーバーをラック・キャビネットに取り付けることができます。サーバー用のラック・タワー変換キットのご注文については、IBM の営業担当員あるいは認定販売店にお問い合わせください。

注:

1. システムをラック・キャビネットに取り付ける場合でも、タワーから以下のアイテムを取り外す必要はありません。
 - 前面ベゼル
 - DVD-ROM ドライブ
 - テープ・ドライブ
 - 前面 USB コネクタ・アセンブリー

- Operator information panel assembly
2. システムをラック・キャビネットに取り付けると、EIA ブラケットと下段ベゼルの間の距離は、約 67 mm になります。この距離を考慮して、システムをラック・キャビネットに取り付ける際には、ラック・キャビネットのドアを完全に閉めておくようにしてください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、以下の情報を使用します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更履歴・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティ**

Setup ユーティリティは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、99 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用法について詳しくは、107 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **IBM ServerGuide Setup and Installation CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、97 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール**

統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、109 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=migr-5086346>) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、114 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーでできるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、111 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、115 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、115 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、115 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティの代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、116 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、116 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 12. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS 構成ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director

注:

1. ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII) および SAS2IRCU について詳しくは、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5088601> にアクセスしてください。
2. MegaRAID について詳しくは、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5073015> にアクセスしてください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。

ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation CD* を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを備えたサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して論理ドライブを作成できます。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.ibm.com/supportportal> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティの開始

Setup ユーティリティを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティ・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• System Information

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– Product Data

システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• System Settings

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Adapters and UEFI Drivers

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

– Processors

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– Memory

この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

– Devices and I/O Ports

この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、

SATA 光ディスク・ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等で

– **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

– **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

– **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **Infinite Boot Retry**

UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

統合管理モジュールの設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

– **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。

- **Recovery**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

• **POST Watchdog Timer**

この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

• **POST Watchdog Timer Value**

この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

• **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。 **Enable** (使用可能) がデフォルトです。

• **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

– **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

– **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

– **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

• **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

• **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

– **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

• **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、105 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、106 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、106 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、107 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、107 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

- **Restore Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

- **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

この選択項目を選択し、Setup ユーティリティを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するものであり、Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティを開始して、始動パスワードをリセットします。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- 始動パスワードのスイッチの位置を変更して (システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 3 を使用可能にする)、パスワード検査をバイパスします (詳しくは、32 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。

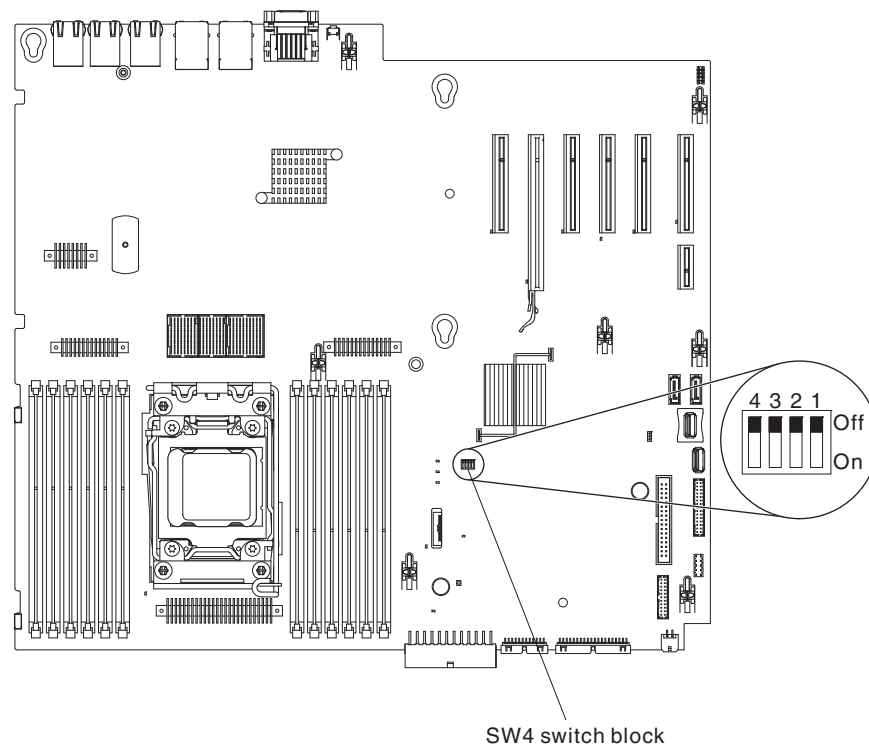


図 11. 始動パスワード・スイッチ

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW3) のスイッチ 4 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager にはこの情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup ユーティリティの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolset/v1r0/>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

このタスクについて

電源ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「System Settings」 > 「Integrated Management Module」を選択してから、「Power Restore Policy」の設定を Restore に設定します。
4. 「System Configuration and Boot Management」 > 「Save Settings」に戻ります。
5. 戻って、電源ポリシーの設定値をチェックし、これが「Restore」(デフォルト)に設定されていることを確認します。

次のタスク

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。

- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サブライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サブライ、マイクロプロセッサ、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケータ。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サブライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」
(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=migr-5086346>) を参照
してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は『IMM-』(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。

4. 12 文字の中央に『FF』と『FE』を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数 に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログイン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログインします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログインするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: インストール後初めて IMM にログインする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

3. 「Log in」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「System Status」>「System State」でメッセージ『Booting OS or in unsupported OS』が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに取り付けることができます (これらのコネクタの位置については、内部ケーブルのルーティングおよびコネクタを参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」を参照してください。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックします。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティを使用して RAID アレイを構成します。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティの限られたメニューしか利用できません。
3. 「System Settings」 > 「Storage」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

以下の情報を使用して、IBM Systems Director を更新します。

このタスクについて

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「更新の表示」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「Install」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。

- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
 - d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
 4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。 `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

ここで、

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

`[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]`

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
 - d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。 ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。 IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。 ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
 - a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
 - b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
 - c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。

- d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
 - e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
 3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *ibm_rndis_server_os.inf*
 - *device.cat*
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - *cdc_interface.sh*
 4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyy はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzzz はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

- a. <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスします。
- b. パネル上部にある「Downloads」タブをクリックします。
- c. 「ToolsCenter」の下で、「View ToolsCenter downloads」を選択します。
- d. 「Advanced Settings Utility (ASU)」を選択します。

- e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用しても問題の診断や訂正ができない場合は、547 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照して詳しい情報を入手してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、Light Path 診断 LED を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、イベント・ログを参照してください。
 - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、および 93 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**

- 1) **既存のコード・レベルを判別します。**

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. 構成の誤りを確認して、訂正します。サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、131 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、93 ページの『第 3 章 構成情報と説明』を参照してください。
6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

7. トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、139 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3100 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM IBM System x3100 M4 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview> にアクセスして、2582 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』ページから始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、146 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 429 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、139 ページの『現象別トラブルシューティング』および 158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、156 ページの『電源の問題の解決』、150 ページの『電源問題』、および パワー・サプライ LED を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、イベント・ログおよび DSA メッセージを参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (パワー・サプライ LED を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、
<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> で確認します。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、139 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (Light Path 診断を参照)。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、135 ページの『UEFI/POST』を参照)。
 - オペレーティング・システム・デスクトップ上の読み取り可能な画面によって示される、始動の正常終了。
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 139 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の現象を見つけ出します。必要があれば、158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、DSA メッセージ の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

• POST のエラー・メッセージとエラー・ログ

パワーオン・セルフテスト (POST) は、テストが正常に完了したか問題が検出されたかを示すメッセージを生成します。

• トラブルシューティング表

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。

• 統合管理モジュール II

統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

統合管理モジュール II (IMM2) について詳しくは、109 ページの『統合管理モジュールの使用』、283 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=migr-5086346>) を参照してください。

• Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム

DSA Preboot 診断プログラムには、問題の切り分け、構成分析、およびエラー・ログ収集機能があります。この診断プログラムは、サーバーの主要なコンポーネ

ントをテストする基本方式で、内蔵 USB メモリーに保管されています。この診断プログラムは、サーバーに関する次の情報を収集します。

- システム構成
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- 取り付け済みハードウェア
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成
- 統合管理モジュール II (IMM2) の状況と構成
- ハード・ディスクのヘルス
- RAID アダプター構成
- 以下の情報を含むコントローラーおよび IMM2 イベント・ログ
 - システム・エラー・ログ
 - 温度、電圧、およびファン速度の情報
 - Self-monitoring Analysis, and Reporting Technology (SMART) データ
 - マシン・チェック・レジスター
 - USB 情報
 - モニター構成情報
 - PCI スロット情報

診断プログラムは、収集したすべてのログに記載されたイベントを組み込んだマージ・ログを作成します。情報は 1 つの XML ファイルに収集され、ユーザーはこのファイルを IBM サービスおよびサポートに送信することができます。さらに、テキスト・レポート・ファイルを使用してサーバー情報をローカルに表示することができます。また、出力 (xml.gz, txt, html) を取り外し可能メディアにコピーして、Web ブラウザーから html を表示することもできます。

• サーバー LED

システム・エラーを迅速に診断するには、サーバーの LED を使用します。詳しくは、17 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください。

• IBM Electronic Service Agent

IBM Electronic Service Agent はサーバーのハードウェア・エラー・イベントをモニターするソフトウェア・ツールで、自動的に電子サービス要求を IBM サービスおよびサポートに発信します。さらに、システム構成情報をスケジュール・ベースで収集および送信するため、ユーザーおよびサポート担当者はこの情報を利用できます。このソフトウェアは最小のシステム・リソースしか使用せず、無料で提供されます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、<http://www.ibm.com/support/electronic/portal/> にアクセスしてください。

UEFI/POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち **POST** と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、**POST** が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、429 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが **POST** イベント・ログに送信されます。詳しくは、イベント・ログを参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、DSA メッセージを参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、158 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手する

には、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

• DSA Portable

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク装置 (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを IBM サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

これらのツールは、IBM サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、<http://www.ibm.com/support/electronic/portal/> にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、429 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、283 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および 447 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を利用して、識別可能な現象がある問題に対する解決策を見つけてください。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、127 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (Light Path 診断を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。

3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

CD/DVD ドライブの問題

表 13. CD/DVD ドライブの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	- 次の点を確認します。 - DVD ドライブが接続されている SATA コネクタ (1 次または 2 次) が Setup ユーティリティで利用可能になっているか。 - ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 - DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DVD ドライブ - DVD ドライブ・ケーブル - ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	- CD または DVD をクリーニングします。 - CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 - DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	- サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 - まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 - DVD ドライブを取り付け直します。 - DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

表 14. 一般的な現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	- 詳しくは、Nx 回ブート失敗を参照してください。 - 詳しくは、154 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

表 15. ハード・ディスクの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスクの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを取り付け直し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。
ハード・ディスクがハード・ディスク診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 注: このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。

再現性の低い問題

表 16. 再現性の低い問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログをチェックします (イベント・ログを参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

表 17. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行してキーボードなし操作を有効にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - キーボードを交換します。

表 17. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置 (続き)

• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 • IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

表 18. メモリーの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けられたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 次の点を確認します。 - オペレーター情報パネル上のどのエラー LED も点灯していない。 - システム・ボード上の DIMM エラー LED が点灯していない。 - メモリー・ミラーリング・チャンネルが不一致の原因ではない。 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 - 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 - メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 - メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 - サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがない。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 - POST エラー・ログを確認します。 - DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 - DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。次に Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 - Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認します。次にメモリー診断を実行します (137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にしてから、サーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 18. メモリーの問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
1 つのチャンネル内の複数の DIMM に障害があることが確認されている。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 障害が確認された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を取り外し、正常であることが既知の同一の DIMM と交換してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM の交換後、そのつどサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 識別された DIMM のうち、最も番号が大きい DIMM を交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサ問題

表 19. マイクロプロセッサの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (Light Path 診断を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行して「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を取り付け直します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害の発生したマイクロプロセッサが示されていない場合は、マイクロプロセッサを一度に 1 つずつテストしてエラーを切り分けます。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 複数のエラー・コードまたは Light Path 診断 LED がマイクロプロセッサのエラーを示す場合は、2 つのマイクロプロセッサの位置を逆にして、エラーがマイクロプロセッサまたはマイクロプロセッサ・ソケットのどちらに関連しているか判別します。 - エラーがマイクロプロセッサと関連している場合は、マイクロプロセッサを交換します。 - エラーがマイクロプロセッサ・ソケットに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

モニターの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 20. モニターおよびビデオの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
モニターのテスト。	- モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 - サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 - 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバに問題があることが考えられます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	- サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 - 次の点を確認します。 - サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源供給されていない場合は、150 ページの『電源問題』を参照してください。 - モニターのケーブルが正しく接続されている。 - モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 - サーバーの電源をオンにしたときに、POST エラーが生成されない。 - モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブラックになる。	- 次の点を確認します。 - アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 - アプリケーションに必要なデバイス・ドライバがインストールされている。 - ビデオ診断を実行します (137 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

表 20. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	- モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 注: - ディスクット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスクット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 - IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード
画面に誤った文字が表示される。	- 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (93 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - モニターとケーブルを取り付け直します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ネットワーク接続の問題

表 21. ネットワーク接続の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	- ライセンス・キーが有効であることを確認します。 - 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

表 22. オプション装置の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	- 次の点を確認します。 - 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けした他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けただけの装置を取り付け直します。 - 取り付けただけの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	- 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 - 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 - 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 - すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 - 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 - 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 - 障害のある装置を取り付け直します。 - 障害のある装置を交換します。

電源問題

表 23. 電源の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンが作動しない (サーバーが始動しない)。 注: 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	- 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (32 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - 次の点を確認します。 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 - 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 - DIMM が完全に取り付けられているか。 - パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 - マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - DIMM (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ (トレーニングを受けた技術員のみ) 電源バックプレーン (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード - オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 - パワー・サプライ LEDを参照してください。 158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 23. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、次のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒以上押してサーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 5 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が解決しない場合、または ACPI 対応オペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードの問題が考えられます。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	158 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル・ポートの問題

表 24. シリアル・ポートの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	- 次の点を確認します。 - Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 - シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 - シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 - シリアル・ポート・アダプターを交換します。

表 24. シリアル・ポートの問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
シリアル装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - その装置がサーバーと互換性があるか。 - シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 - 装置が正しいコネクタに接続されているか。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

ServerGuide の問題

表 25. ServerGuide の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	- サーバーが ServerGuide プログラムをサポートしており、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブを備えていることを確認します。 - 始動 (ブート) シーケンスの設定が変更された場合は、DVD ドライブがその始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 - 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして 1 つのドライブだけが設定されていることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
ServeRAID マネージャー・プログラムが、取り付けられているすべてのドライブを認識できないか、またはオペレーティング・システムをインストールできない。	- ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 - SAS ハード・ディスクのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。

表 25. ServerGuide の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

表 26. ソフトウェアの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

表 27. USB ポートの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
USB 装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 正しい USB デバイス・ドライバがインストールされている。 - オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 - Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、99 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 - USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損し

た場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、154 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

ブートが 3 回失敗しました

ブートが 3 回失敗した場合に、この情報を使用します。

このタスクについて

追加した装置またはアダプターのファームウェアなどの構成変更により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。この失敗がブート試行で 3 回連続して発生すると、サーバーは一時的にデフォルト構成値を使用して、自動的に F1 セットアップに進みます。問題を解決するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. 最近行った構成変更をすべて元に戻し、サーバーを再始動します。
2. 最近追加した装置をすべて取り外し、サーバーを再始動します。
3. 問題が解決しない場合は、Setup に進んで「Load Default Settings」を選択し、次に「Save」をクリックしてサーバーの工場出荷時設定を復元します。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. Light Path 診断パネル上で点灯している LED を確認します (Light Path 診断 LEDを参照)。
4. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (158 ページの『未解決問題の解決』を参照)。
5. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

次のタスク

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、パワー・サプライ LEDを参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。

- ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されている必要があります。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
 - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判断するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
3. ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
 4. サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
 5. サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
 6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
 7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。
 - 8.

次のタスク

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して未解決問題を解決してください。

このタスクについて

障害（継続的または再現性の低い）の原因がソフトウェアの問題にあると思われる場合は、153 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、154 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
 - 各アダプター
 - ハード・ディスク

注: サーバーの始動に必要な最小構成は、1 つのマイクロプロセッサと 1 つの 2 GB DIMM です。

4. サーバーの電源を入れます。問題が解決しない場合は、次のコンポーネントを次の順序で確かめてください。
 - a. パワー・サプライ
 - b. メモリー
 - c. マイクロプロセッサ
 - d. システム・ボード

次のタスク

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか？
 - 起こったことは何ですか？ いつ？ どこで？
 - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
 - その障害は再現可能か。
 - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
 - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
 - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、547 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M4 Type 2582

IBM System x3100 M4 Type 2582 の部品リスト

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、IBM System x3100 M4 Type 2582 サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

IBM System x3100 M4 Type 2582 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、170 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、547 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの主要コンポーネントを示しています (サーバー・モデルによって異なります)。本書に示す図は、ご使用のハードウェアと少し異なっていることがあります。構造部品のリストについては、170 ページの『構成部品』を参照してください。

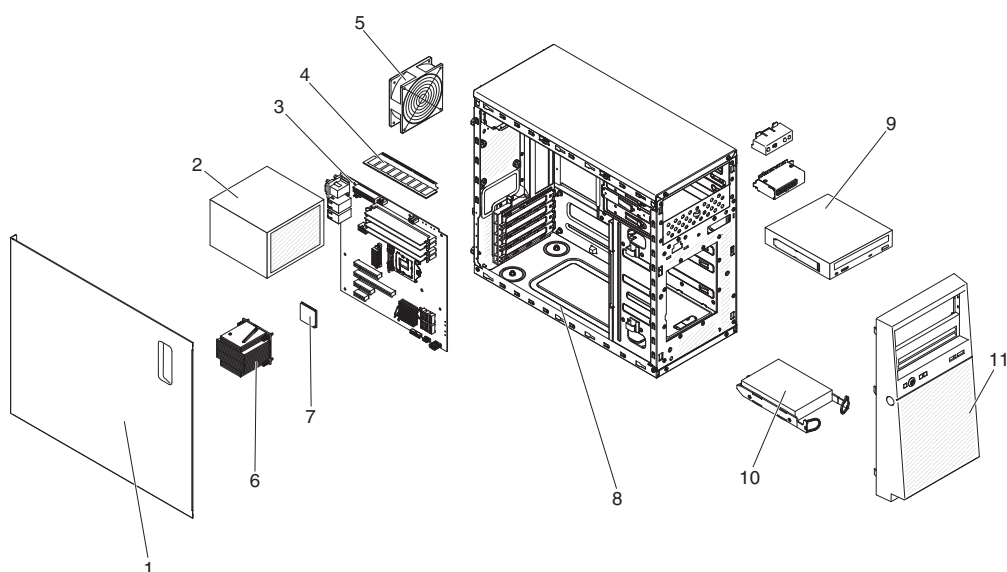


図 12. サーバー・コンポーネント

タイプ 2582、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの
パーツ・リスト。

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
1	サイド・カバー・アセンブリー	81Y7471		
2	パワー・サプライ、300W		00J6072	
2	パワー・サプライ、350W		00J6073	
3	システム・ボード・アセンブリー			00D8550
4	メモリー、1 GB 1Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1572		
4	メモリー、2 GB 1Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1574		
4	メモリー、4 GB 2Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1575		
4	メモリー、2GB 1Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4953		
4	メモリー、4GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4957		
4	メモリー、8GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4961		
5	システム・ファン、背面	81Y7481		
6	ヒートシンク		81Y7493	
7	マイクロプロセッサ、Core i3-2100 3.1GHz 2C 3MB キャッシュ			69Y5148
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270 3.4GHz 4C 8MB キャッシュ			69Y5149

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280 3.5GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6933
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220 3.1GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6945
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230 3.2GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6947
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1260L 2.4GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6949
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220L 2.2GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y6951
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220L v2 2.3GHz、3MB キャッシュ			00Y7408
7	マイクロプロセッサ、Pentium G850 2.9GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y7504
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220v2 3.1GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8552
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270v2 3.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8553
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280v2 3.6GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8554
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1240v2 3.4GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8555
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230v2 3.3GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8556
7	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1265L v2 2.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8557
7	マイクロプロセッサ、Celeron G440 1.6GHz 1C 1MB キャッシュ			94Y6303
7	マイクロプロセッサ、Core i3-2120 3.3GHz 2C 3MB キャッシュ			99Y1447
7	マイクロプロセッサ、Pentium G870 3.1GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8899
7	マイクロプロセッサ、Pentium G860T 2.6GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8900
7	マイクロプロセッサ、Pentium G640 2.8GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8901
7	マイクロプロセッサ、Pentium G640T 2.4GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8902
7	マイクロプロセッサ、Pentium G550 2.6GHz 2C 2MB キャッシュ			00D8903
7	マイクロプロセッサ、Pentium G540T 2.1GHz 2C 2MB キャッシュ			00D8904

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
7	マイクロプロセッサ、Core i3-3240 3.4GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6003
7	マイクロプロセッサ、Core i3-3240T 3.0GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6004
7	マイクロプロセッサ、Core i3-3220 3.3GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6005
7	マイクロプロセッサ、Core i3-3220T 2.8GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6006
7	マイクロプロセッサ、Pentium G2120 3.0GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6007
7	マイクロプロセッサ、Pentium G2100T 2.6GHz 2C 3MB キャッシュ			00J6008
8	シャーシ・アセンブリー	81Y7470		
9	DVD-ROM ドライブ、SATA	43W8466		
10	ハード・ディスク、SATA、3.5 型 500 GB、 シンプル・スワップ	39M4517		
10	ハード・ディスク、SATA、3.5 型 1 TB、シ ンプル・スワップ	43W7625		
10	ハード・ディスク、SATA、3.5 型 2 TB、シ ンプル・スワップ	42D0788		
11	ベゼル	81Y7478		
	エアー・ダクト	81Y7477		
	バッテリー、3.0 V	33F8354		
	ケージ、3.5 型シンプル・スワップ・ハー ド・ディスク		81Y7476	
	ケーブル (3.5 型シンプル・スワップ SATA HDD と iPass バックプレートの間) (1 本)	81Y7487		
	ケーブル (3.5 型シンプル・スワップ SATA HDD バックプレート) (4 本)	81Y7486		
	ケーブル、フロント・パネル・アセンブリー	81Y7484		
	ケーブル、前面 USB アセンブリー	81Y7485		
	ケーブル、USB 変換	39M2909		
	ケーブル、1m SAS	39R6530		
	ケーブル、3m SAS	39R6532		
	ケーブル、1m 内部 USB	44E8893		
	ケーブル、内部 USB	81Y3643		
	シャーシ台座	81Y7483		
	EMC シールド	49Y8455		
	フィラー、DVD-ROM ドライブ	13N2450		
	フィラー、PCI カード	81Y7472		
	ハードウェア、付属品	81Y7475		

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ServeRAID-BR10il v2 SAS/SATA コントローラ	49Y4737		
	ServeRAID M5015 SAS/SATA コントローラ (バッテリーは含まれていません)	46C8927		
	ServeRAID M5025 SAS/SATA コントローラ	46C8929		
	ServeRAID M1015 SAS/SATA コントローラ	46C8931		
	ServeRAID M5014 SAS/SATA コントローラ (バッテリーは含まれていません)	46C8933		
	システム・サービス・ラベル	81Y7480		
	シールド・キット	13N2997		
	シールド・キット、シンプル・スワップ 3.5 型ハード・ディスク	81Y7479		
	ラック・タワー変換キット・アセンブリー	00D4255		
	フリクション・スライド	69Y4391		
	NetXtreme I Quad Port Adapter	90Y9355		
	NetXtreme I Dual Port Adapter	90Y9373		
	QLogic 10Gb デュアル・ポート CNA	00Y3274		
	6Gb Performance Optimized HBA	46C8937		
	Recovery Package M3 Management Node (ソフトウェア・プリロード DVD 付き)	00D7763		
	Internal USB 3 RDX carrier/dock	46C2346		
	Internal USB RDX carrier/dock	46C5380		
	6Gb SAS HBA	46C8935		
	SFP 光モジュール	46C9297		
	3U ブラケット・キット	94Y7628		

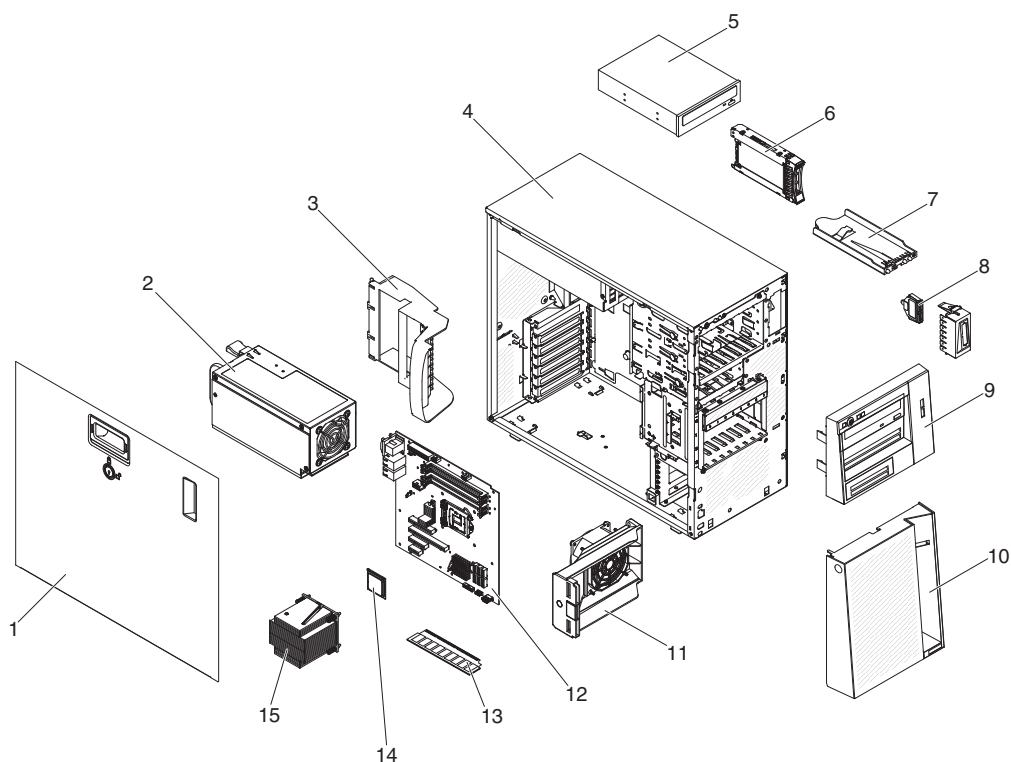


図 13. サーバー・コンポーネント

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のパーツ・リスト。

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
1	サイド・カバー、ロック付き	49Y8447		
2	パワー・サプライ、冗長、430 ワット		46M6679	
3	リテンション・ブラケット (背面)、アダプター	00D8851		
4	シャーシ・アセンブリー	00D8859		
5	DVD-ROM ドライブ、SATA	43W8466		
6	ハード・ディスク、SATA、2.5 型 900 GB、 ホット・スワップ	81Y9651		
6	ハード・ディスク、SAS、2.5 型 300 GB、 ホット・スワップ	81Y9671		
7	Operator information panel assembly	49Y8456		
8	前面 USB コネクター・アセンブリー	49Y8449		
9	ベゼル、上段	00D8857		
10	ベゼル、下段	90Y5210		
11	ハード・ディスク・ファン・ダクト	00D8849		
12	システム・ボード・アセンブリー			00D8868

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
13	メモリー、1 GB 1Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1572		
13	メモリー、2 GB 1Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1574		
13	メモリー、4 GB 2Rx8 UDIMM、1333 MHz、DDR3	44T1575		
13	メモリー、2GB 1Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4953		
13	メモリー、4GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4957		
13	メモリー、8GB 2Rx8 UDIMM、1600 MHz、DDR3	00D4961		
14	マイクロプロセッサ、Core i3-2100 3.1GHz 2C 3MB キャッシュ			69Y5148
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270 3.4GHz 4C 8MB キャッシュ			69Y5149
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280 3.5GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6933
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220 3.1GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6945
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230 3.2GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6947
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1260L 2.4GHz 4C 8MB キャッシュ			81Y6949
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220L 2.2GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y6951
14	マイクロプロセッサ、Pentium G850 2.9GHz 2C 3MB キャッシュ			81Y7504
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1220v2 3.1GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8552
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1270v2 3.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8553
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1280v2 3.6GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8554
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1240v2 3.4GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8555
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1230v2 3.3GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8556
14	マイクロプロセッサ、Xeon E3-1265L v2 2.5GHz 4C 8MB キャッシュ			00D8557
14	マイクロプロセッサ、Celeron G440 1.6GHz 1C 1MB キャッシュ			94Y6303

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
14	マイクロプロセッサ、Core i3-2120 3.3GHz 2C 3MB キャッシュ			99Y1447
14	マイクロプロセッサ、Pentium G870 3.1GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8899
14	マイクロプロセッサ、Pentium G860T 2.6GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8900
14	マイクロプロセッサ、Pentium G640 2.8GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8901
14	マイクロプロセッサ、Pentium G640T 2.4GHz 2C 3MB キャッシュ			00D8902
14	マイクロプロセッサ、Pentium G550 2.6GHz 2C 2MB キャッシュ			00D8903
14	マイクロプロセッサ、Pentium G540T 2.1GHz 2C 2MB キャッシュ			00D8904
15	ヒートシンク		81Y7493	
	バッテリー、3.0 V	33F8354		
	ハード・ディスク・ケージ、2.5 型ドライブ	00D8852		
	ケーブル、SAS 信号 (2.5 型ホット・スワッ プ・ハード・ディスク)	00D2814		
	ケーブル、バックプレーン構成 (2.5 型ホッ ト・スワップ・ハード・ディスク)	00D8850		
	ケーブル、パワー・サプライ変換コネクタ	00D8861		
	ケーブル、光学式ディスク・ドライブ/テー プ・ドライブ	25R5635		
	ケーブル、USB 変換	39M2909		
	ケーブル、1m SAS	39R6530		
	ケーブル、3m SAS	39R6532		
	ケーブル、1m 内部 USB	44E8893		
	ケーブル、内部 USB	81Y3643		
	脚、シャーシ	13N2985		
	EMC シールド	49Y8455		
	フィラー、DVD-ROM ドライブ	13N2450		
	フィラー、PCI カード	81Y7472		
	フィラー、パワー・サプライ	00D8860		
	ケーブル・クリップおよび PCIe カード EMC シールド	00D8848		
	ハードウェア、付属品	39Y9773		
	ServeRAID-BR10il v2 SAS/SATA コントロー ラー	49Y4737		
	ServeRAID M5015 SAS/SATA コントローラ ー (バッテリーは含まれていません)	46C8927		

索引	説明	CRU の部 品番号 (Tier 1)	CRU の部 品番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ServeRAID M5025 SAS/SATA コントローラ	46C8929		
	ServeRAID M1015 SAS/SATA コントローラ	46C8931		
	ServeRAID M5014 SAS/SATA コントローラ (バッテリーは含まれていません)	46C8933		
	システム・サービス・ラベル	00D8856		
	シールド・キット	13N2997		
	下部カバー	39R9363		
	EIA ブラケット	39Y9758		
	ラック・シャーシ	39Y9760		
	ケーブル管理アーム	39Y9761		
	ラック用各種ハードウェア	00N7193		
	NetXtreme I Quad Port Adapter	90Y9355		
	NetXtreme I Dual Port Adapter	90Y9373		
	Emulex 16Gb 単一ポート・アダプター	81Y1658		
	Emulex 16Gb デュアル・ポート・アダプター	81Y1665		
	Brocade 16Gb 単一ポート・アダプター	81Y1671		
	Brocade 16Gb デュアル・ポート・アダプター	81Y1678		
	QLogic 10Gb デュアル・ポート CNA	00Y3274		
	6Gb Performance Optimized HBA	46C8937		
	キーロック、ランダム・キー	26K7364		
	キット、保持器具 (光ディスク・ドライブおよびディスク・ドライブ用)	39R9369		
	パワー・サプライ・ケージ、430 ワット	49Y8459		
	サイド/トップ・カバー	49Y8446		
	SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーン (2.5 型ドライブ・ケージ用)		94Y7751	
	Recovery Package M3 Management Node (ソフトウェア・プリロード付き)	00D7763		
	Internal USB 3 RDX carrier/dock	46C2346		
	Internal USB RDX carrier/dock	46C5380		
	6Gb SAS HBA	46C8935		
	SFP 光モジュール	46C9297		
	3U ブラケット・キット	94Y7628		
	各種ハードウェア	39Y9837		

構成部品

構成部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 構成部品は IBM 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 28. 構成部品、Type Type 2582

索引	説明	部品番号
1	ベゼル、タワー	94Y7729
	ベゼル、ラック	94Y7753
	フィラー、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ	44T2248
	フィラー、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ	69Y5364
	フィラー、3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスク・ベイ	69Y5368
	フィラー、5.25 型ドライブ・ベイ	94Y7732
6	フィラー、2.5 型ケージ・フィラー	94Y7748
7	フィラー、3.5 型ケージ・フィラー	94Y7749
	フィラー、ラック・キット	94Y7755
	フィラー、パワー・サプライ・ベイ	94Y7610
14	フィラー、ファン	00D4373
17	ServeRAID M5100 シリーズ・バッテリー・キット	81Y4491
19	エアー・バッフル	94Y7741
18	カバー、左サイド	94Y7736
	カバー、右サイド	94Y7737
	カバー、トップ	94Y7738
	脚キット、背面	13N2985
	脚キット、スタビライザー、前面	26K7345
	キーロック・アセンブリー、汎用	94Y7730
	キーロック・アセンブリー	94Y7731
29	リモート RAID バッテリー・トレイ	94Y7609

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

1. <http://www.ibm.com> にアクセスしてください。
2. 「Products」メニューから「Upgrades, accessories & parts」を選択します。
3. 「Obtain maintenance parts」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用する IBM 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの 部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130 39M5179	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda

電源コードの 部品番号	説明
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5076 39M5512	United States of America
39M5463	Taiwan
39M5087	Thailand
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240 39M5241	Brazil
39M5375 39M5378 39M5509	Canada, Germany, United States of America

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、161 ページの『第 5 章 部品リスト、IBM System x3100 M4 Type 2582』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、547 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の構造部品またはコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

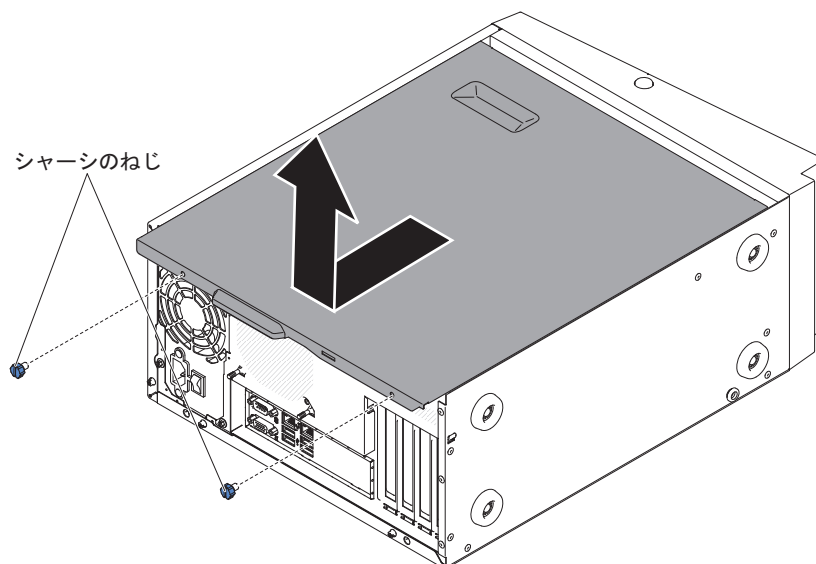
サイド・カバーの取り外し

サイド・カバーの取り外しを行うには、この情報を使用します。

重要: サイド・カバーを外した状態で 30 分より長くサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する場合があります。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

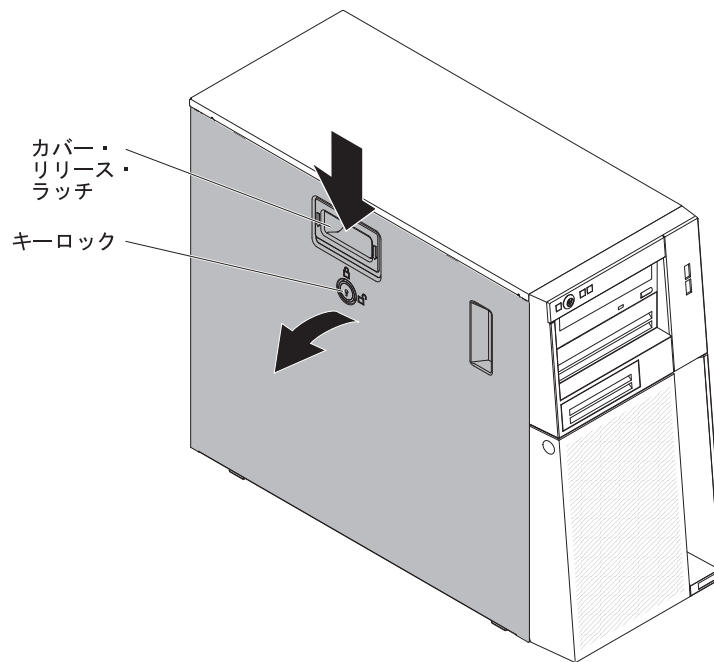
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サーバー背面の 2 つのシャーシねじを取り外します。
5. 後部のサイド・カバー・ハンドルを引き、同時に前部のサイド・カバー・ハンドルを押します。



6. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、次にカバー・リリース・ラッチを (図に示しているとおりに) 押し下げてカバーを取り外します。



4. サイド・カバーに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

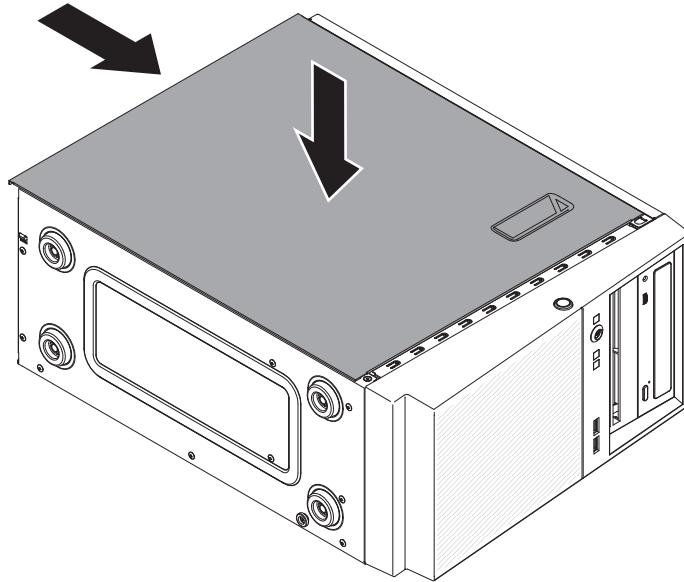
サイド・カバーの交換

サイド・カバーの交換を行うには、この情報を使用します。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サイド・カバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サイド・カバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ 4U サーバー・モデルの場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
2. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
3. サイド・カバーを押さえて、サイド・カバーの後部側から所定の位置にしっかりロックされるまで押し込みます。

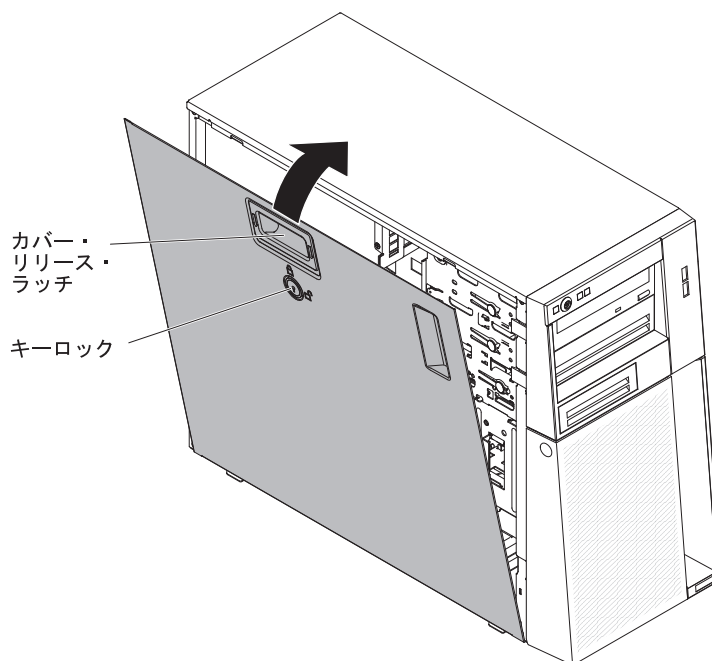


4. サイド・カバー後部の 2 つのシャーシねじを使用して、サイド・カバーを所定の位置に固定します。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

重要: カバー・ロックは、サイド・カバーを取り付ける前にアンロック (開) 位置にしておく必要があります。

1. すべてのケーブル、アダプター、および他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているか、およびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されているかどうかを確認します。
2. 上段および下段のベゼルを取り外した場合は、サイド・カバーを取り付け直す前に、これらのベゼルを再度取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』、および 85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
3. サイド・カバー底部端のへりをシャーシ底部にある水平の台に合わせ、カバーをシャーシまで回転させます。カバー・リリース・ラッチを下方へ押し、カバーが所定の場所に完全に納まるまでシャーシの中に押し込みます。



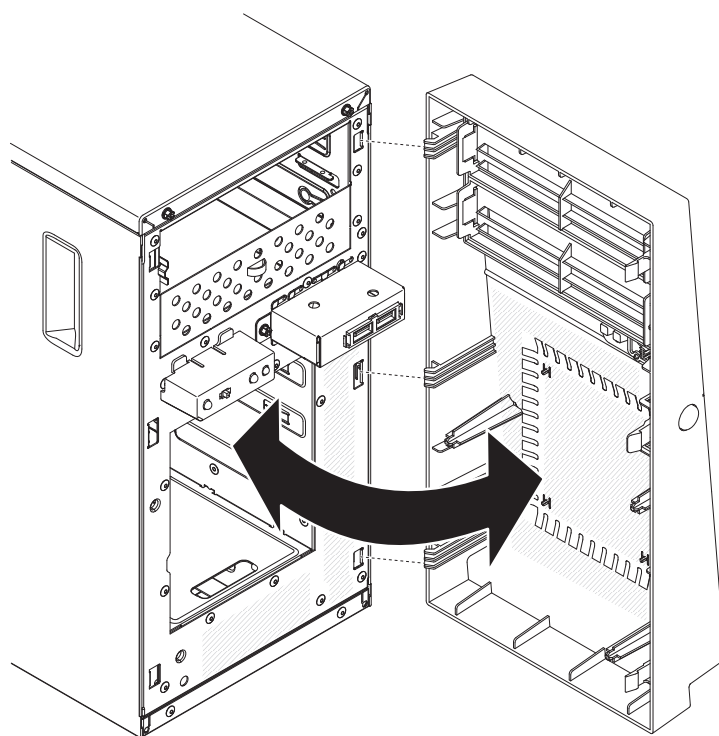
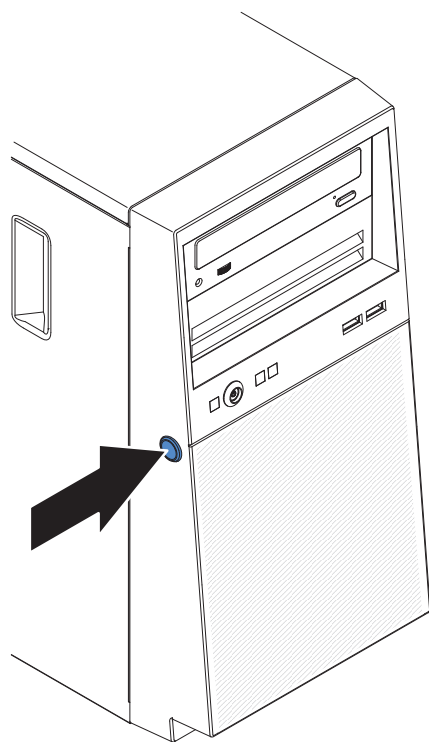
4. サイド・カバーをロックします。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ベゼルの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

ベイ 3 から 6 のドライブなどの、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの一部のデバイスについて作業を行う場合、デバイスにアクセスするために最初にベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ベゼルの左の端のボタンを押してベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



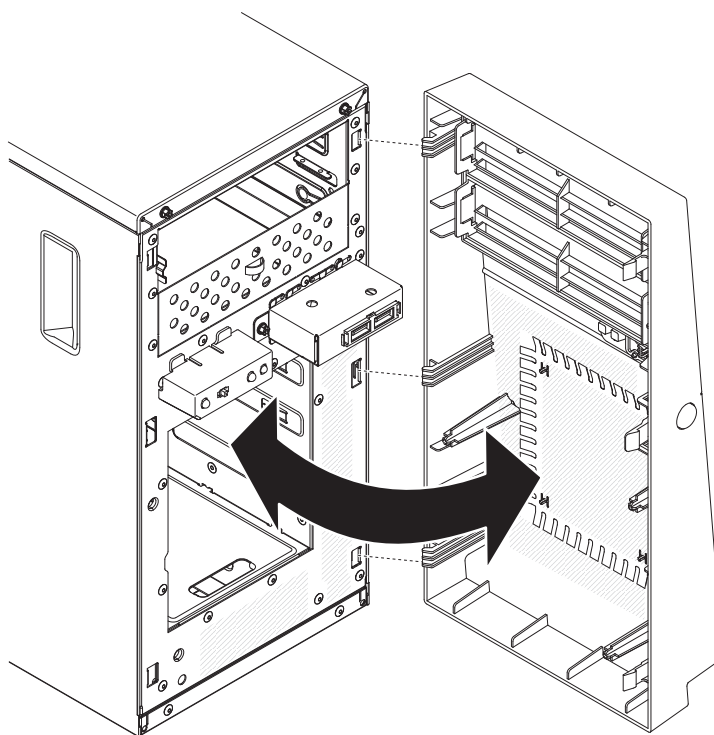
3. ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ベゼルの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. ベゼル上の 3 つのタブをサーバー前面の対応する穴に挿入します。
2. 所定の位置にしっかりロックされるまで、ベゼルのサーバー側に回転させます。



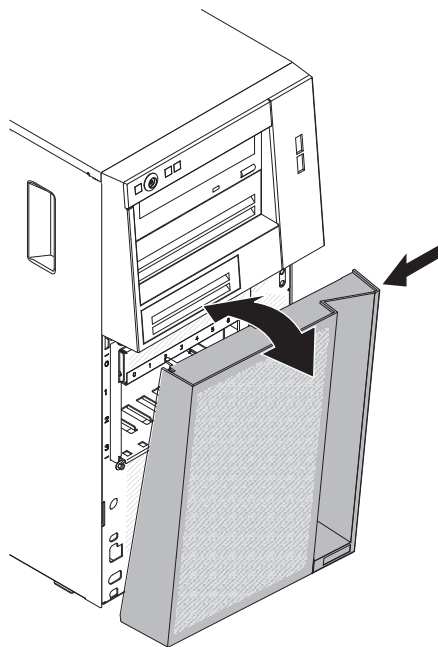
3. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

下段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のハード・ディスクにアクセスするには、最初に下段ベゼルを取り外す必要があります。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. 下段ベゼルの右側にある青いリリース・ボタンを押して、下段ベゼルを下方に回転させ、シャーシから外します。



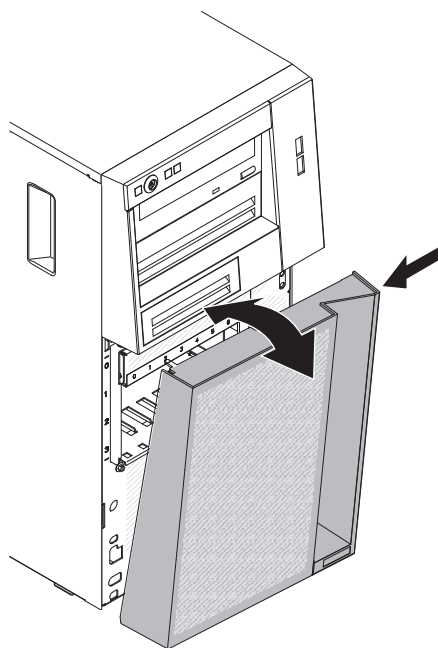
4. 下段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

下段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に下段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. 下段ベゼルの底部にある 2 つのタブを、シャーシ前面にある対応する穴に挿入します。



2. 下段ベゼルの上部をシャース方向に回転させます。次に下段ベゼルの右側にある青色のリリース・タブを押して、下段ベゼルが所定の位置にしっかりロックされるまで、完全に閉じます。
3. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

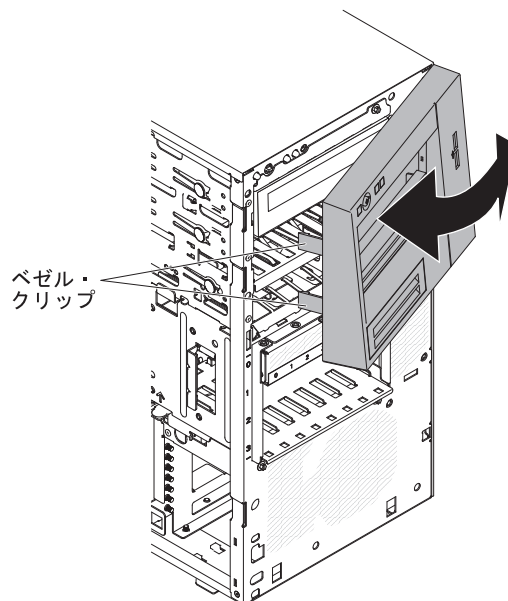
上段ベゼルの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の DVD ドライブまたはテープ・ドライブにアクセスするには、まず上段ベゼルを取り外して、デバイスにアクセスする必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の上段ベゼルを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 非ホット・スワップ・コンポーネントを交換する場合は、サーバーと接続装置すべての電源をオフにして、すべての電源コードと外部ケーブルをサーバーから切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルの左側にある 2 つのベゼル・クリップを慎重に引き出し、上段ベゼルをサーバーの右側に向けて回転させて、右側にある 2 つのタブをシャースから外します。



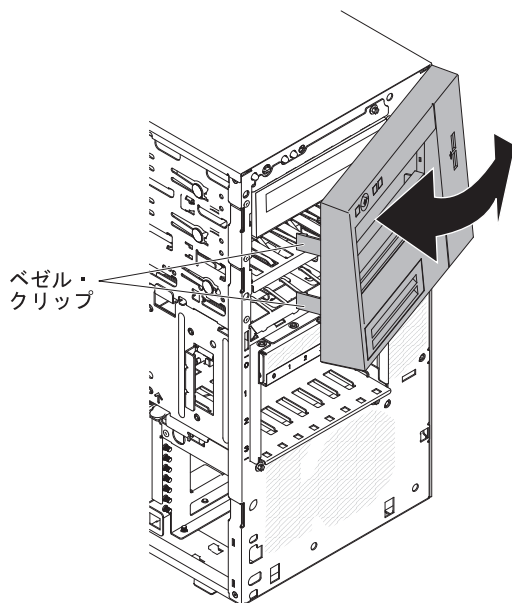
6. 上段ベゼルに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

上段ベゼルの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に上段ベゼルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. 上段ベゼルの右側にある 2 つのタブを、シャーシの右側にある対応する穴に挿入します。



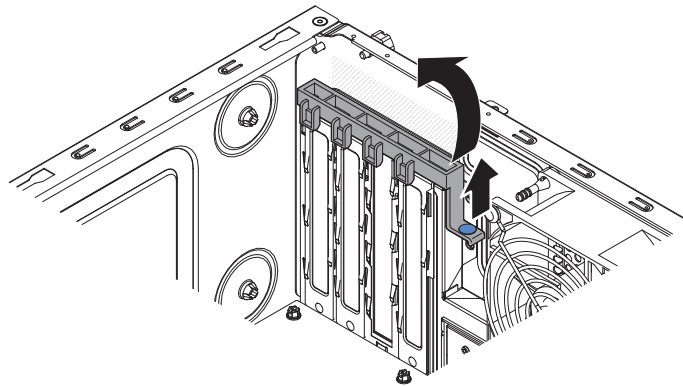
2. シャーシの左側の対応する凹みにベゼル・クリップの位置が合うまで、上段ベゼルをシャーシの左側方向に回転させて、カチッと音がするまではめ込みます。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ServeRAID アダプターの取り外し

ServeRAID アダプターを取り外すには、以下の情報を使用します。

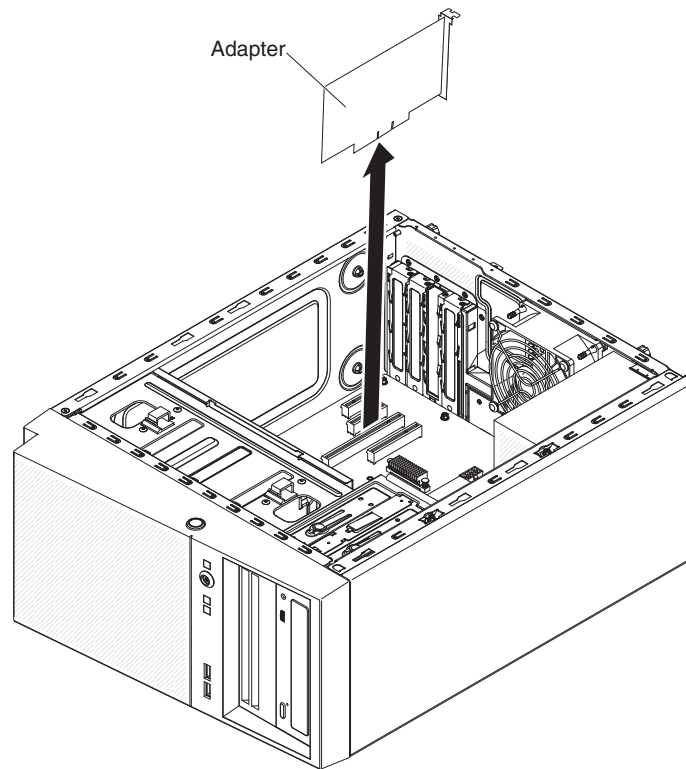
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの ServeRAID アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. ServeRAID アダプターからのケーブル、および ServeRAID アダプターへのアクセスの邪魔になるケーブルをすべて切り離します。
7. 後部アダプターの保持ブラケットの端を持ち上げて、シャーシの穴からタブを外します。



8. 後部アダプターの保持ブラケットを上回転させて、シャーシから取り外します。
9. アダプターの後部に拡張スロットのねじを取り外します (ある場合)。
10. アダプターの上端または上部の両隅を慎重に掴み、アダプターをサーバーから引き抜きます。空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピュータの電波障害の規制が守られ、かつコンピュータのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。

重要: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピューターの電波障害の規制が守られ、かつコンピューターのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。



11. アダプターを交換しない場合は、拡張スロットの開口部に拡張スロット・カバーを取り付けます。
12. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の ServeRAID アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

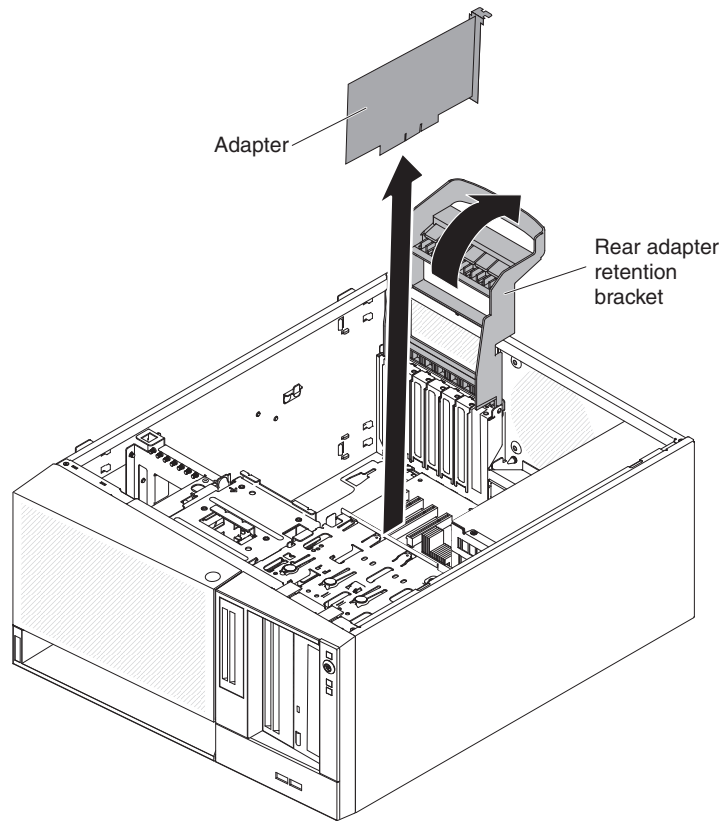
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。サーバーを強く倒さないようにしてください。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

5. アダプターからのケーブル、およびアダプターへのアクセスの邪魔になるケーブルをすべて切り離します。

6. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
7. アダプターの上端または上部の両隅を注意しながら手でつかみ、サーバーからアダプターを引き出します。空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピューターの電波障害の規制が守られ、かつコンピューターのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。

重要: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。これにより、コンピューターの電波障害の規制が守られ、かつコンピューターのコンポーネントへの適切な通気が保たれます。



8. アダプターを交換しない場合は、拡張スロットの開口部に拡張スロット・カバーを取り付けます。
9. アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ServeRAID アダプターの交換

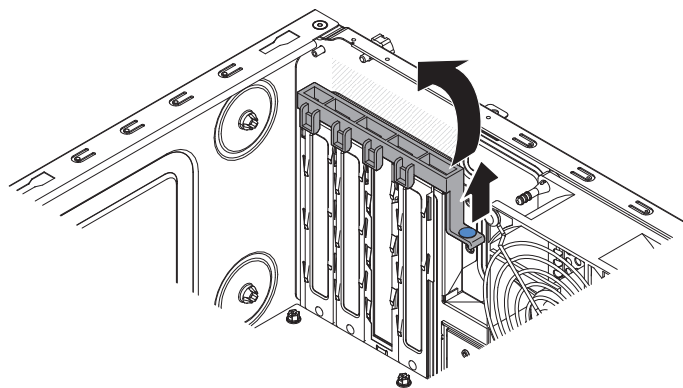
ServeRAID アダプターを交換するには、以下の情報を使用します。

このサーバーがサポートする ServeRAID アダプターのタイプ、および ServeRAID アダプターを取り付ける際に考慮すべきその他の情報については、「インストールおよびユーザーズ・ガイド」を参照してください。(拡張スロットおよびコネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)

注: Intel Ethernet クアッドポート・サーバー・アダプター I340-T4 (部品番号 49Y4240) を取り付ける場合、このアダプターは、スロット 1、スロット 2 またはスロット 3 にのみ取り付けことができます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに交換用 ServeRAID アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
6. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
8. エアー・ダクトを取り外します。
9. アダプターに付属の配線手順がある場合は、それに従ってください。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
10. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
11. 後部アダプターの保持ブラケットの端を持ち上げて、シャーシの穴からタブを外します。

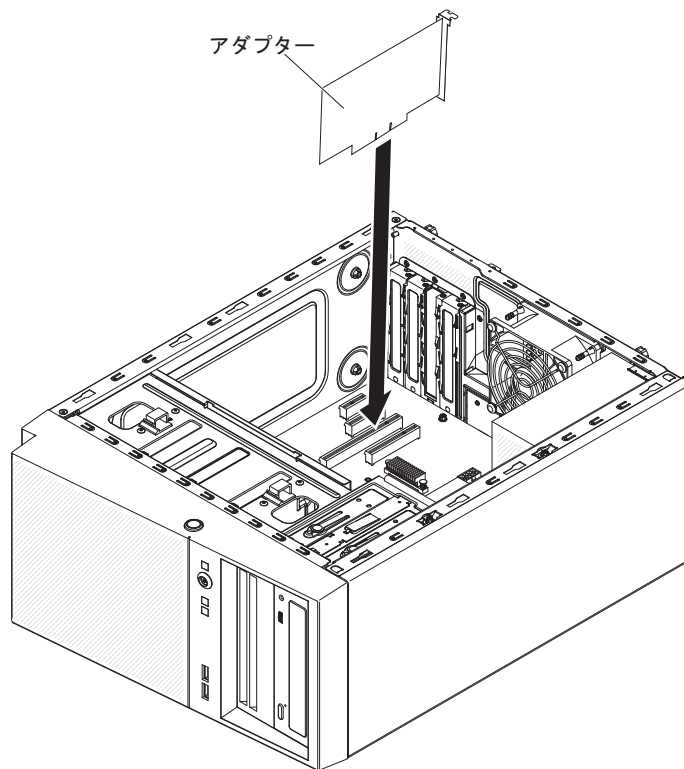


12. 後部アダプターの保持ブラケットを上回転させて、シャーシから取り外します。
13. ねじ (拡張スロット・カバーをシャーシに固定している) を取り外します。 拡張スロット・カバーとねじは、将来使用できるように安全な場所に保管してください。

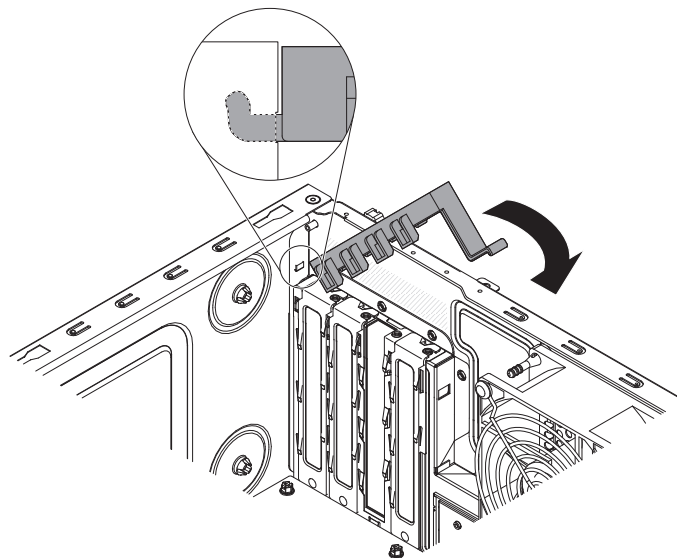
注: 空のスロットにはすべて拡張スロット・カバーを取り付けておく必要があります。 これによりサーバーの電子放射規格が維持され、サーバー・コンポーネントの適切な通気が確保されます。

14. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。 次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。 アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
15. アダプターの上端または上の両方の角を注意して持ち、拡張スロット・ガイドの位置に合わせます。 次にアダプターをしっかりと 拡張スロットに押し込みます。 サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。 アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。

重要: サーバーの電源をオンにする前に、アダプターが拡張スロットの中に正しく収まっていることを確認してください。 アダプターの取り付けが不完全な場合は、システム・ボードまたはアダプターが損傷を受けるおそれがあります。



16. ヒンジ・ポイントのいずれかにある穴とシャーシのヒンジ・ピンが位置合わせされるように後部アダプターの保持ブラケットを配置したら、ヒンジ・ピンをシャーシの穴に通します。



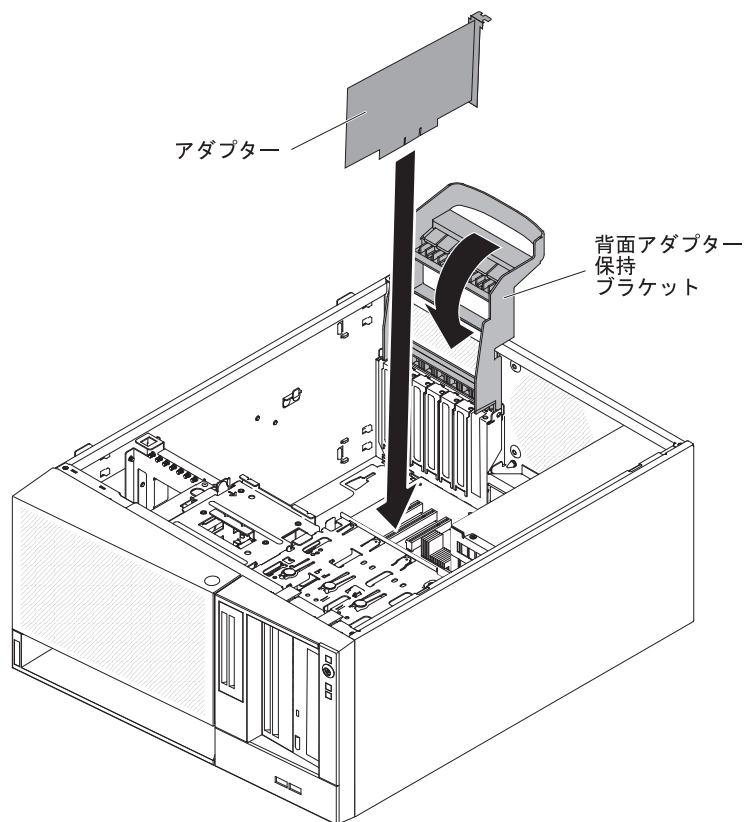
17. 後部アダプターの保持ブラケットを所定の位置に回転させ、反対側のヒンジ・ポイントにある穴がシャーシのヒンジ・ピンにはまるようにします。
18. 必要なケーブルをすべてアダプターに接続します。システム・ファンからの空気の流れを妨害しないようにケーブルを配線します。
19. エアー・ダクトを取り付けます。

20. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
21. サーバーを元どおり垂直に立てます。
22. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
23. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

注: Brocade アダプター上で Windows 2011 SBS をサポートするには、3.0.0.0 以降のバージョンのドライバー・パッケージを使用する必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に交換用 ServeRAID アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 要件、制限事項、あるいは配線手順については、アダプターに付属の手順を確認してください。アダプターを取り付ける前にケーブルを配線すると作業が容易になる場合があります。
3. アダプター付属の配線手順がある場合は、それに従ってジャンパーまたはスイッチを設定します。
4. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターを帯電防止パッケージから取り出します。アダプター上のコンポーネントや金メッキしてあるコネクタには、触れないでください。
5. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
6. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
8. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
9. アダプターの上端または上の隅を注意して持ち、帯電防止パッケージから拡張スロットにアダプターを直接移します。アダプターを拡張スロット・ガイドの位置に合わせ、拡張スロットにアダプターをしっかりと押し込みます。
10. 必要なケーブルをアダプターに接続します。ファンからの空気の流れを妨げないようにケーブルを配線します。
11. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。

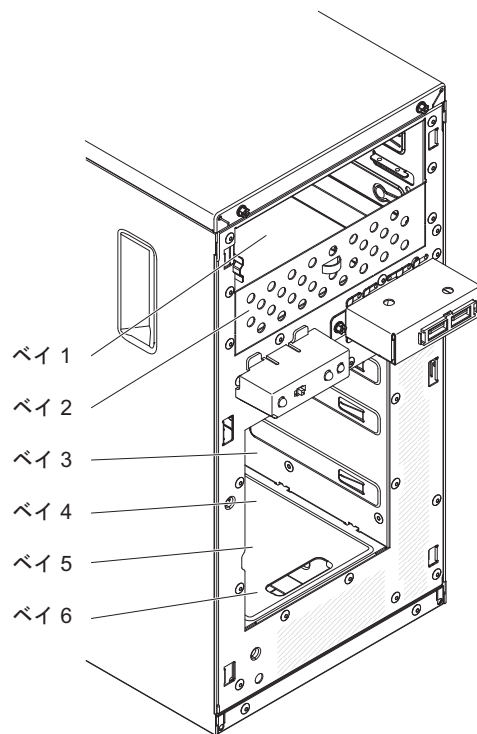


12. サーバーを元どおり垂直に立てます。
13. サイド・カバーを取り付けてロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

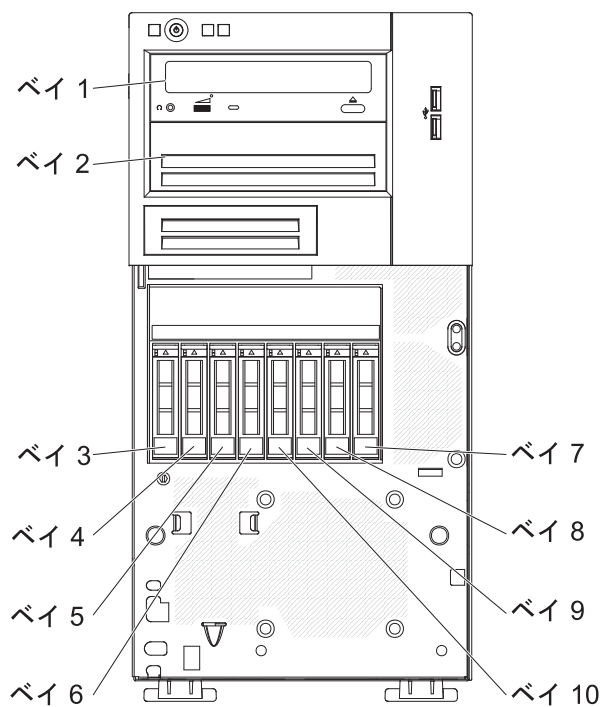
内蔵ドライブの取り外しと取り付け

内蔵ドライブの取り外しと取り付けを行うには、この情報を使用します。

次の図は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバーのモデルのドライブ・ベイの位置を示しています。



次の図は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のドライブ・ベイの位置を示しています。



- すべてのケーブル、およびドライブに付属する資料で指定されている他の装置があることを確認します。
- ドライブに付属の説明を参照して、ドライブにジャンパーまたはスイッチの設定が必要かどうかを確認します。 SATA デバイスを取り付けようとしている場合、必ず、そのデバイス用の SATA ID を設定します。

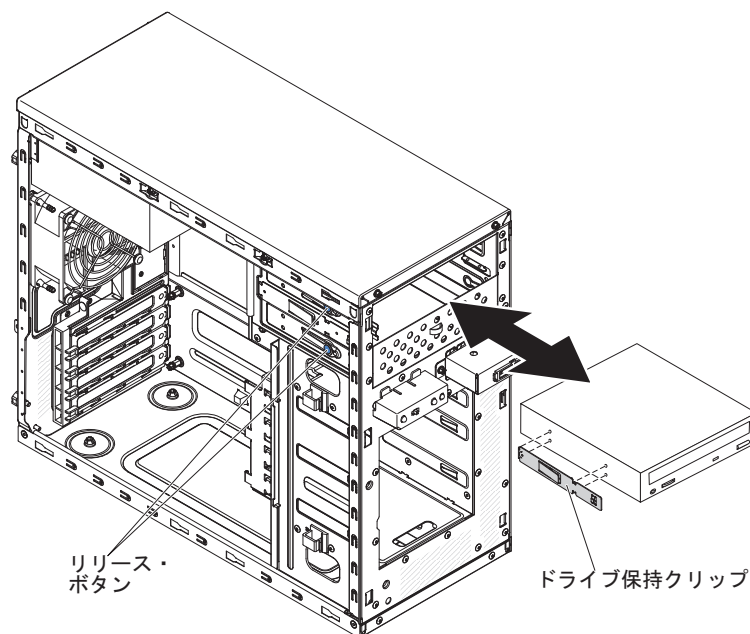
- オプションの外付けテープ・ドライブ、DVD-ROM ドライブは、取り外し可能メディア・ドライブの例です。取り外し可能メディア・ドライブは、ベイ 1 および 2 にのみ取り付けすることができます。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 安全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI スロットをカバーするか、使用することによって保護されます。ドライブまたは PCI アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合のために、ベイあるいは PCI アダプター・スロット・カバーから外した、EMC シールドおよびフィルター・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプションの完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

DVD ドライブの取り外し

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの DVD ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。 ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

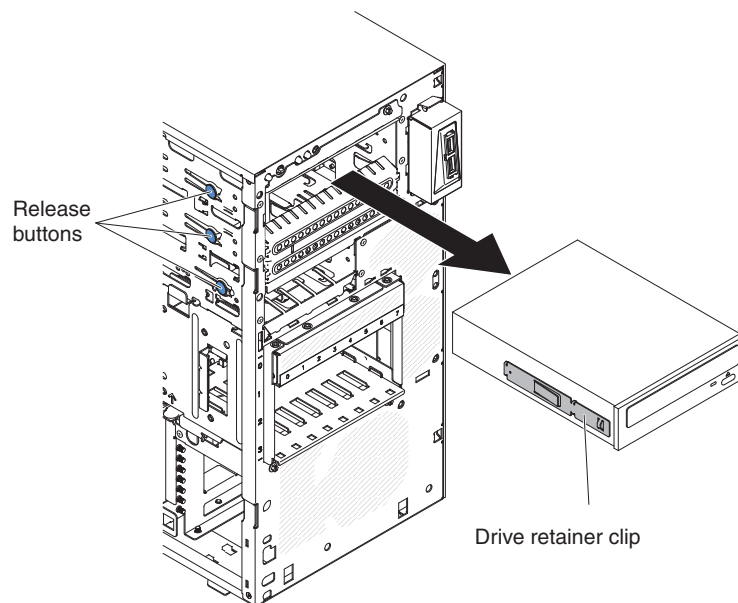
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから電源ケーブルを取り外してから、信号ケーブルを取り外します。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。



9. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
10. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の DVD ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから、電源ケーブルと信号ケーブルを取り外します。
7. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。



8. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
9. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

DVD ドライブの交換

DVD ドライブを交換するには、この情報を使用します。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- すべてのケーブル、および新しいドライブに付属する資料で指定されている他の装置が揃っていることを確認します。
- 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
- 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。

次のことに注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

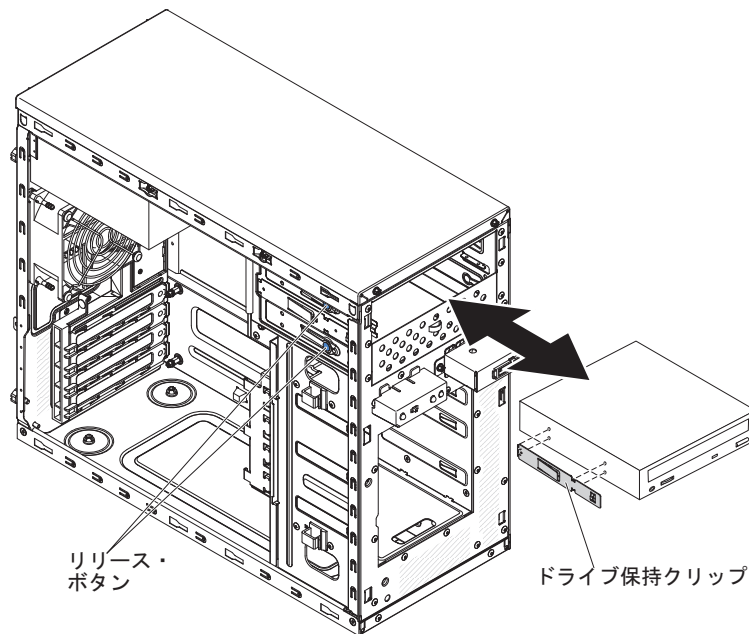
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

6. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. ベイ 1 またはベイ 2 のドライブ・ケージの横からドライブ保持クリップを取り外します。ドライブ保持クリップを前方へスライドしてドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面のねじ穴にはめ込みます。



10. ドライブをベイ内に押し込みます。
11. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
12. 電源ケーブル (電源コネクタ P9) および信号ケーブルをドライブに接続します。

注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

13. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
14. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
15. サーバーを元どおり垂直に立てます。
16. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。

注: 取り付け済みドライブをブロックしているフィラーがあれば、それを取り外します。

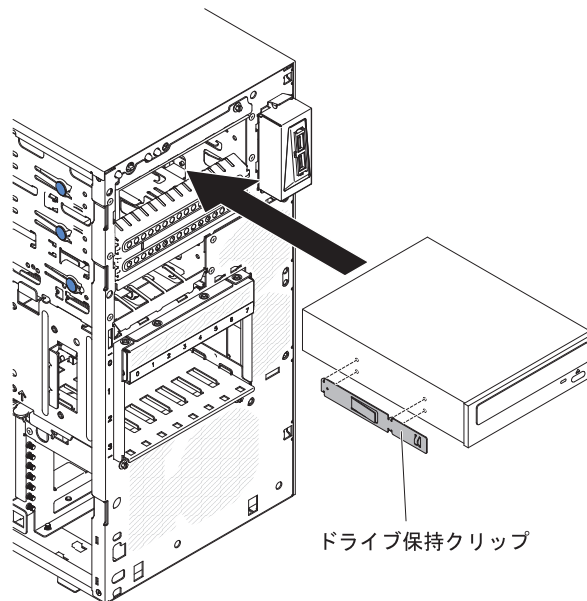
17. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に DVD ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. 新規の DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、DVD ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
2. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

3. 前のドライブから取り外したドライブの保持クリップを新しいドライブの側面に取り付けます。
4. ドライブをベイ内に押し込みます。



5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをドライブに接続します。

注: 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。

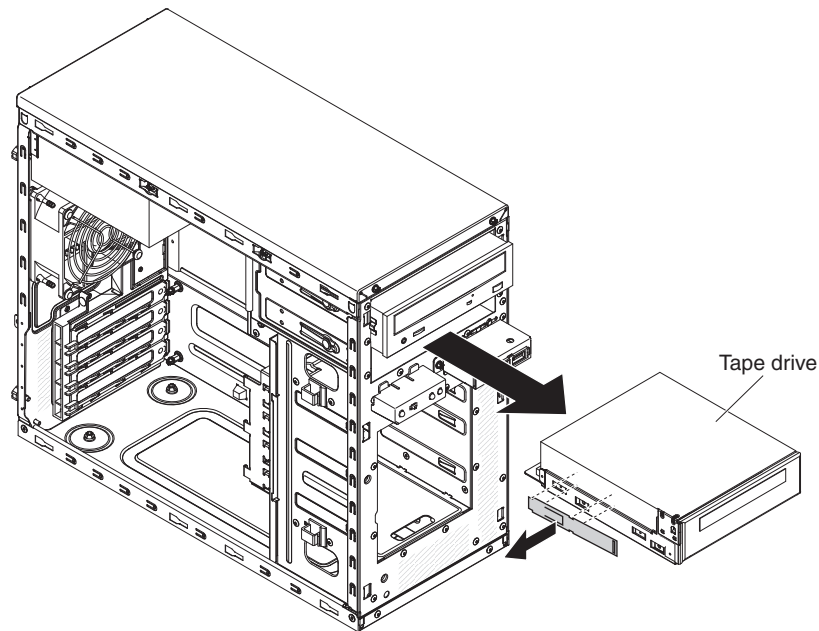
6. 上段ベゼルを取り付けます (85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
7. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
8. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

テープ・ドライブの取り外し

テープ・ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの テープ・ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。 ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

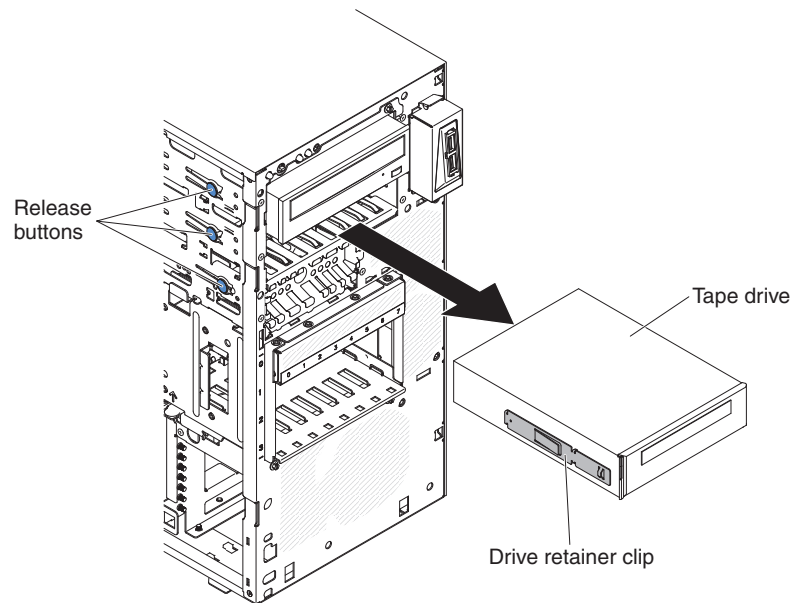
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから電源ケーブルを取り外してから、信号ケーブルを取り外します。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。



9. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。クリップは、交換用ドライブを取り付けるときに使用するために保管しておきます。
10. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の テープ・ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 取り外すドライブから、電源ケーブルと信号ケーブルを取り外します。
7. ベイの側面にある青色のリリース・ボタンを押したまま、ドライブを解放します。その後、サーバーの前面からドライブを引き出します。
8. ドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外します。交換用ドライブの取り付け時に使用するために、このクリップを保管しておきます。



9. ドライブに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

テープ・ドライブの交換

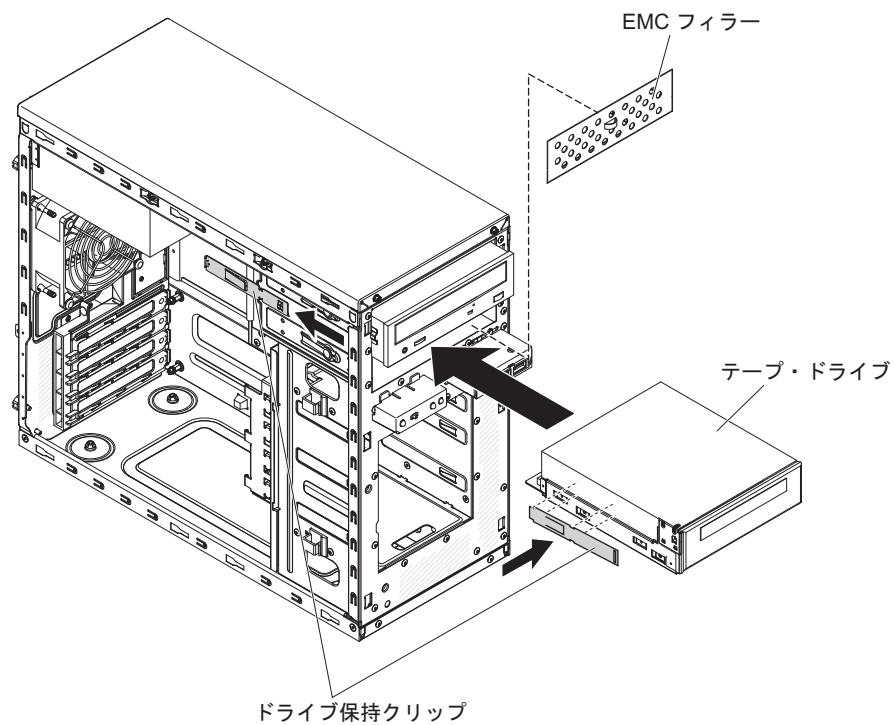
テープ・ドライブを交換するには、この情報を使用します。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

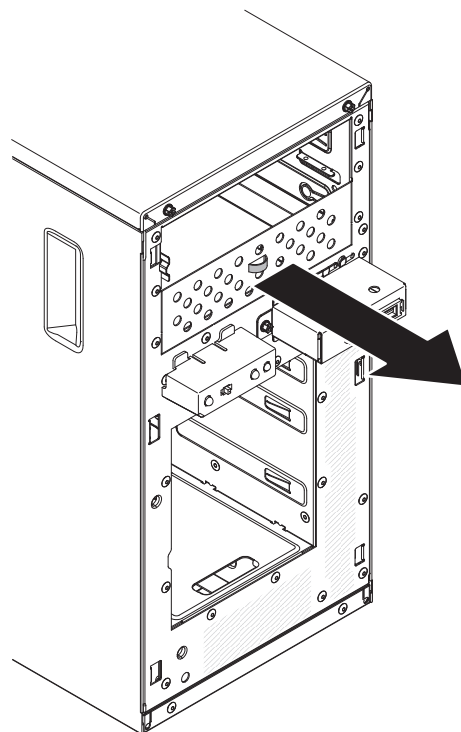
- 新規ドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブルおよび他の装置が準備されている。
- 新規ドライブに付属の手順を確認し、ドライブのスイッチあるいはジャンパーを設定する必要があるかを判別している。
- 古いドライブの側面からドライブ保持クリップを取り外し、新規ドライブの取り付けに使用できるようにしている。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・ダクトを取り外します。
7. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
8. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
9. サーバーを元どおり垂直に立てます。
10. ベイ 1 またはベイ 2 のドライブ・ケージの横からドライブ保持クリップを取り外します。ドライブ保持クリップを前方へスライドしてドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブ側面のねじ穴にはめ込みます。



11. EMC フィラーを取り外します。



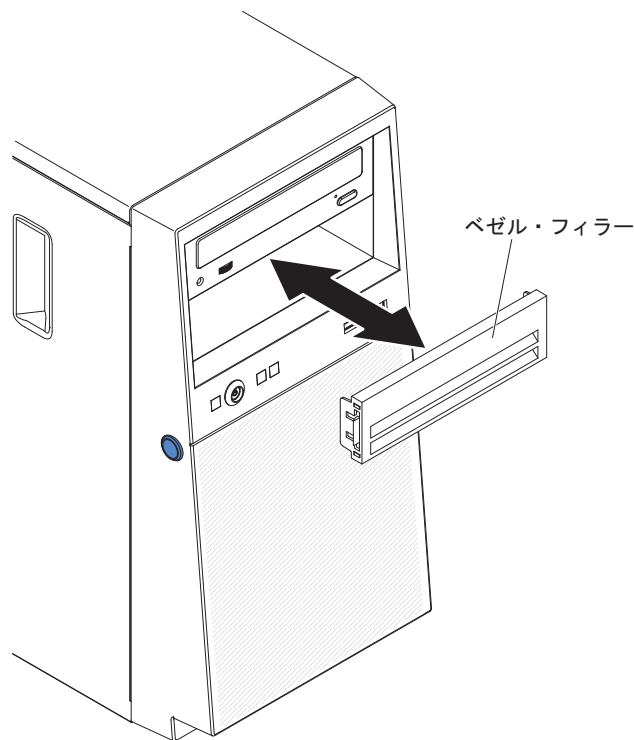
注: とがった箇所には注意してください。

12. ドライブをベイ内に押し込みます。

注: テープ・ドライブは、ベイ 1 または 2 にのみ取り付け可能です。

13. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
- 重要:** サーバーを強く倒さないようにしてください。
14. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクタに接続されていることを確認します。
15. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
16. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
17. エアー・ダクトを取り付けます。
18. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
19. サーバーを元どおり垂直に立てます。
20. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。

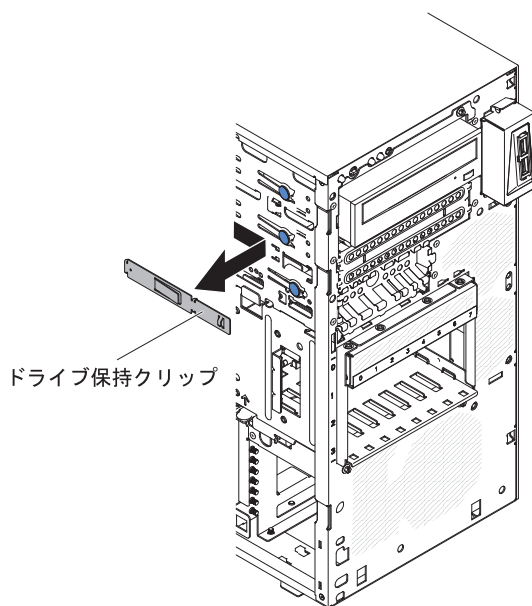
注: 取り付け済みドライブをブロックしているベゼル・フィラーがあれば、それを取り外します。



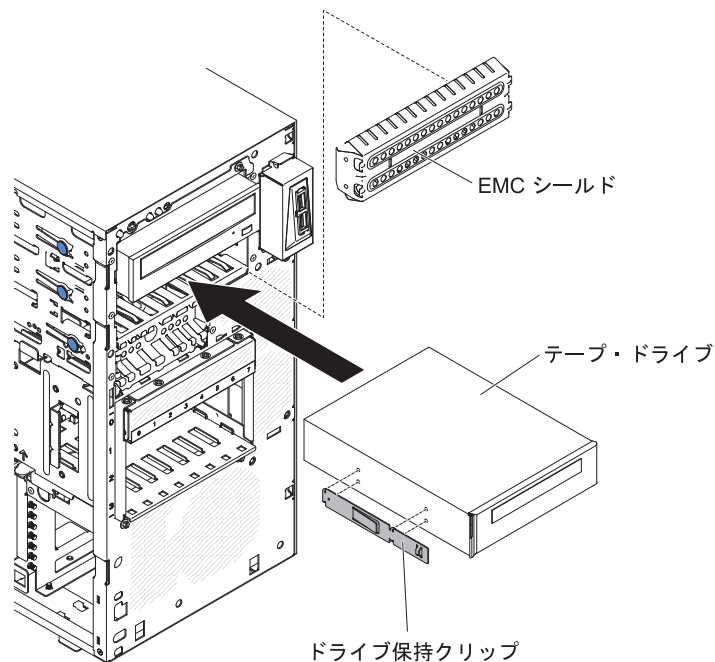
21. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
7. ドライブに付属の資料に従って、ドライブ上のジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. ドライブ保持クリップを前方にスライドして、ベイ 2 のドライブ・ケージから取り外します。次に、ドライブ保持クリップをドライブの側面のねじ穴にはめ込みます。



9. EMC フィラーを取り外します。
10. ドライブをベイ内に押し込みます。



11. 該当する信号ケーブルの一方の端をドライブの背面に接続し、このケーブルの他方の端がシステム・ボード上の該当するコネクタに接続されていることを確認します。
12. 信号ケーブルを配線します。その際、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサとデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を通る空気の流れを妨げないようにします。
13. 電源ケーブルをドライブの背面に接続します。このコネクタは一方向にしか差し込めません。
14. 上段ベゼルを取り付けます (85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
15. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
16. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
17. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

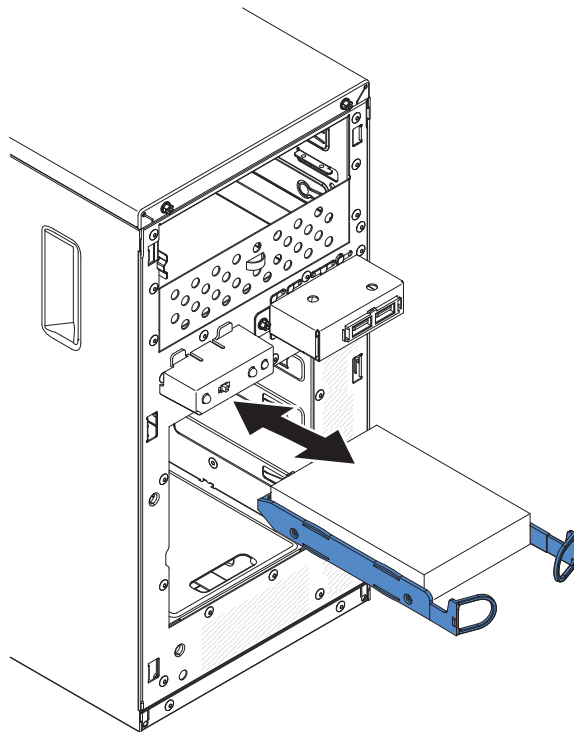
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 取り外すドライブ・アセンブリの青色の丸いループを互いに引き寄せ、アセンブリをベイから引き出します。



5. ドライブ・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、サーバーは最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。ハード・ディスクはサーバーの前面からアクセス可能です。シンプル・スワップ・ドライブの取り外しまたは取り付けを行う場合は、事前にサーバーの電源をすべて切断する必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

上部のベイから開始して下部のベイに向かって (ベイ 3、4、5 の後に 6) ドライブを取り付けます。次の表は、ハード・ディスクの ID をリストしています。

表 29. シンプル・スワップ・ドライブの ID

ドライブ・ベイ	HDD ID
3	0
4	1
5	2
6	3

- シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクは、システム・ボード上の SATA 0 から SATA 3 コネクタに以下のように接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 1 は、システム・ボードの SATA 1 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 2 は、システム・ボードの SATA 2 コネクタに接続されます。
 - システム・ボード終端のケーブル・コネクタ 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクタに接続されます。
- - ハード・ディスク 0 は、システム・ボードの SATA 0 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 1 は、システム・ボードの SATA 2 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 2 は、システム・ボードの SATA 1 コネクタに接続されます。
 - ハード・ディスク 3 は、システム・ボードの SATA 3 コネクタに接続されます。

注: RAID モードの場合:

1. uEFI セットアップ・メニューでは:
 - ドライブ 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
 - ドライブ 1 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
 - ドライブ 2 は、ハード・ディスク 1 を意味します。

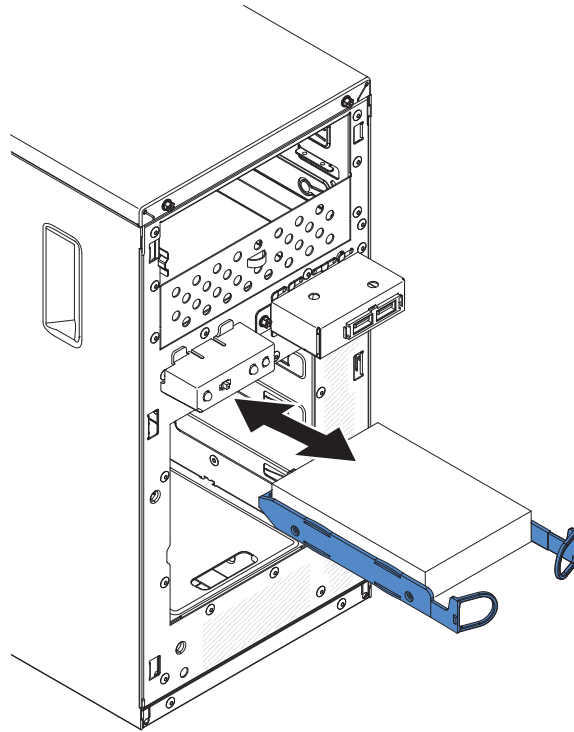
- ドライブ 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。
2. MegaRAID Storage Manager ユーティリティでは:
- スロット 0 は、ハード・ディスク 0 を意味します。
 - スロット 1 は、ハード・ディスク 2 を意味します。
 - スロット 2 は、ハード・ディスク 1 を意味します。
 - スロット 3 は、ハード・ディスク 3 を意味します。

重要: シンプル・スワップ ハード・ディスクはホット・スワップできません。 シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外しまたは取り付けの前に、サーバーの電源をすべて切ってください。

注: サーバーに ServeRAID アダプターが取り付けられている場合は、SATA 信号ケーブルの他方の端を ServeRAID アダプターに接続してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての外部ケーブルと電源コードを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
5. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます (最初にドライブのコネクターの端を合わせます)。
6. ドライブ・アセンブリーの丸い青色のループを互いに引き寄せてから、ドライブ・アセンブリーを止まるまでドライブ・ベイに静かにスライドさせて挿入し、ループを放します。



注: ドライブ・アセンブリーが完全に固定されるまで、ドライブ・アセンブリーのループを放さないでください。

7. 他に取り付けるか取り外すドライブがある場合は、この時点でそれを行います。
8. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

表 30. 3TB HDD OS サポート・リスト

OS	サポート制限	サポート状況
Windows 2008R2 SP1 64 ビット (UEFI)		サポート
Windows 2008R2 SP1 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
Windows 2008 SP2 64 ビット (UEFI)		サポート
Windows 2008 SP2 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
Windows 2008 SP2 32 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
RHEL 6.1 64 ビット (UEFI)		サポート
RHEL 6.1 64 ビット (レガシー)		サポート
RHEL 6.1 32 ビット (レガシー)		サポート

表 30. 3TB HDD OS サポート・リスト (続き)

OS	サポート制限	サポート状況
RHEL 5.6 64 ビット (レガシー)、RHEL 5.6 32 ビット (レガシー)	サポートなし、パーティション不可	サポートなし
RHEL 5.6 64 ビット (レガシー)、RHEL 5.6 32 ビット (レガシー)	サポートなし、パーティション不可	サポートなし
SLES11 SP1 64 ビット (UEFI)		サポート
SLES11 SP1 64 ビット (レガシー)		サポート
SLES11 SP1 32 ビット (レガシー)		サポート
SLES10 SP4 64 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート
SLES10 SP4 32 ビット (レガシー)	ディスク区画が 2 TB より小さい場合はサポート	制限付きでサポート

注: OS 4690 では 3TB ハード・ディスクはサポートされません。

表 31. 3TB HDD での ServeRAID サポートの制限

ServeRAID アダプター	サポート制限	コメント
ServeRAID M5014	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID M1015	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID-BR10i1	仮想ディスクのみ最大 8TB をサポート。	LSI チップの制限。制限付きでサポート
ServeRAID H1110	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート
ServeRAID C100	3 TB HDD をサポート。仮想ディスクは最大 12 TB をサポート	サポート

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

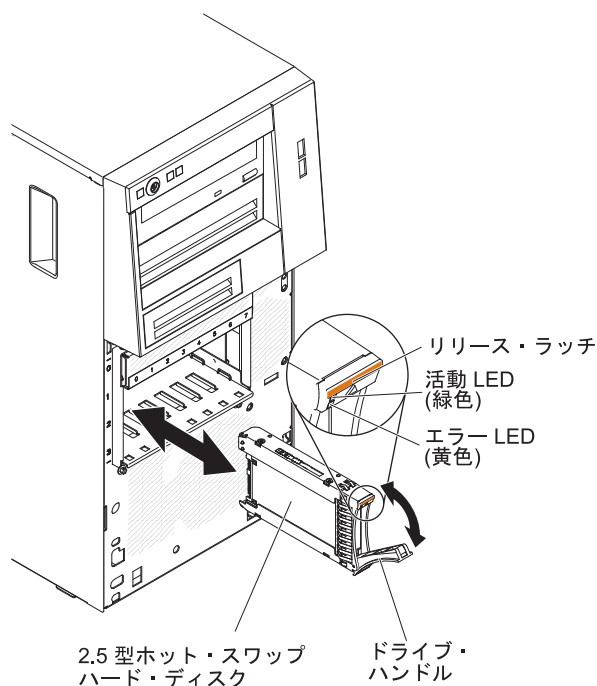
重要: システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

注: ホット・スワップ・ドライブ・ベイからホット・スワップ・ドライブを取り外すために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

2. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
3. 取り外すドライブ・アセンブリのドライブ・トレイ・ハンドルを回転させて、オープン位置にします。



4. 取り外すドライブ・アセンブリのハンドルを持って、アセンブリをベイから引き出します。
5. ドライブ・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

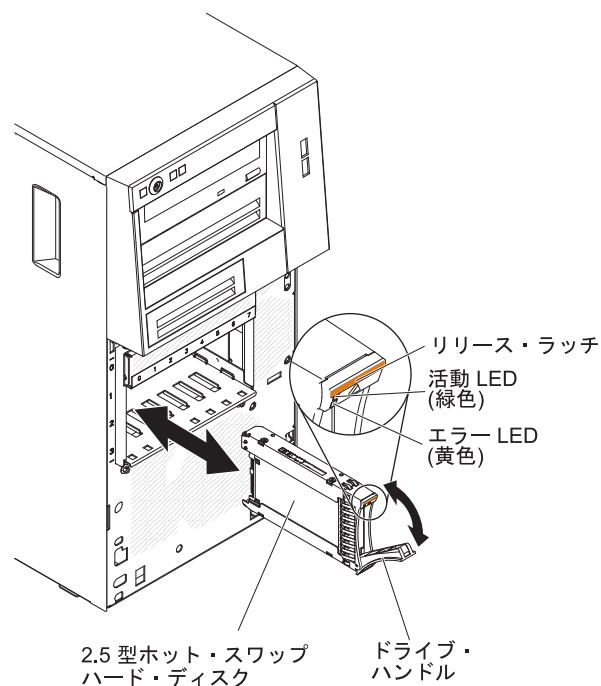
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にのみ適用されます。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- ホット・スワップ・ドライブは、すべて SAS ハード・ディスク、またはすべて SATA ハード・ディスクのどちらかにする必要があります。2 つのタイプを組み合わせることはできません。
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、ドライブ・ベイに 1 台以上のハード・ディスクを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。
- 追加情報については「インストールおよびユーザズ・ガイド」を参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。



1. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
2. ドライブ・トレイ・ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。
3. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせます。その後、ドライブが止まるまで、ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイ内に静かにスライドさせます。

4. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
5. ハード・ディスク状況インディケータをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。(ドライブが認識されるように、サーバーを再始動する必要がある場合があります。) ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があることを示しています。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合は、そのドライブにアクセス中であることを示しています。

注: ServeRAID コントローラーを使用して RAID 操作するように、サーバーが構成されている場合は、ハード・ディスクを交換した後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作についての追加情報、および ServeRAID マネージャーを使用するための詳細な手順については、ServeRAID 資料を参照してください。

6. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
7. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

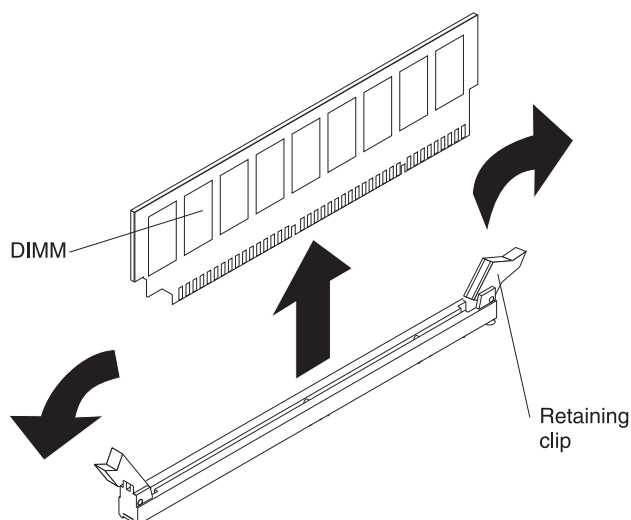
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。

6. 交換する DIMM を含む DIMM コネクタを見付けます (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。

重要: DIMM 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷したりしないように、クリップの開閉は静かに行ってください。

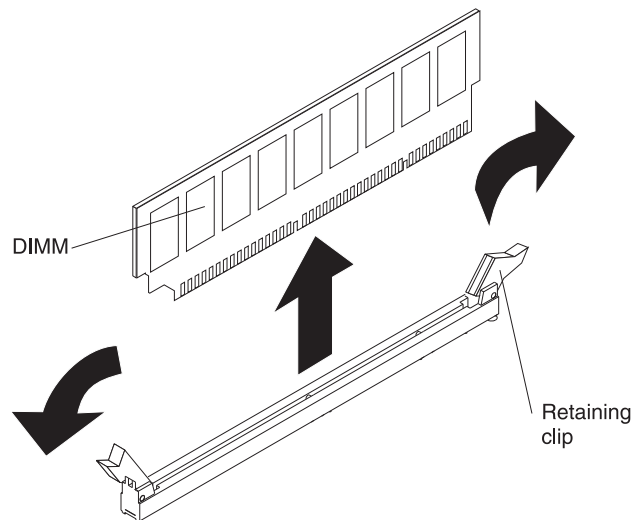
7. DIMM コネクタ両端にある保持クリップを慎重に開き、DIMM を取り外します。



8. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、以下の手順を実行します。 非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 交換する DIMM を含む DIMM コネクタを見付けます (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
重要: DIMM 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷したりしないように、クリップの開閉は静かに行ってください。
6. DIMM コネクタ両端にある保持クリップを慎重に開き、DIMM を取り外します。



7. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの交換

メモリー・モジュールを交換するには、以下の情報を使用します。

以下の注意書きは、このサーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプ、および DIMM を取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。

ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。

- このサーバーは、業界標準の 1066 MHz、1333 MHz、および 1600 MHz、PC3-12800 (single-rank または dual-rank) DDR3、registered または unbuffered SDRAM 搭載でエラー修正コード (ECC) 付きの DIMM をサポートしています。このサーバーがサポートするオプションのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> にアクセスしてお客様の国を選択し、このサーバーのオプションのリストに進みます。
- サーバーがサポートするメモリーの最大量は、サーバーに取り付けるメモリーのタイプに依存します。
- 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付け済みメモリーの合計量と構成済みのメモリー量を表示するには、Setup ユーティリティを実行してください。追加情報については、Setup ユーティリティの使用を参照してください。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。
- DIMM のペアを DIMM コネクタ 1 および 3 に取り付けの場合は、DIMM コネクタ 1 および 3 に取り付け DIMM のサイズと速度が相互に一致している必要があります。ただし、DIMM コネクタ 2 と 4 に取り付け DIMM とサイズおよび速度が同じである必要はありません。

- 互換性があれば、さまざまなメーカーの DIMM を同じペアに使用することができます。
- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムにより表示されます。サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用リスト・ストラップを着用するか、その他の接地システムを利用してください。

- DDR3 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

ggg eRxff-PC3-wwwwwm-aa-bb-cc

ここで、

- *ggg* は、DIMM の合計容量 (例えば、1GB、2GB、または 4GB) です。
- *e* はランク数です。
 - 1 = single-rank
 - 2 = dual-rank
 - 4 = quad-rank
- *ff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - 4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - 8 = x8 編成
 - 16 = x16 編成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.8 GBps (PC3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを調べてください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2)であることを示しています。

Unbuffered DIMM (UDIMM)

以下の注では、UDIMM の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- メモリー・チャンネルは、取り付け済みの DIMM 間に共通する最低周波数で作動します。
- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、1 GB、2 GB、4 GB、および 8 GB (使用可能な場合) の DIMM です。
- このサーバーは、チャンネル当たり最大 2 つの single-rank または dual-rank UDIMM をサポートします。

次の表は、サポートされている UDIMM 装着構成のリストです。

表 32. チャンネル当たりの UDIMM 装着構成

チャンネルごとの DIMM コネクタ	各チャンネルに取り付けられた DIMM	DIMM のタイプ	DIMM の速度	DIMM ごとのランク (すべての組み合わせ)
2	1	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank
2	2	Unbuffered DDR3 ECC	1066、1333、1600	single-rank、dual-rank

次の表は、ランク付き UDIMM を使用したときの最大 DIMM 装着構成のリストです。

表 33. ランク付き UDIMM を使用した最大メモリー装着構成 (モデルにより異なる)

UDIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
4	single-rank UDIMM	1 GB	4 GB
4	dual-rank UDIMM	2 GB	8 GB
4	dual-rank UDIMM	4 GB	16 GB
4	dual-rank UDIMM	8 GB (使用可能な場合)	32 GB

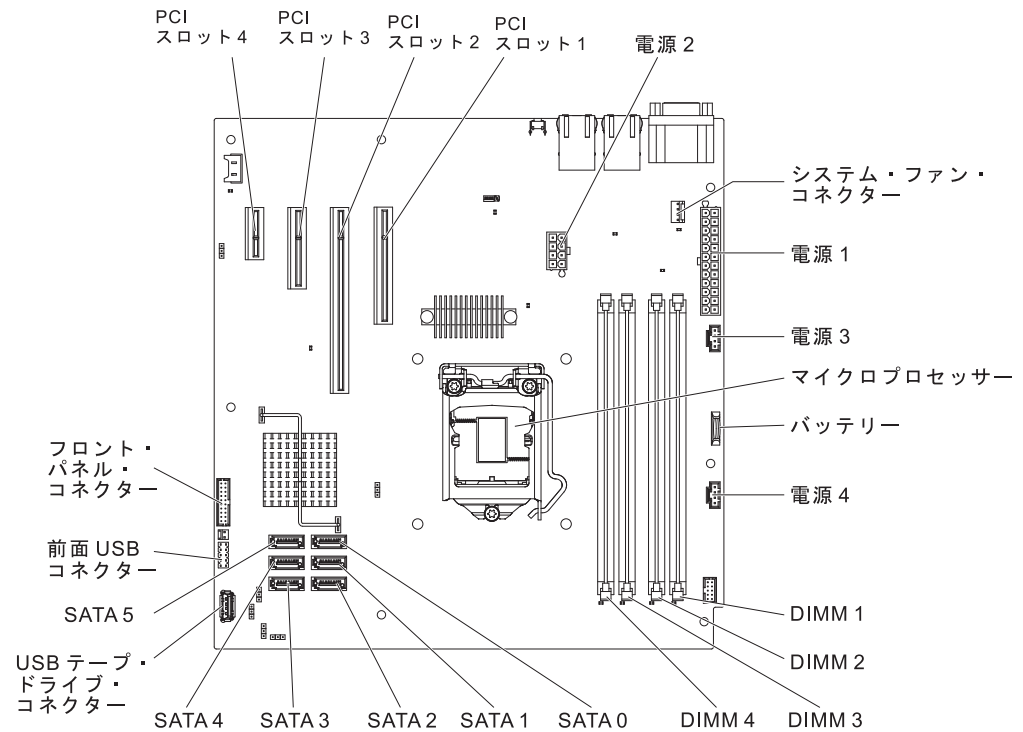
次の表は、システム・パフォーマンスを最適化するための UDIMM メモリーの装着構成の規則を示しています。

表 34. UDIMM 装着構成の規則

DIMM コネクタ 1	DIMM コネクタ 2	DIMM コネクタ 3	DIMM コネクタ 4
装着済み	空の状態	空の状態	空の状態
装着済み	空の状態	装着済み	空の状態
装着済み	装着済み	装着済み	装着済み

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

注: 本書の図は、ご使用のモデルと多少異なる場合があります。



重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。このような問題が起きないように、電源をオンにしたサーバー内部の作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルに DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

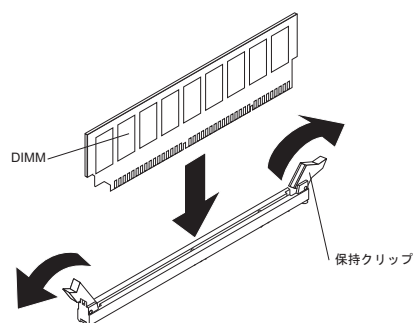
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. システム・ボードの DIMM コネクタを見付けます。DIMM を取り付けるコネクタを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 35. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1, 3
2 番目の DIMM ペア	2, 4

7. 保持クリップを開き、必要に応じて既存の DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



8. DIMM が入っている帯電防止パッケージをサーバー外側の塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
9. DIMM の切り欠きがコネクタと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
10. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。
11. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。

注: DIMM と保持クリップとの間にすき間があるときは、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

12. エアー・ダクトを取り付けます。
13. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

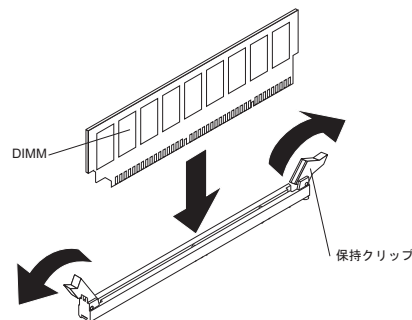
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードとその他のすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. システム・ボードの DIMM コネクタを見付けます。DIMM を取り付けるコネクタを決定します。次の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

表 36. DIMM の取り付け順序

DIMM の数	取り付け順序 (コネクタ)
最初の DIMM ペア	1、3
2 番目の DIMM ペア	2、4

6. 保持クリップを開き、必要な場合は既存の DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



7. DIMM が入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規の DIMM をパッケージから取り外します。
8. DIMM の切り欠きがコネクタと合うように DIMM を正しく位置合わせします。
9. DIMM の端を、DIMM コネクタの両端にあるスロットの位置に合わせて、DIMM をコネクタに挿入します。DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップはカチッとロック位置にはまります。DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく取り付けられていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のご家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

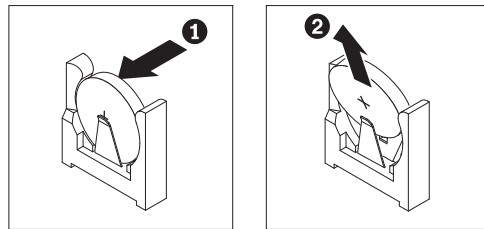
- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのバッテリーを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

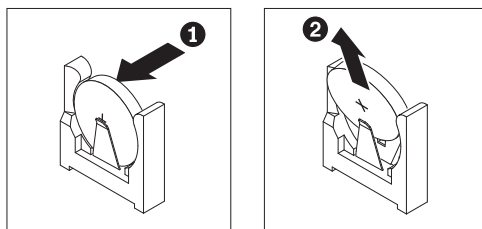
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。

2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. システム・ボード上のバッテリーの位置を確認します (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
7. 以下の手順で、バッテリーを取り外します。
 - a. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。
 - b. バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。



ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のバッテリーを取り外すには、以下の手順を実行します。 非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. システム・ボード上のバッテリーの位置を確認します (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
6. 以下の手順で、バッテリーを取り外します。
 - a. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。
 - b. バッテリーをソケットから持ち上げて取り外します。



システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

以下の注では、サーバー内でシステム・ボード・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・ボード・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または認可販売店に電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みにになり、それに従ってください。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

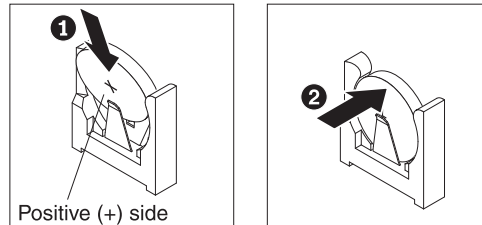
次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに交換のバッテリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. 以下のようにしてバッテリーを挿入します。
 - a. バッテリーを、小さい方の側がソケットに向くようにして縦に持ちます。
 - b. バッテリーを傾けてソケット内に滑り込ませてから、ソケットに押し込んで定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。

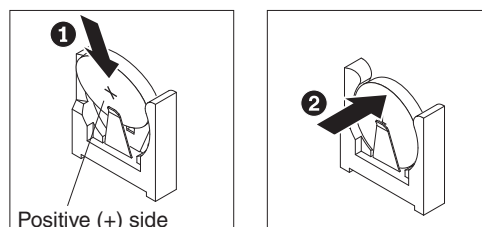


3. エアー・ダクトを取り付けます。
4. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
7. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムを開始して、構成を再設定します。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、100 ページの『Setup ユーティリティのメニュー選択項目』を参照してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に交換のバッテリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. 以下のようにしてバッテリーを挿入します。
 - a. バッテリーの向きを、プラス側が上を向くようにします。
 - b. バッテリーを傾けてソケット内に滑り込ませます。



- c. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。
 3. サーバーを元どおり垂直に立てます。
 4. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
 5. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
 6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムを開始して、構成を再設定します。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。
- 詳しくは、100 ページの『Setup ユーティリティのメニュー選択項目』を参照してください。

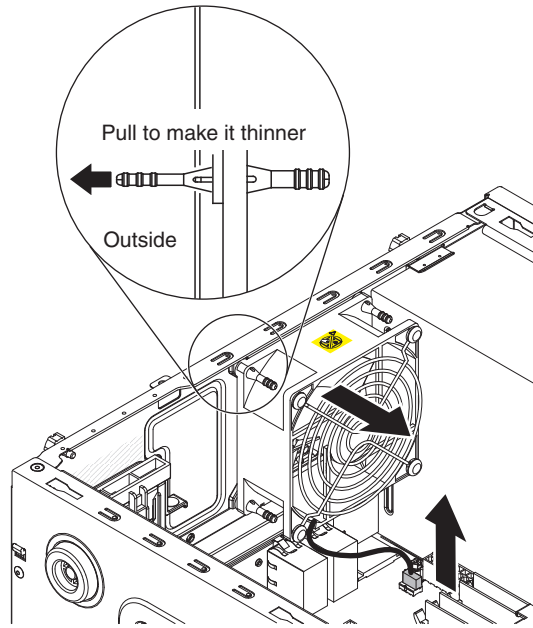
背面システム・ファンの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付きサーバー・モデル (4U シャーシ) の背面システム・ファンを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
3. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・ダクトを取り外します。
5. システム・ボード上でファンとファン・コネクタへのアクセスを妨げているアダプターをすべて取り外します (186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
6. 次のようにシステム・ファンを取り外します。



- a. ファン・ケーブルをシステム・ボードから取り外します (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
 - b. 片手でシステム・ファンを支えながら、ゴムのグロメットをシャーシの外側に引き、ファンをサーバーの前面方向に引いてゴムのグロメットをシャーシの穴を通して取り外します。このステップを繰り返して、残りすべてのゴムのグロメットを取り外します。
 - c. システム・ファンを持ち上げてシャーシから取り出します。
7. ファンに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

背面システム・ファンの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

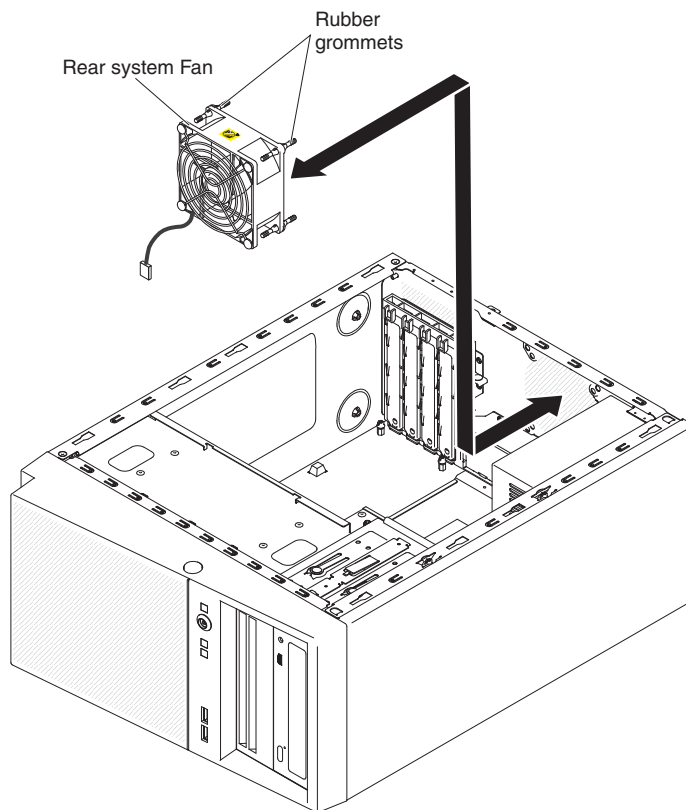
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに背面システム・ファンを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. 交換用ファンはラバー・グロメットが取り付けられて出荷されますが、配送中に脱落している場合があります。ラバー・グロメットがファンから脱落している場合は、ファンにグロメットを取り付けてから作業を続行します。ラジオ・ペンチを使用し、ファンの穴を通してグロメットを引っ張ります。
2. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

3. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

4. エアー・ダクトを取り外します。
5. グロメットがシャーシの穴から突き出るようにファンを位置付け、ラジオ・ペンチを使用してシャーシの外側から穴を通してグロメットを引っ張ります。



6. ファン・ケーブルをシステム・ボードに接続します (背面ファン・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
7. 取り外したアダプターをすべて取り付けます (186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
8. エアー・ダクトを取り付けます。
9. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
11. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し

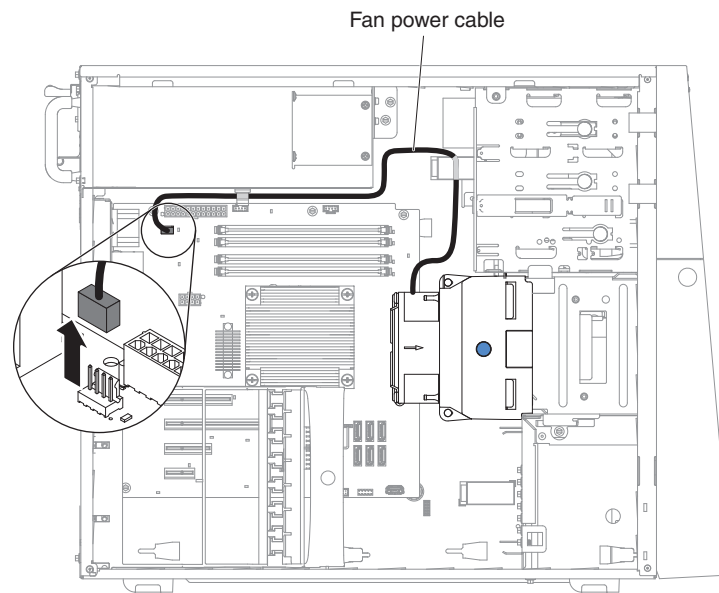
この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外すには、次の手順を実行します。

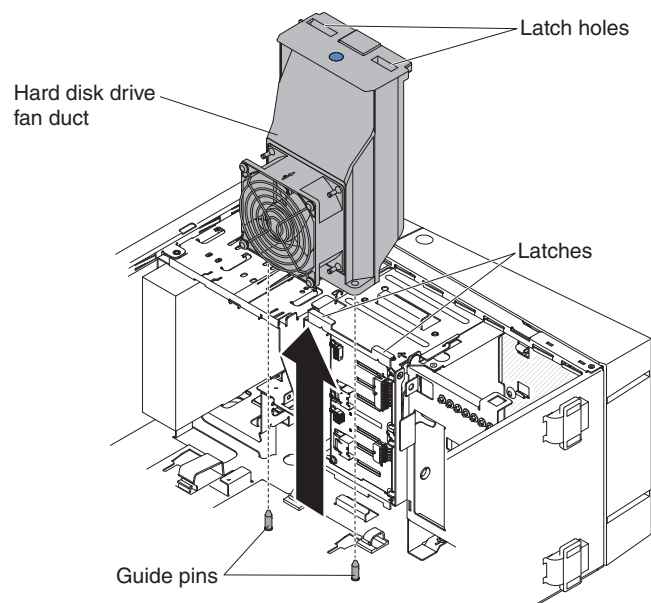
1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを固定している保持クリップを外してから、システム・ボードからハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを取り外します。



5. 青のタッチ・ポイントでハード・ディスク・ファン・ダクトを掴み、シャーシの外に持ち上げます。



6. ファンに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

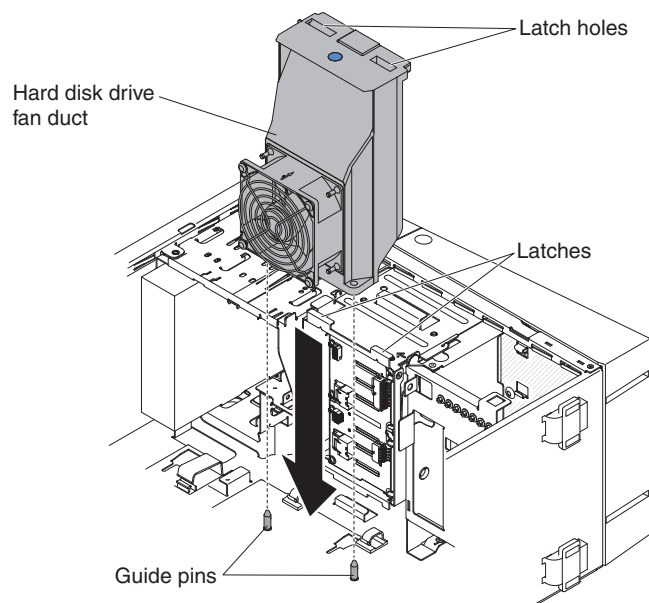
重要: システムの冷却と空気の流れを適正に保つために、サーバーのサイド・カバーを取り外したまま 30 分間を超えてサーバーを稼働させないでください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り付けるには、以下の手順を実行します。

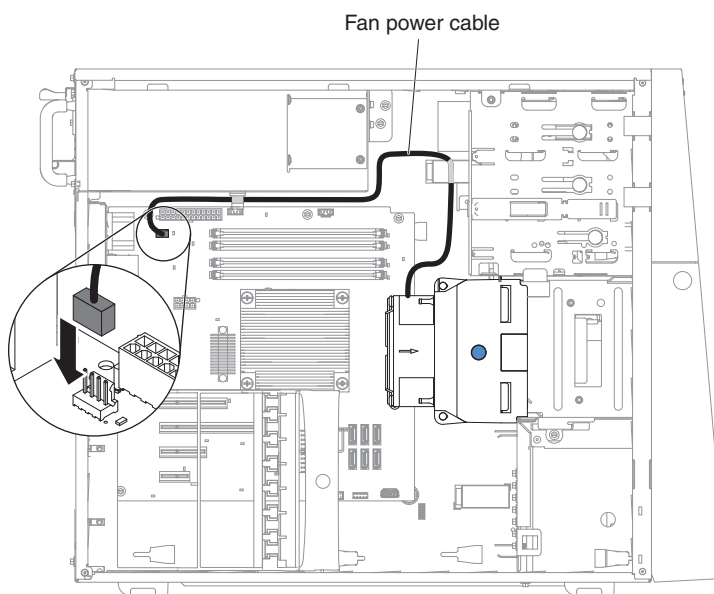
1. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
2. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

3. シャーシ上の 2 つのガイド・ピンと 2 つのラッチがハード・ディスク・ファン・ダクトの対応する穴に確実に突き出るように、ハード・ディスク・ファン・ダクトをシャーシに下ろします。



4. ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルをシステム・ボードに接続します (ファン・アセンブリー・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。ハード・ディスク・ファン・ダクト・ケーブルを対応の保持クリップに忘れずに挿入します。



5. サーバーを元どおり垂直に立てます。
6. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

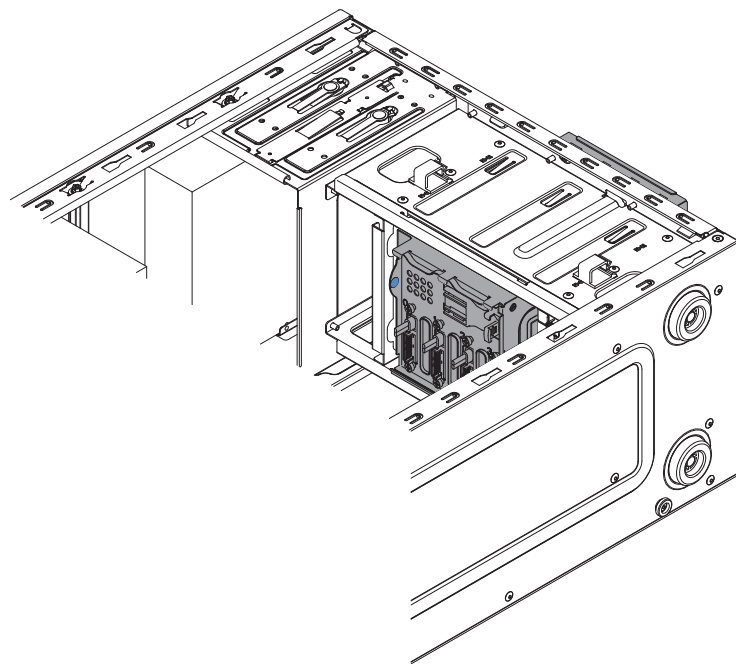
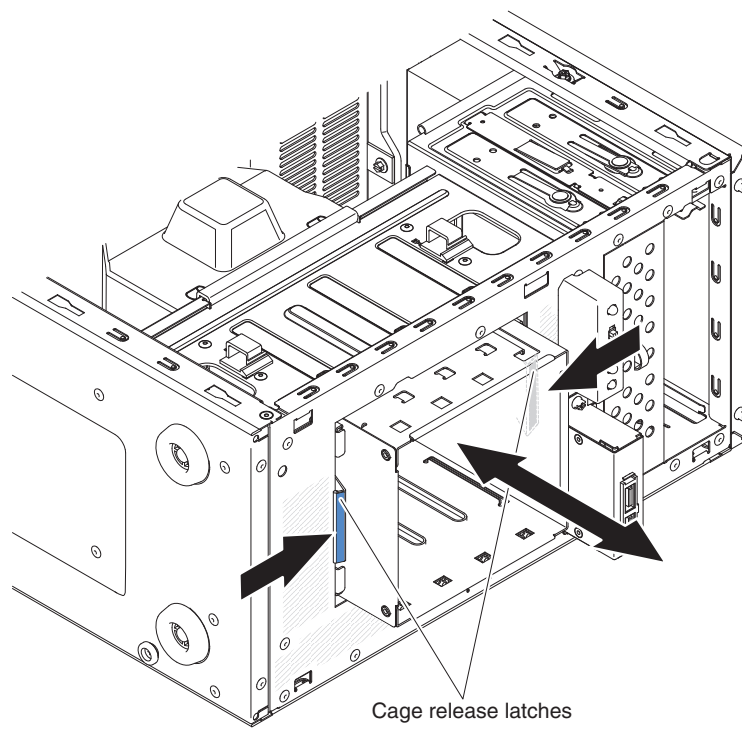
シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

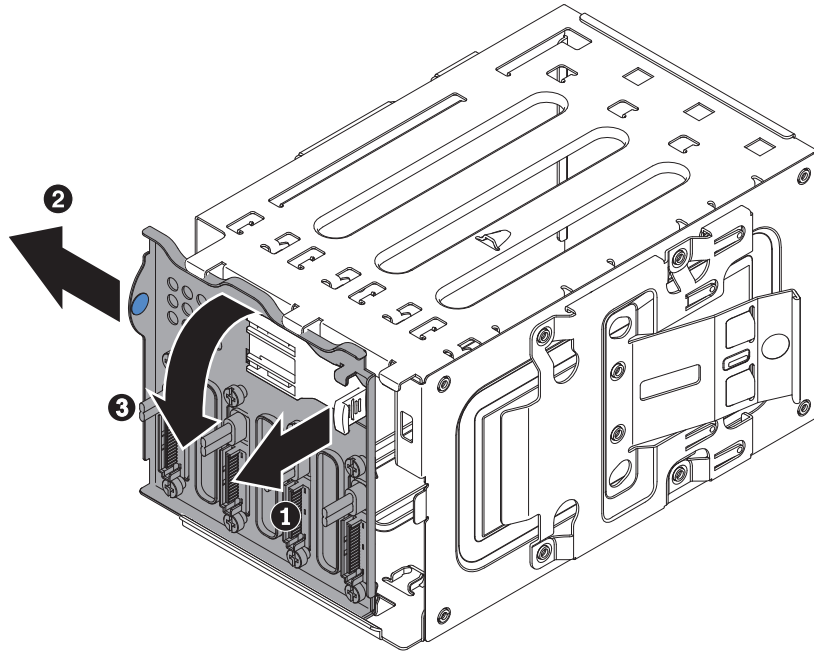
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのシンプル・スワップ・バックプレートを取り外すには、以下の手順を実行します。

注: この手順を完了するために、ドライバーが必要です。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
 2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
 3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
 4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
- 重要:** サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
 6. エアー・ダクトを取り外します。
 7. ハード・ディスク・ケージに取り付けられているシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (205 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
 8. シンプル・スワップ・バックプレートから電源ケーブルを取り外し、次に信号ケーブルを取り外します。
 9. ドライブ・ケージのリリース・ラッチを押しながら、ドライブ・ケージをシャーシから半分だけ引き出します。



10. バックプレートを取り外します。



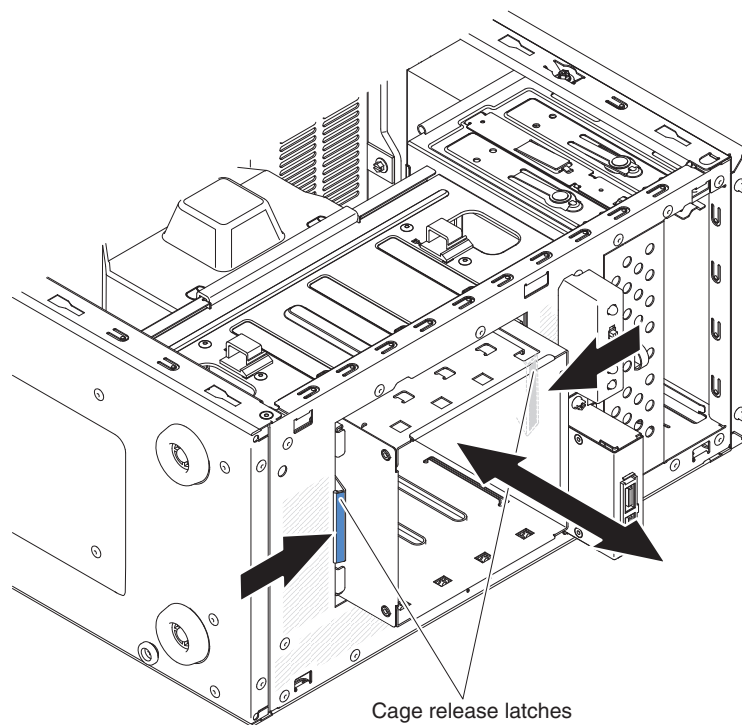
11. シンプル・スワップ・バックプレートの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シンプル・スワップ・バックプレートの交換

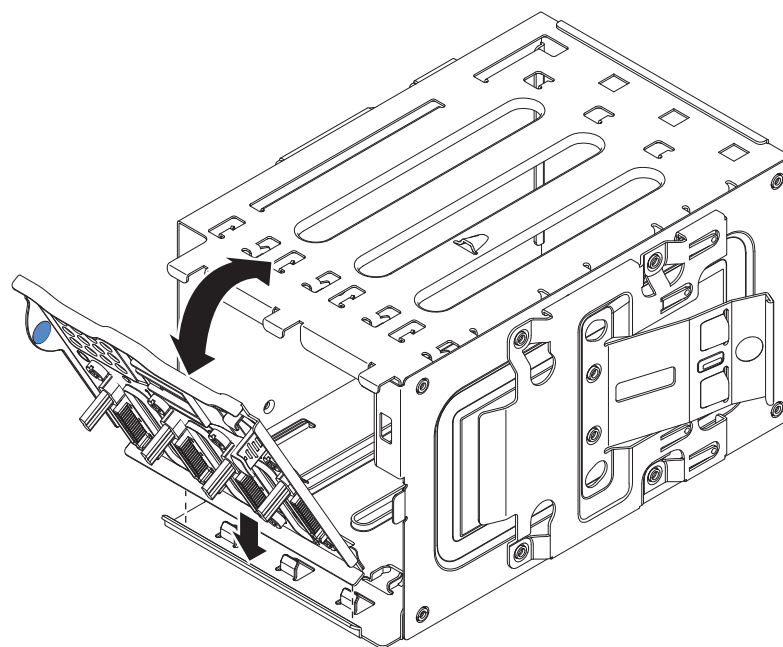
この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシンプル・スワップ・バックプレートを取り付けるには、以下の手順を実行します。

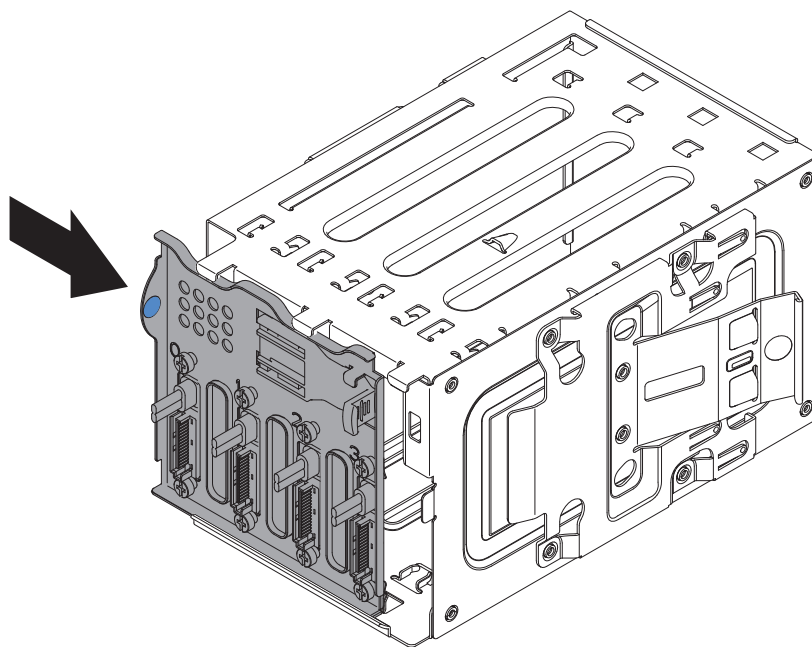
1. ドライブ・ケージのリリース・ラッチを押して、ドライブ・ケージを引き出します。



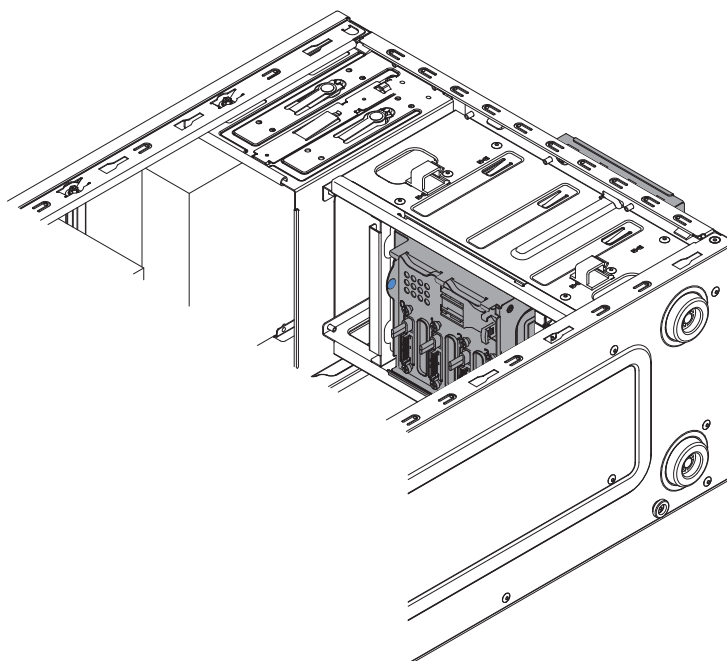
2. シンプル・スワップ・バックプレート下端を、タブとドライブ・ケージ下部の縁の間に位置合わせし、シンプル・スワップ・バックプレートをドライブ・ケージに向かって回転させます。



3. シンプル・スワップ・バックプレートにあるタブが、上部のドライブ・ケージ・タブの左側に接していることを確認したら、バックプレートを端まで押し込みます。



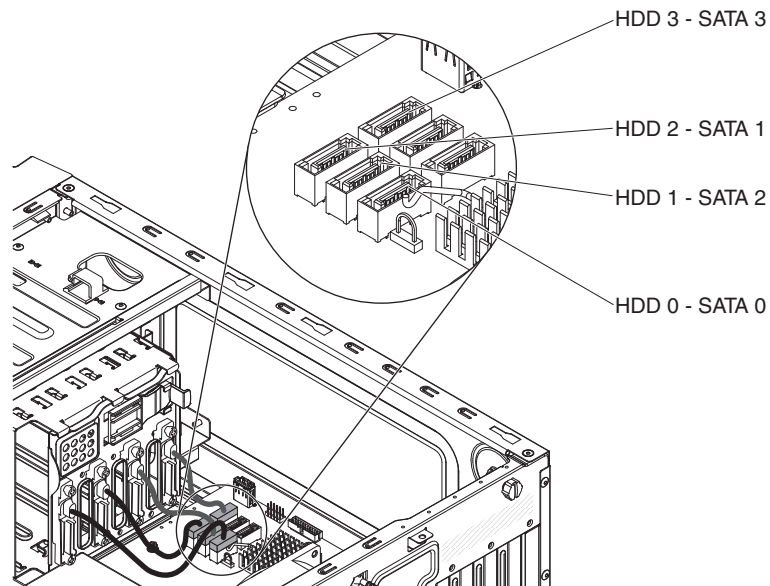
4. ディスク・ドライブ・ケージをサーバー前面の開口部に半分だけ挿入します。



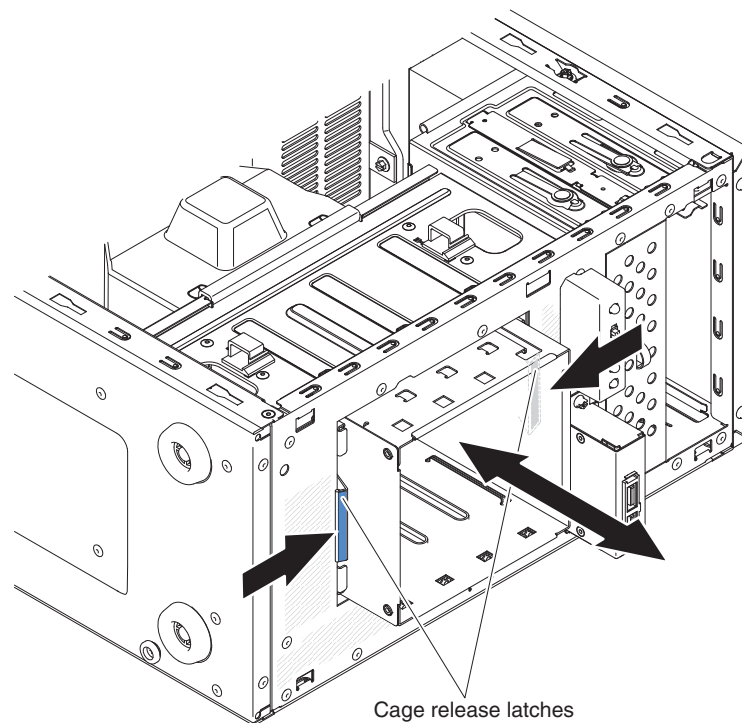
5. ハード・ディスクの電源ケーブルをバックプレートに接続します (コネクタ P3 はベイ 3 に、コネクタ P4 はベイ 4 に、コネクタ P5 はベイ 5 に、コネクタ P6 はベイ 6 に接続)。
6. ハード・ディスクの信号ケーブルを、バックプレートの SATA コネクタに接続します (コネクタ 0 はベイ 3 に、コネクタ 1 はベイ 4 に、コネクタ 2 はベイ 5 に、コネクタ 3 はベイ 6 に接続)。
7. ハード・ディスクの信号ケーブルを、システム・ボードの SATA コネクタまたはアダプター (取り付けられている場合) のコネクタに接続します。

注: LSI RAID ユーティリティでは、SATA 1 はドライブ・ベイ 2 のハード・ディスクを表し、SATA 2 はドライブ・ベイ 1 のハード・ディスクを表します (206 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。

次の図で、システム・ボード上の SATA コネクターを示します。



8. ケーブルを保持クリップで固定します。
9. ハード・ディスクのドライブ・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。



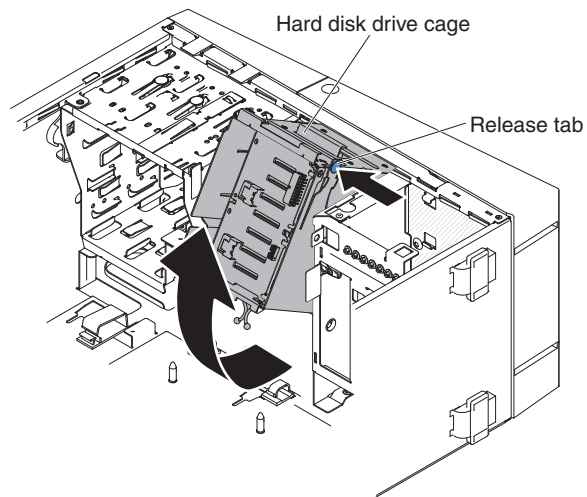
10. ハード・ディスク・ケージから取り外したシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (206 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
11. エアー・ダクトを取り付けます。
12. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
13. サーバーを元どおり垂直に立てます。
14. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
15. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

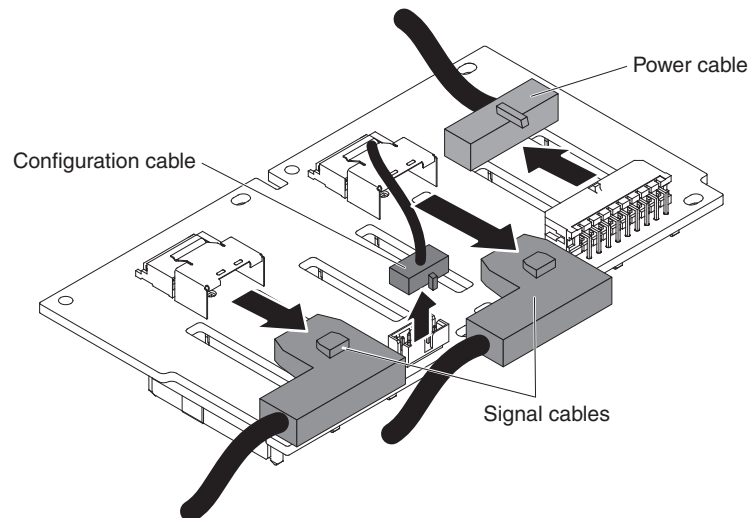
この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のホット・スワップ・バックプレーンを取り外すには、以下の手順を実行します。

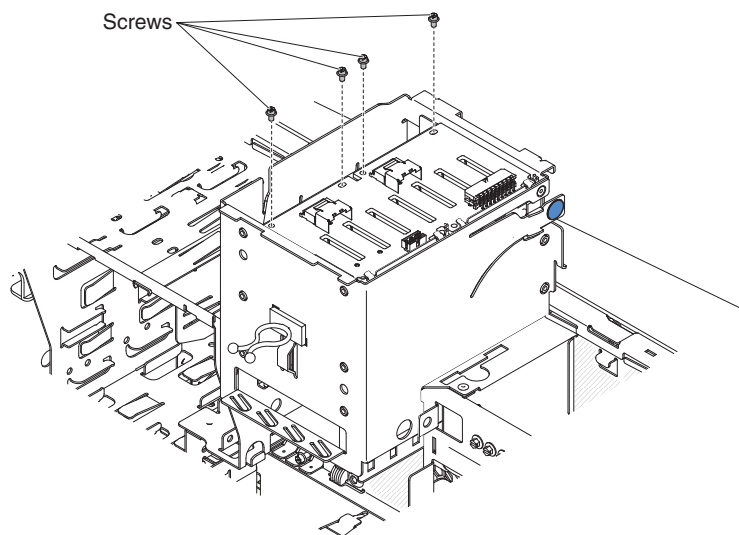
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスク・ケージに取り付けられているホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスクを取り外します (210 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
7. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (227 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。
8. ドライブ・ケージのリリース・タブを押しながら、ケージ上部の保持タブが所定の位置にロックされるまで、ドライブ・ケージを回転させてシャーシから外に出します。



9. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンから取り外します。



10. SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージに固定している 4 本のねじを取り外します。



11. ホット・スワップ・バックプレーンを持ち上げてドライブ・ケージ下部の縁から取り外し、脇に置きます。
12. SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

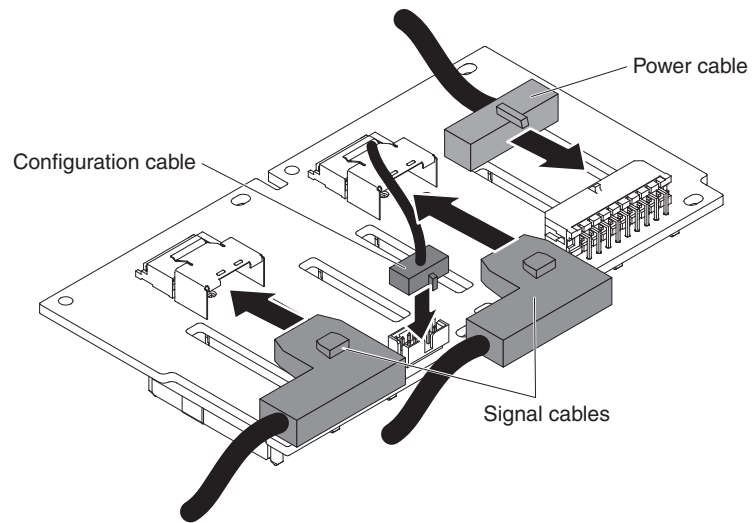
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

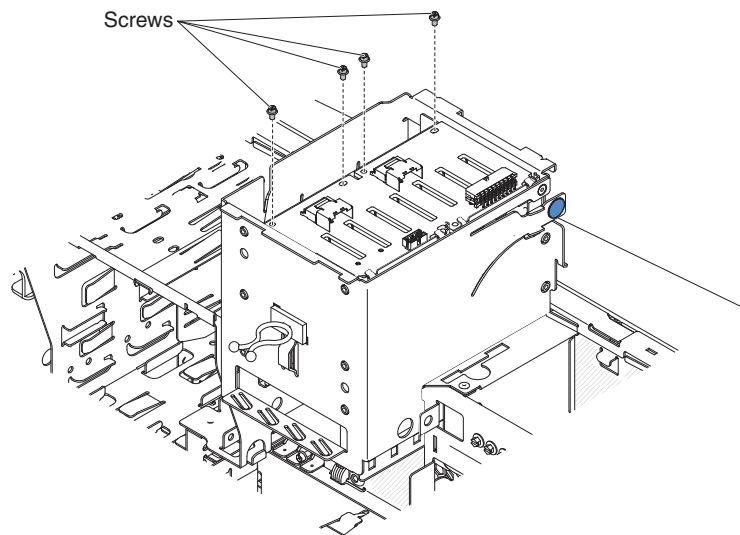
ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの下端をドライブ・ケージ下部の縁に合わせます。
2. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルをハード・ディスク・バックプレーンに接続します。

注: ハードウェア ServeRAID のポート 1 が、バックプレーンのポート 1 に接続されるようにします。同様に、ハードウェア ServeRAID のポート 0 が、バックプレーンのポート 0 に接続されている必要があります。

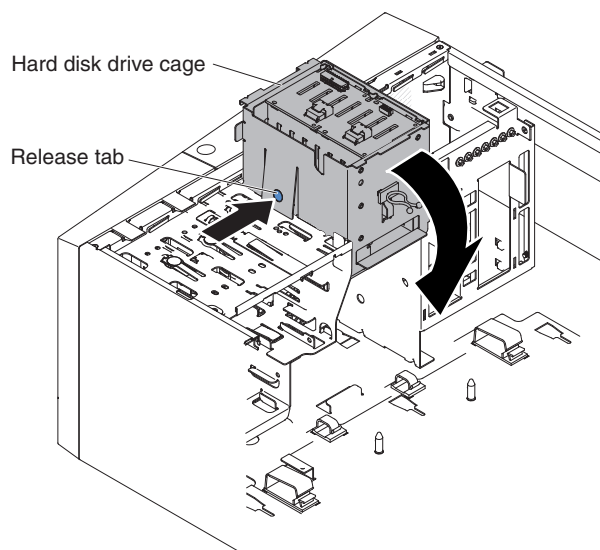


3. ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージに固定する 4 本のねじを取り付けます。



4. ケージ側面の保持タブを押しながら、ドライブ・ケージが所定の位置にロックされるまで、ドライブ・ケージを回転させてシャーシ内に入れます。

注: 保持タブを押したままにするには、ケージを少し持ち上げる必要がある場合があります。



5. ハード・ディスク・ファン・ダクトをハード・ディスク・ケージに取り付けます (228 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。
6. サーバーを元どおり垂直に立てます。
7. ハード・ディスク・ケージから取り外したホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (211 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
8. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
9. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
10. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

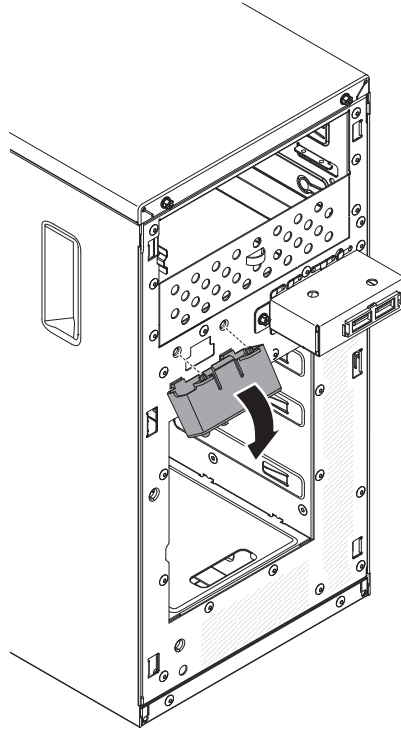
フロント・パネル・アセンブリーの取り外し

フロント・パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのフロント・パネル・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。

6. エアー・ダクトを取り外します。
7. フロント・パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (フロント・パネル・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
8. フロント・パネル・アセンブリーの上部を押し、アセンブリーをサーバー下部に向かって回転させます。次に、フロント・パネル・アセンブリーをシャーシから取り外します。



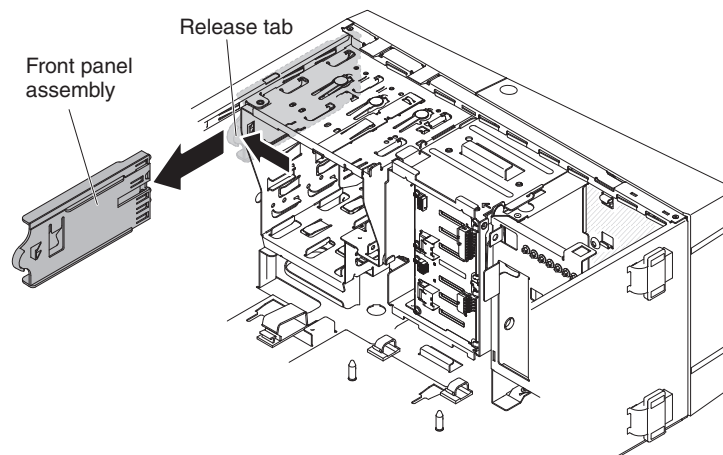
注: 開口部から、慎重にケーブルを引き出します。LED がフロント・パネル・アセンブリーから切り離されることのないようにしてください。

9. フロント・パネル・アセンブリーに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のフロント・パネル・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。

6. ベイ 1 およびベイ 2 のドライブを前方に少しスライドさせます (詳しくは、192 ページの『DVD ドライブの取り外し』および 198 ページの『テープ・ドライブの取り外し』を参照)。これらのドライブを取り外す必要はありません。
7. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
8. ホット・スワップ・パワー・サプライおよびホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージを取り外します (および を参照)。
9. フロント・パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (フロント・パネル・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
10. フロント・パネル・アセンブリーのリリース・タブを押し上げ、サーバーの後部の方にアセンブリーを引きます。その後、フロント・パネル・アセンブリーをシャーシから取り外します。



11. フロント・パネル・アセンブリーに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

フロント・パネル・アセンブリーの交換

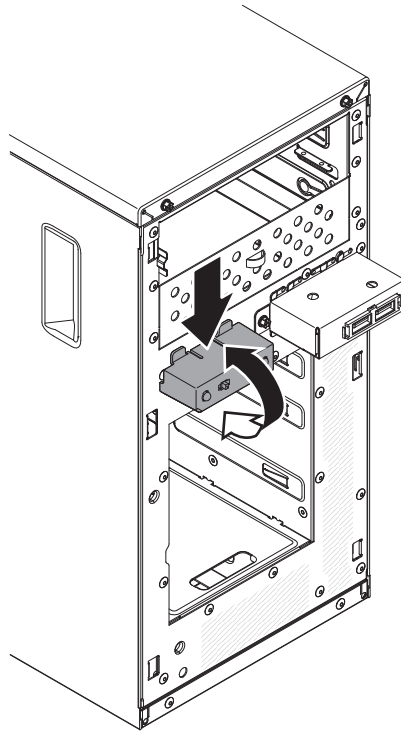
フロント・パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにフロント・パネル・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. フロント・パネル・アセンブリー・ケーブルを、開口部に挿入して再配線します。

注: 開口部から、慎重にケーブルを引き出します。LED がフロント・パネル・アセンブリーから切り離されることのないようにしてください。

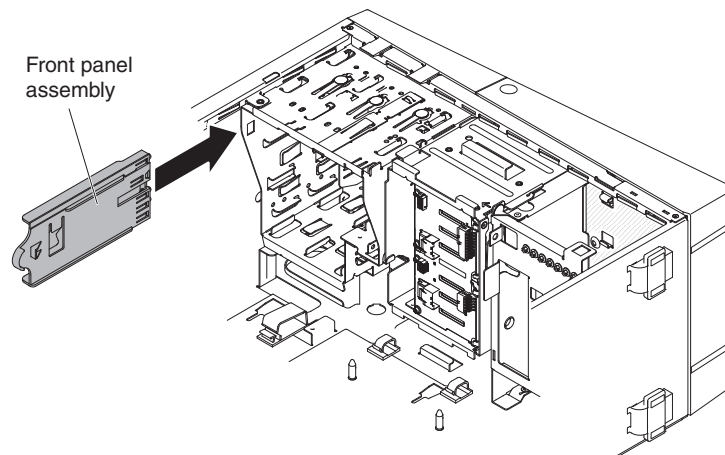
2. フロント・パネル・アセンブリーの下部タブを対応する穴に挿入し、アセンブリーをシャーシに向かって回転させます。



3. カチッと音がして所定の位置にはまるまで、フロント・パネル・アセンブリーをシャーシに向かって押します。
4. フロント・パネル・アセンブリー・ケーブルを再配線し、システム・ボードに接続します (フロント・パネル・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り付けます。
6. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にフロント・パネル・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. サーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
2. フロント・パネル・アセンブリーの前端を、ベイ 1 の上の溝に合わせます。
3. カチッと音がして所定の位置にはまるまで、シャーシ前面の方にフロント・パネル・アセンブリーを押し込みます。



4. フロント・パネル・アセンブリー・ケーブルを再配線し、システム・ボードに接続します (フロント・パネル・コネクターの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
5. パワー・サプライ・ケージとパワー・サプライを取り付けます (および を参照)。
6. ベイ 1 とベイ 2 のドライブをドライブ・ベイに押し込みます (詳しくは、194 ページの『DVD ドライブの交換』および 200 ページの『テープ・ドライブの交換』を参照)。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. 上段ベゼルを取り付けます (85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
9. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

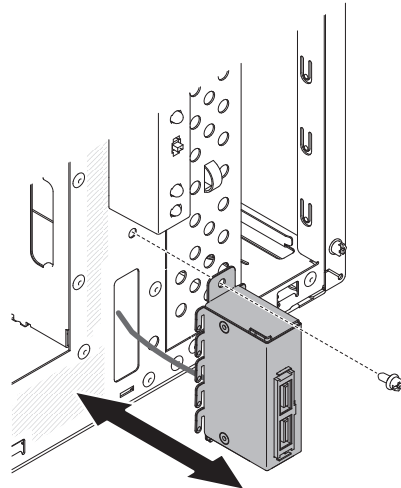
前面 USB アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・ダクトを取り外します。
7. 前面 USB ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (フロント・パネル・コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
8. 前面 USB ハウジングのねじを緩め、ハウジングの上部をシャーシの外側に傾けて、ハウジングをシャーシの開口部から取り出します。
9. アセンブリーをハウジングの後部から引き出します。



10. 前面 USB ケーブルをシャーシの開口部から慎重に引き出します。
11. 前面 USB コネクタ・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

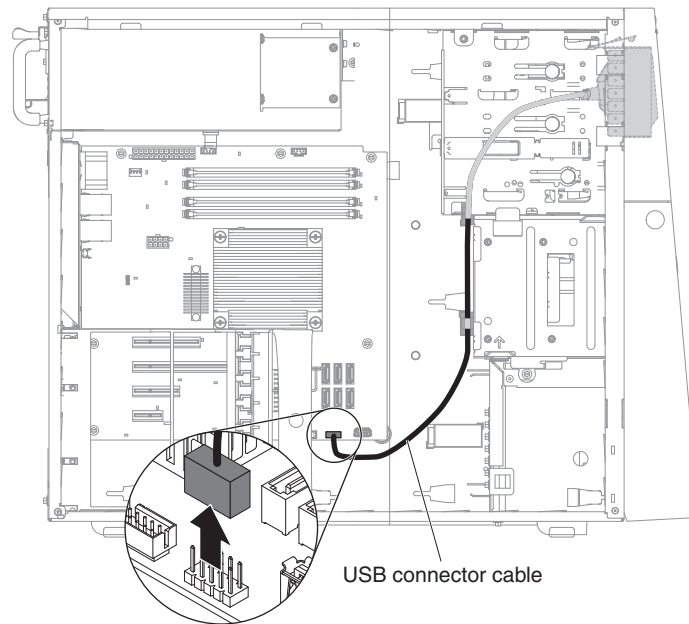
ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の前面 USB コネクタ・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

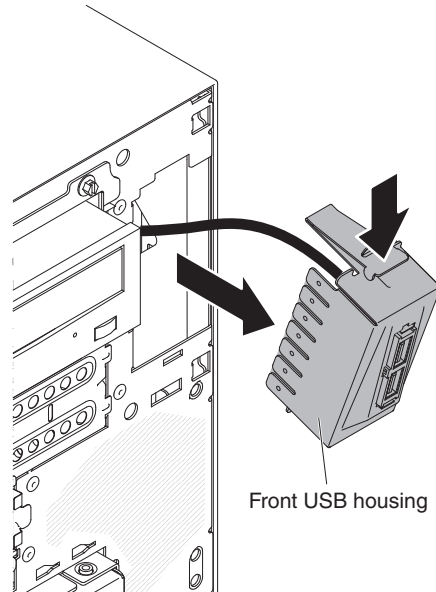
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

7. 前面 USB ケーブルをシステム・ボードから切り離し、ケーブルの配線経路のメモを取っておきます (フロント・パネル・コネクタの位置については、30 ページの

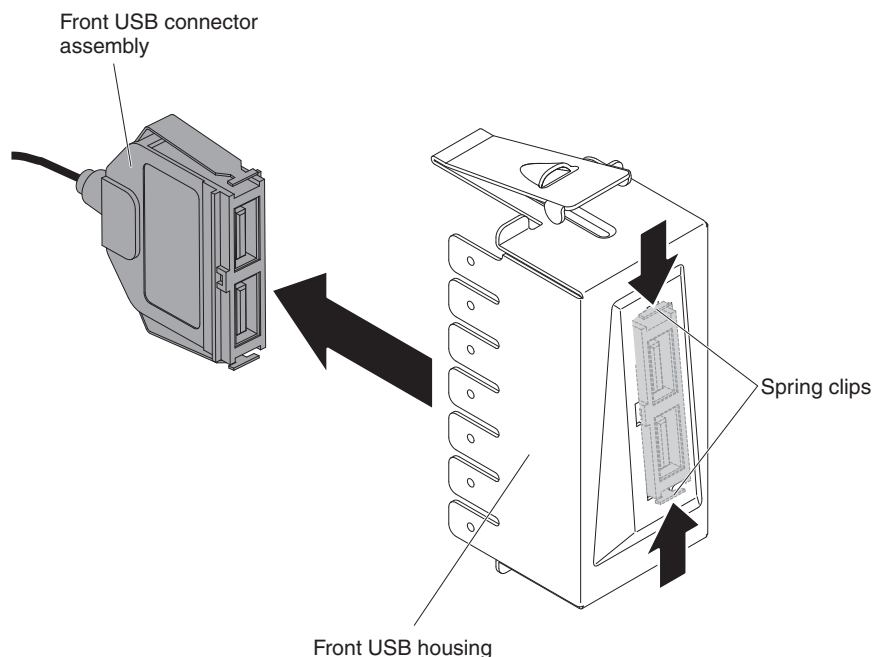
ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。



8. サーバーを元どおり垂直に立てます。
9. 前面 USB ハウジングの上部にある解放タブを押し下げたまま、ハウジングの上部をシャーシの外側に傾けて、ハウジングをシャーシの開口部から取り出します。



10. 前面 USB コネクター・アセンブリーの両側にあるスプリング・クリップをつまんで、アセンブリーをハウジングの後部から引き出します。



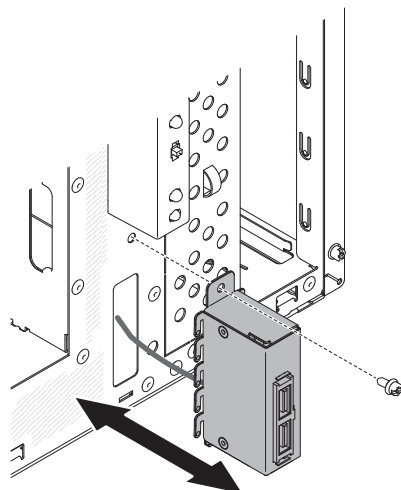
11. 前面 USB ケーブルをシャーシの開口部から慎重に引き出します。
12. 前面 USB コネクター・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面 USB コネクター・アセンブリーの交換

前面 USB アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに前面 USB コネクター・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

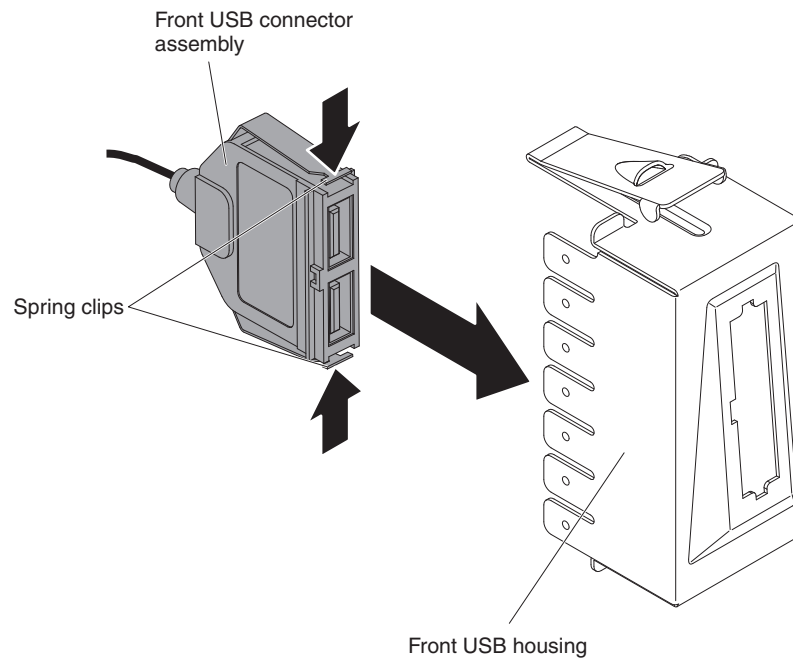
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
 2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
 3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
 4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
- 重要:** サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
 6. エアー・ダクトを取り外します。
 7. シャーシ前面の開口部を通して前面 USB ケーブルを慎重に挿入します。



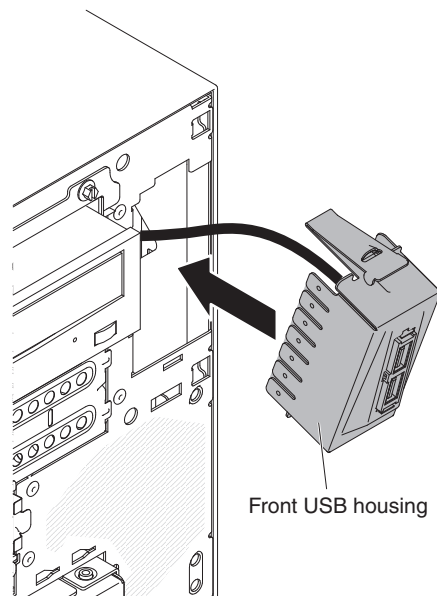
8. USB ハウジング底部端のタブを、シャーシの開口部の底部に合わせます。
9. USB ハウジングの上部を傾けて所定の位置に最後まではめ込みます。
10. 前面 USB ハウジングをねじで固定します。
11. 前面 USB ケーブルを再配線し、システム・ボード上の前面 USB コネクタに接続します (前面 USB コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
12. エアー・ダクトを取り付けます。
13. サイド・カバーを取り付けます (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
14. サーバーを元どおり垂直に立てます。
15. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
16. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にフロント・パネル・アセンブリを取り付けるには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 下段ベゼルを取り外します (42 ページの『下段ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 上段ベゼルを取り外します (43 ページの『上段ベゼルの取り外し』を参照)。
6. シャーシ前面の開口部を通して前面 USB ケーブルを慎重に挿入します。
7. 前面 USB コネクタ・アセンブリの両側にあるスプリング・クリップをつまんで、アセンブリをハウジングの後部からハウジングに挿入します。



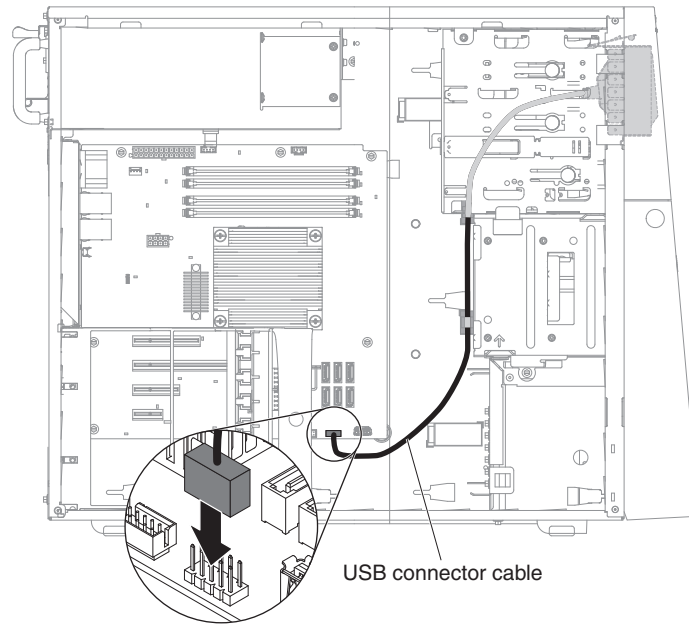
8. ハウジング底部の端をシャーシの開口部の底部に合わせ、ハウジングの上部を傾けてカチッと音がするまで所定の位置にはめ込みます。



9. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

10. 前面 USB ケーブルを再配線し、システム・ボード上の前面 USB コネクタに接続します (前面 USB コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。



11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. 上段ベゼルを取り付けます (85 ページの『上段ベゼルの交換』を参照)。
13. 下段ベゼルを取り付けます (84 ページの『下段ベゼルの交換』を参照)。
14. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
15. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

後部アダプターの保持ブラケットの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

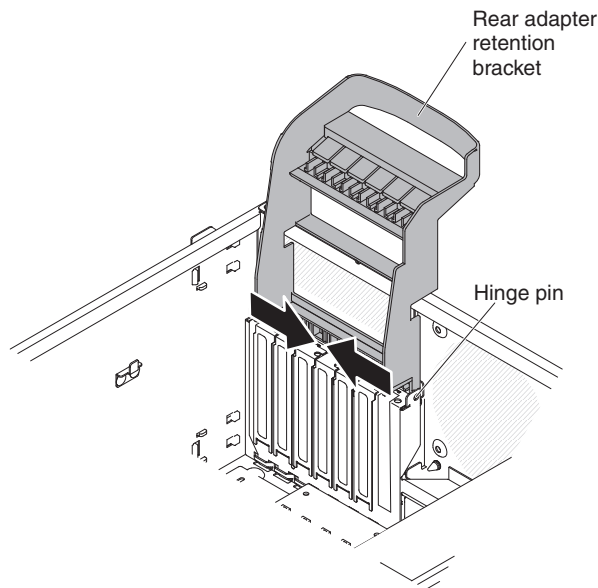
ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の後部アダプター保持ブラケットを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
2. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
3. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. すべてのアダプターを取り外し (必要な場合)、アダプターを帯電防止された面に置きます (183 ページの『ServeRAID アダプターの取り外し』を参照)。

注: アダプターを取り外す前に、各アダプターが取り付けられていた場所をメモしておく便利です。

5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。

6. ヒンジ・ポイントの一方の端のブラケットを掴んで、(ブラケットをサーバー前面へゆっくり回転させながら) ブラケットがヒンジ・ピンから抜けるまで内側に引きます。その後、ヒンジ・ポイントのもう一方の端のブラケットをつかんで同様にブラケットを内側に引き、サーバーから後部アダプターの保持ブラケットを取り外します。



後部アダプターの保持ブラケットの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) に後部アダプター保持ブラケットを取り付けるには、以下の手順を実行します。

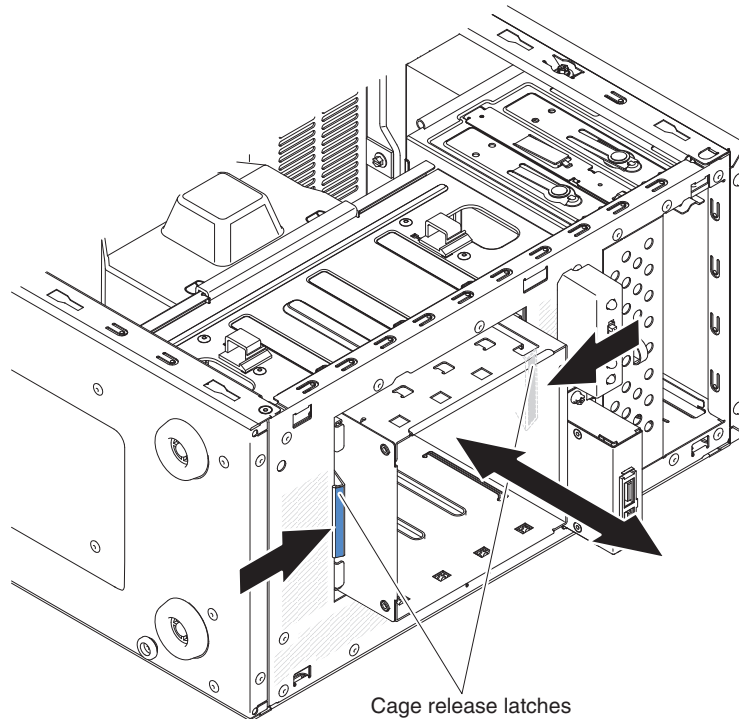
1. 1 つのヒンジ・ポイントの穴がシャーシ上のヒンジ・ピンと揃うように、後部アダプターの保持ブラケットを位置合わせします。その後、ヒンジ・ピンをシャーシ上の穴に通します。
2. 後部アダプターの保持ブラケットを回転させて、反対側のヒンジ・ポイントの穴がシャーシ上のヒンジ・ピンの向こう側にカチッと収まるようにします。
3. アダプターを取り付けます。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
6. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ハード・ディスク・ケージの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのハード・ディスク・ケージを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・ダクトを取り外します。
7. シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (205 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
8. シンプル・スワップ・バックプレートを取り外します (230 ページの『シンプル・スワップ・バックプレートの取り外し』を参照)。
9. ドライブ・ケージのリリース・ラッチを押したままにします。



10. ハード・ディスクのドライブ・ケージとケーブルを、シャーシの開口部から慎重に引き出します。

11. ドライブ・ケージに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ハード・ディスク・ケージの交換

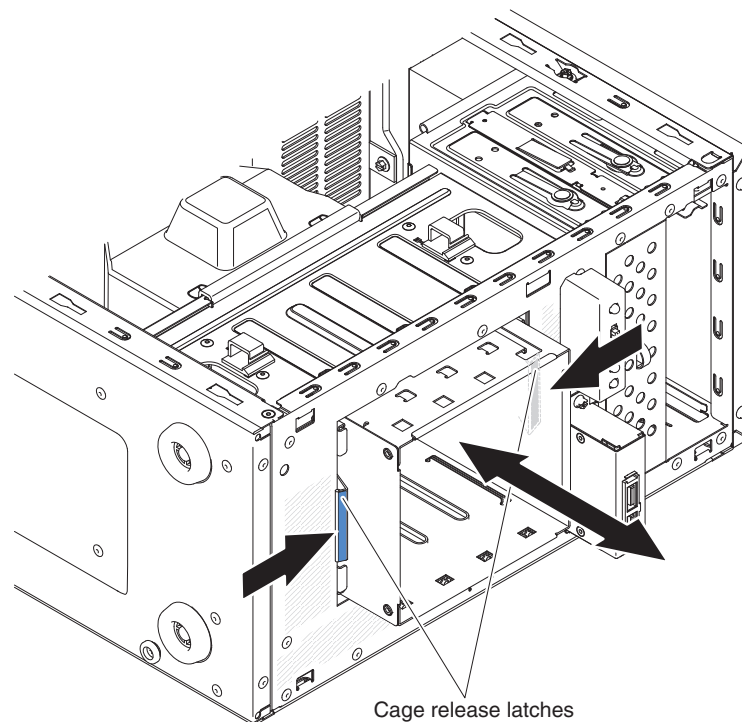
この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. と をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (40 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

5. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・ダクトを取り外します。
7. ハード・ディスクのドライブ・ケージを、リリース・ラッチがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。



注: バックプレートがディスク・ドライブ・ケージに既に取り付けられていることを確認します (232 ページの『シンプル・スワップ・バックプレートの交換』を参照)。

8. エアー・ダクトを取り付けます。

9. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
11. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

固定パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行うときは、以下の予防措置を講じてください。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

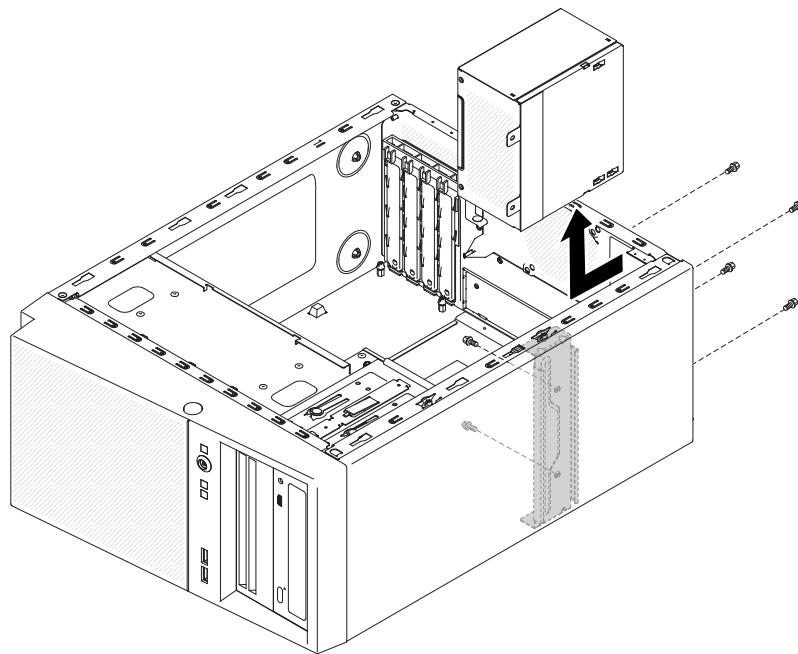
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。

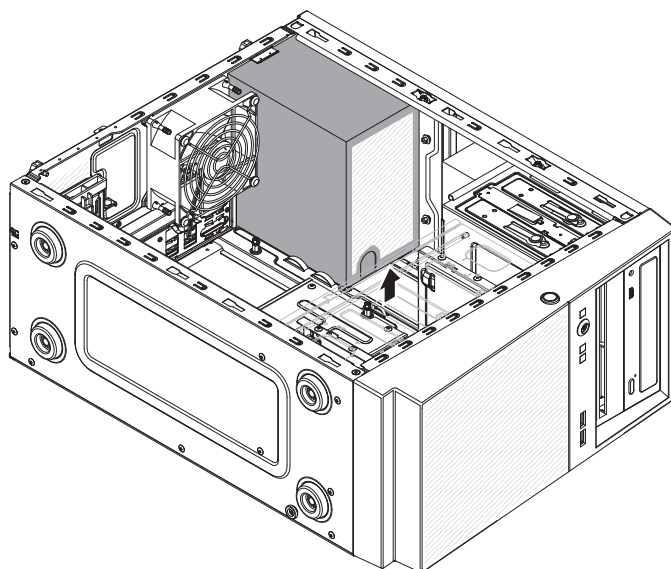
6. ヒートシンクを取り外します (を参照)。
7. ハード・ディスクの電源ケーブルをバックプレートから取り外します。
8. パワー・サプライからシステム・ボードおよびすべての内部コンポーネントへのケーブルを切り離します。すべてのパワー・サプライ・ケーブルの経路をメモしておきます。パワー・サプライを取り付ける際に、同じようにパワー・サプライ・ケーブルを配線する必要があります。

重要: 取り付けねじを取り外す際は、パワー・サプライを支えてください。ねじを取り外した後、パワー・サプライの取り付けが緩み、サーバー内の他のコンポーネントを損傷する可能性があります。

9. パワー・サプライを支えながら、パワー・サプライをシャーシに固定しているねじを取り外します。その後、パワー・サプライをシャーシから取り出します。ねじは、交換用パワー・サプライを取り付けるときに使用するために、保存しておきます。



注: パワー・サプライの取り外しは、底部を上押し上げると簡単に行うことができます。ケーブルを引っ張らないでください。



10. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

非ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

この手順は、非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルの場合のみに適用されます。

安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

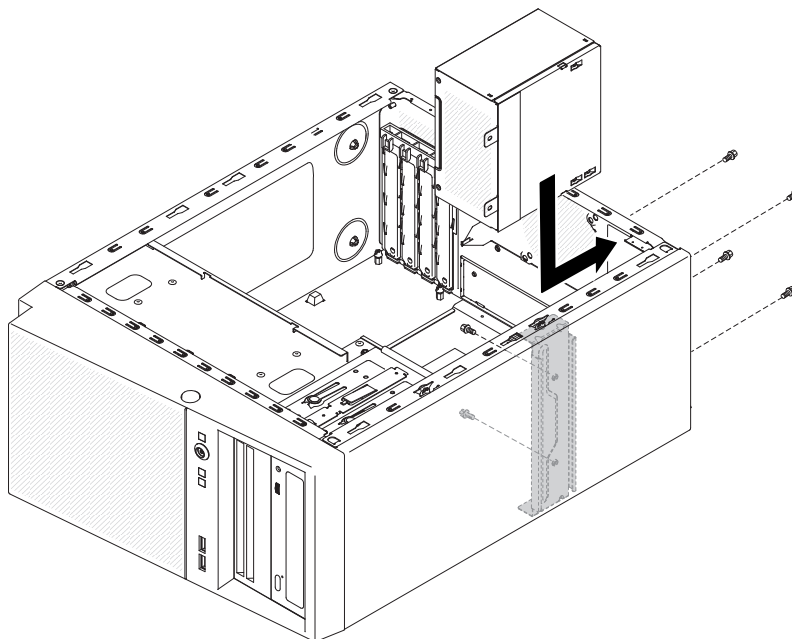


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

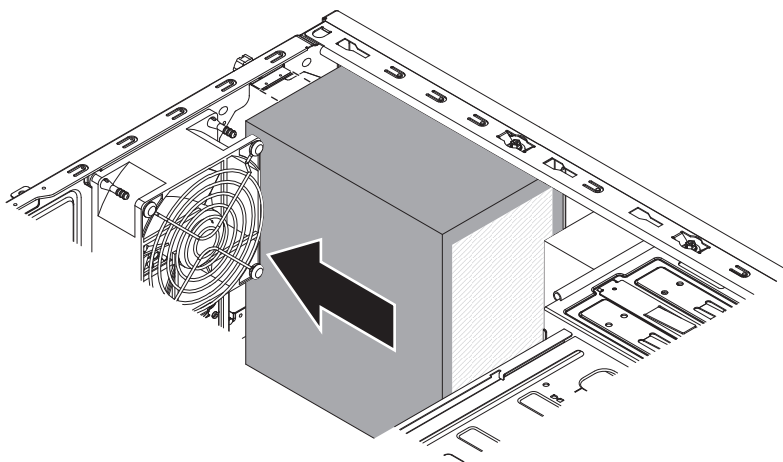
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルに非ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. エアー・ダクトを取り外します。
2. ヒートシンクを取り外します (を参照)。

3. パワー・サプライのねじ穴がシャーシ背面の対応する穴と位置が合うように、パワー・サプライをシャーシ内に設置します。



注: パワー・サプライの上部および下部が、開口部の上下のタブと位置が合っていることを確認してください。



4. パワー・サプライをシャーシに固定するねじを取り付けます。
5. エアー・ダクトを取り付けます。
6. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. サーバーを元どおり垂直に立てます。
8. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
9. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

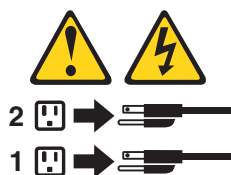
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

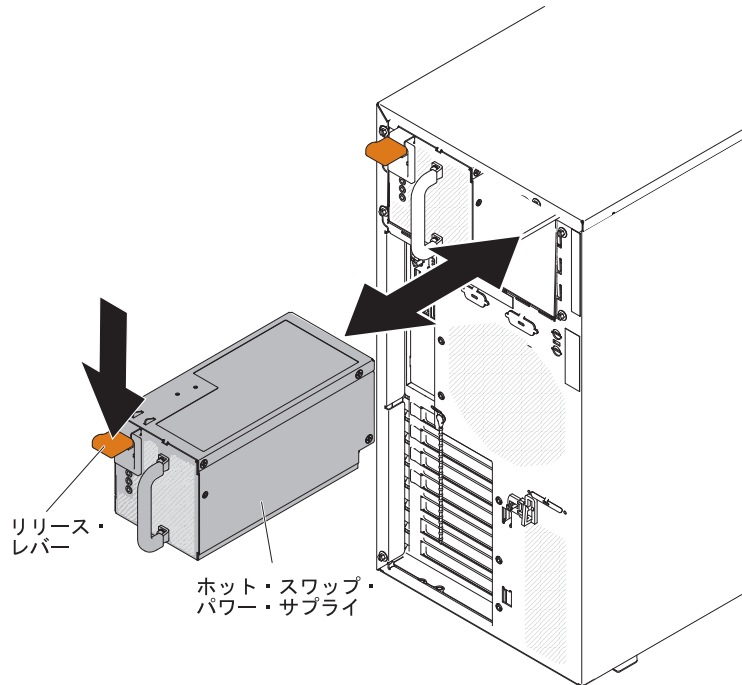


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

重要: 通常の運用中は、適切な冷却のために、各パワー・サプライ・ベイにホット・スワップ・パワー・サプライまたはホット・スワップ・パワー・サプライ・フィルターのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付きサーバー・モデル (5U シャーシ) のホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. 取り外すパワー・サプライから電源コードを取り外します。
3. オレンジ色のリリース・レバーを押し下げ、ハンドルを使用してパワー・サプライをベイから引き出します。



4. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

以下の項目は、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付ける際に考慮すべきその他の事項について説明しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- このサーバーには、430 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライが 1 つ標準装備されています。入力電圧は 110 V AC または 220 V AC (自動検知) です。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

- サーバーは、1 個のパワー・サプライで、最大構成で稼働することができます。冗長性をサポートするために、2 個目のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける必要があります。

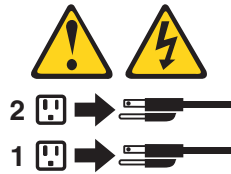
注: サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

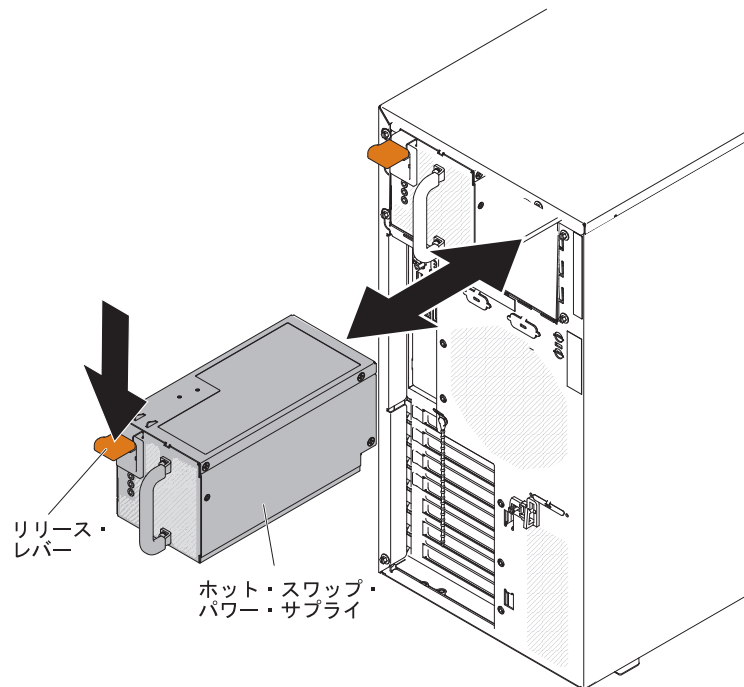


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

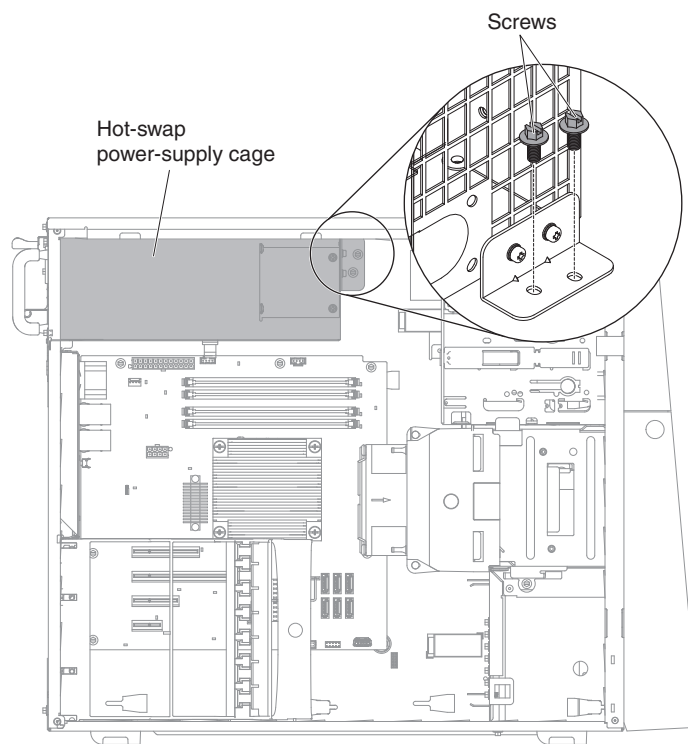
重要: 通常の運用中は、適切に冷却するために、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィルターのいずれかを取り付けておく必要があります。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行してください。

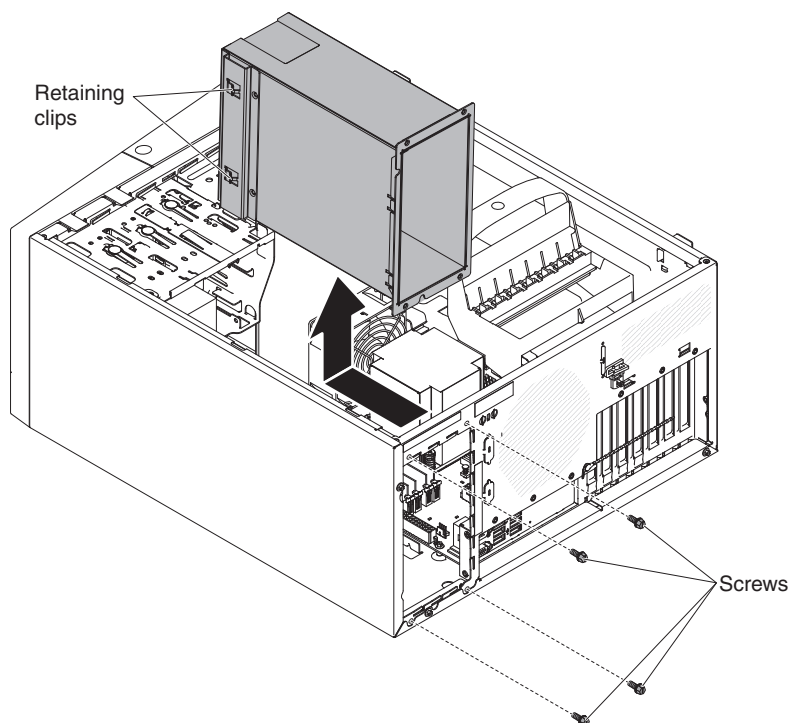
1. パワー・サプライをベイ・ガイドに入れます。
2. ハンドルを使用して、所定の位置にロックされるまで、パワー・サプライをシャーシの前面に押し込みます。



3. 電源コードの片方の端をパワー・サプライの背面のコネクターに接続し、電源コードのもう片方の端を正しく接地された電源コンセントに接続します。
4. パワー・サプライ背面の AC 電源 LED および DC 電源 LED が両方とも点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを確認します。
5. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルを、パワー・サプライの近くのサーバー・トップ・カバーに貼り付けてください。



8. パワー・サプライ・ケージをシャーシに固定している別の 4 本のねじを取り外します。その後、ケージをサーバーの前面の方にスライドさせて、保持クリップをシャーシの上部から外し、ケージをシャーシから取り出します。



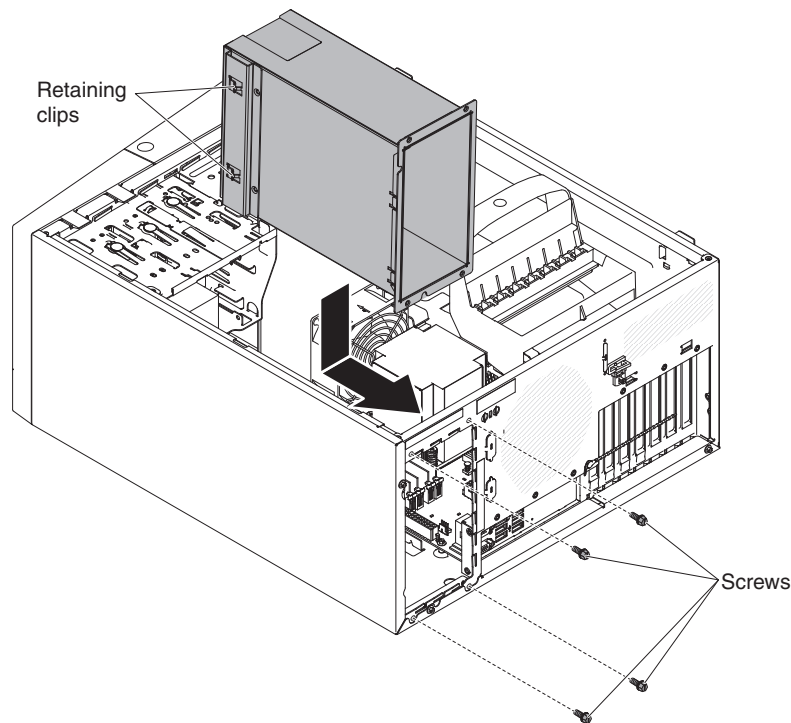
9. パワー・サプライ・ケージに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージの交換

この手順は、ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のみに適用されます。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージを取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. パワー・サプライ・ケージをシャーシの中に置き、保持クリップがシャーシの先端にかみ合うまで、パワー・サプライ・ケージをサーバーの後方へスライドさせ、その後、パワー・サプライ・ケージをシャーシに固定させるために 4 本のねじを取り付けます。



2. パワー・サプライ・ケージをシャーシにさらに固定するために、パワー・サプライ・ケージの前面に位置している 2 本のねじを取り付けます。
3. パワー・サプライ・ケージからシステム・ボードおよびすべての内部コンポーネントへのケーブルを接続します。(内部コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
4. サーバーを元どおり垂直に立てます。
5. ホット・スワップ・パワー・サプライを再び取り付けます (259 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの交換』を参照)。
6. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
7. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

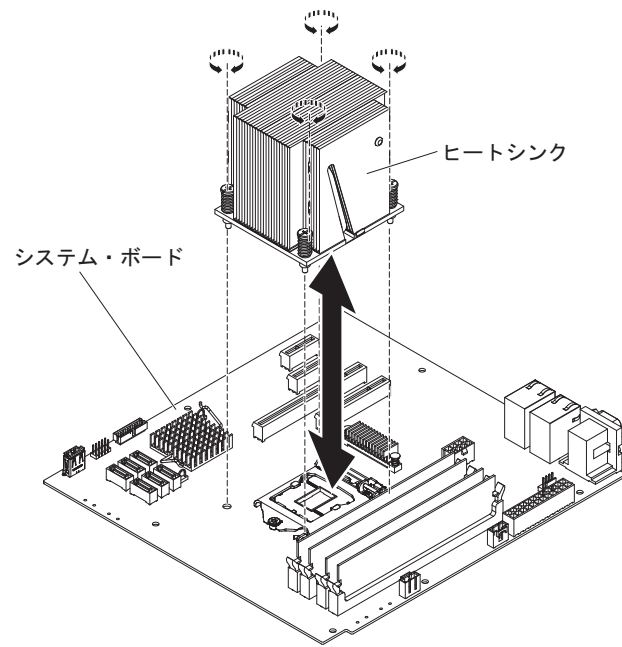
非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルのマイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. 次のように、マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

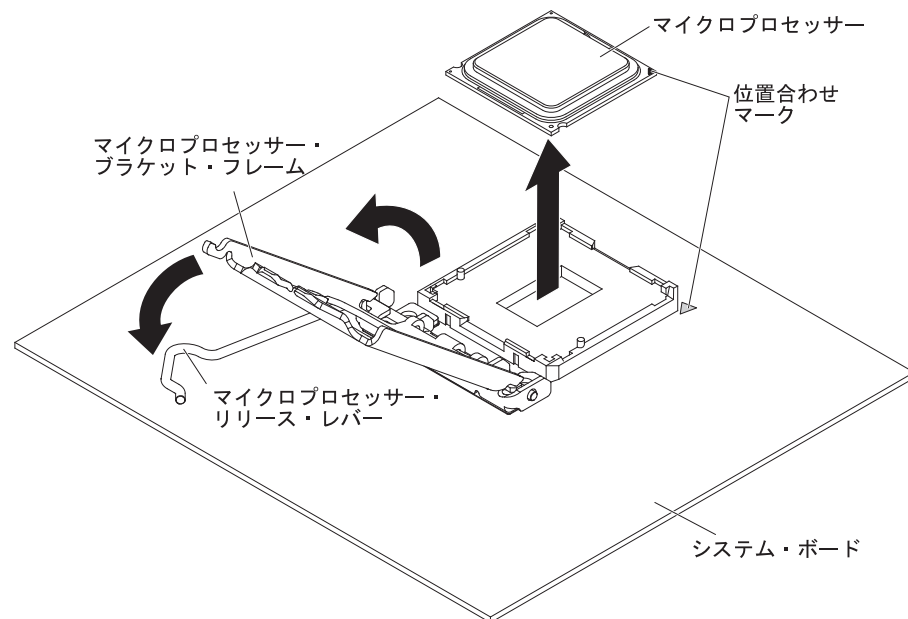
- a. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
- b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
- c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサから静かに引き離します。

重要: マイクロプロセッサとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。マイクロプロセッサとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。



重要: マイクロプロセッサが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサ保持ラッチにはばね荷重がかかっています。ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。



8. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。

10. マイクロプロセッサおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のマイクロプロセッサとヒートシンクを取り外すには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

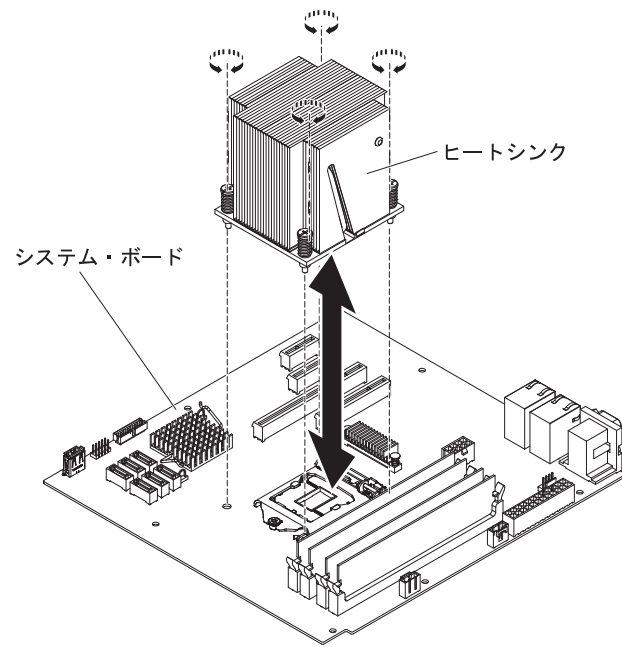
重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. 次のように、マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクは、通常の運用中は非常に熱くなります。ヒートシンクに触れる前に、冷却する時間をとってください。

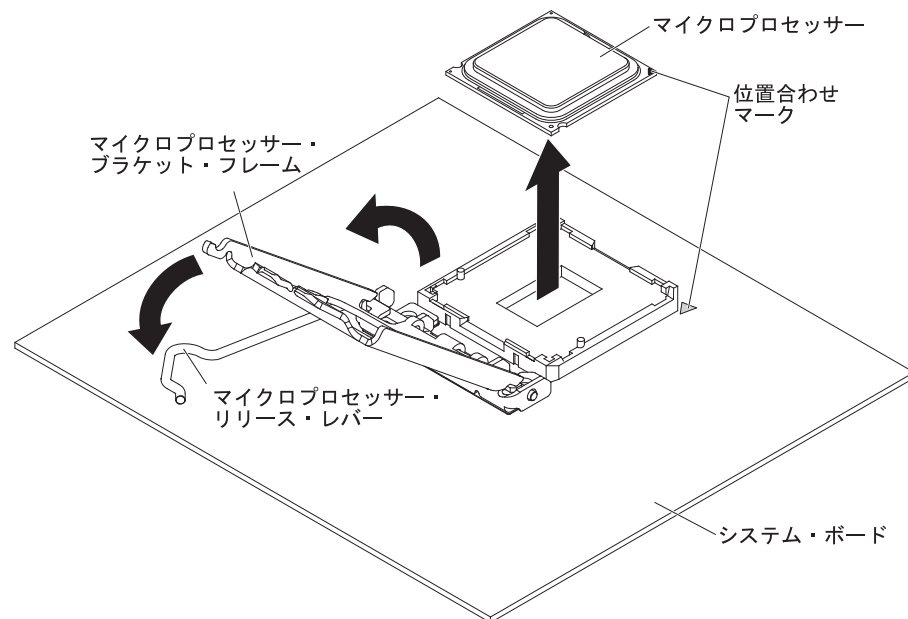
- a. マイクロプロセッサとの密着状態が解除されるまで、ねじを交互に緩めます。
- b. 拘束ねじを強く押し、ドライバーを使用して緩めます。
- c. 指でヒートシンクをマイクロプロセッサから静かに引き離します。

重要: マイクロプロセッサとヒートシンクの取り扱いは慎重に行ってください。マイクロプロセッサとヒートシンクを再利用する場合は、間に入っている熱伝導グリースを汚さないでください。



重要: マイクロプロセッサが所定の位置に取り付けられると、マイクロプロセッサ保持ラッチにはばね荷重がかかっています。ラッチを急に解放したり、上方に飛び出させると、マイクロプロセッサや周辺のコンポーネントを損傷するおそれがあります。

7. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げて横に動かし、ゆっくりとオープン (上側) 位置に解放します。



8. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを、上端のタブを持ち上げて開きます。
9. マイクロプロセッサを慎重にまっすぐ持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。

10. マイクロプロセッサおよびヒートシンクに返却の指示がある場合は、梱包方法のすべての説明に従い、配送されたときのパッケージ資材を使用してください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの交換

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを交換するには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルにマイクロプロセッサとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) の場合、次のサブセクションを参照してください。

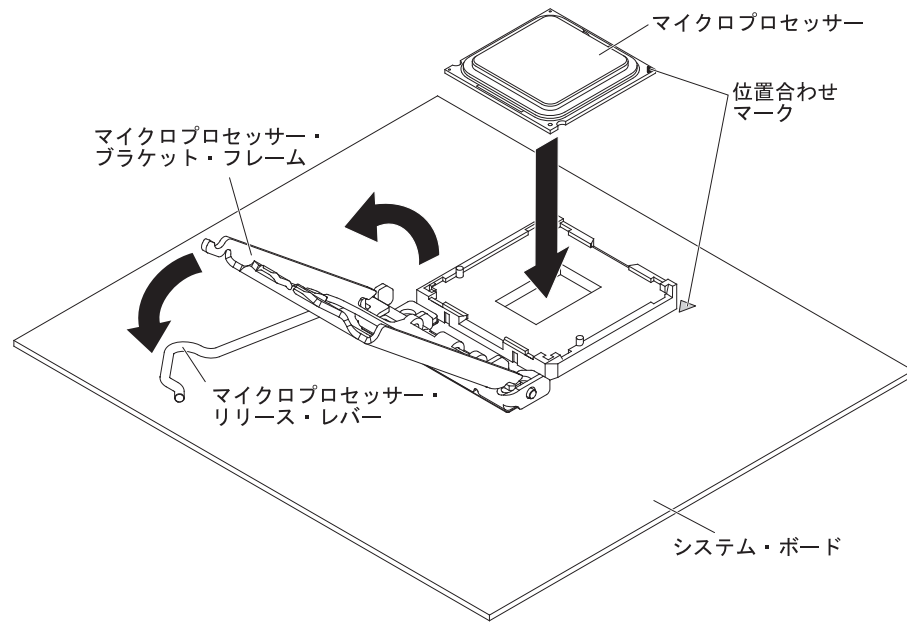
1. マイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。
2. マイクロプロセッサ・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
3. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。それを怠ると、マイクロプロセッサ、マイクロプロセッサ・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

4. マイクロプロセッサを注意してつかみ、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに差し込みます。

注: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- マイクロプロセッサには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
 - マイクロプロセッサの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
 - マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサ保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

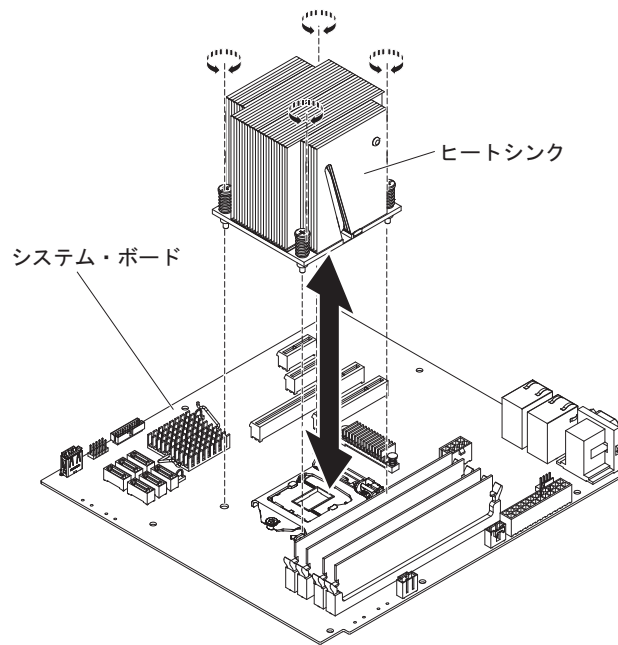


6. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

- a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
- b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。



7. 古いマイクロプロセッサを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
8. SATA 信号ケーブルを保持クリップで固定します。
9. エアー・ダクトを取り付けます。
10. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
13. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にマイクロプロセッサとヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。非ホット・スワップ・パワー・サプライ搭載 4U サーバー・モデルの場合、前のサブセクションを参照してください。

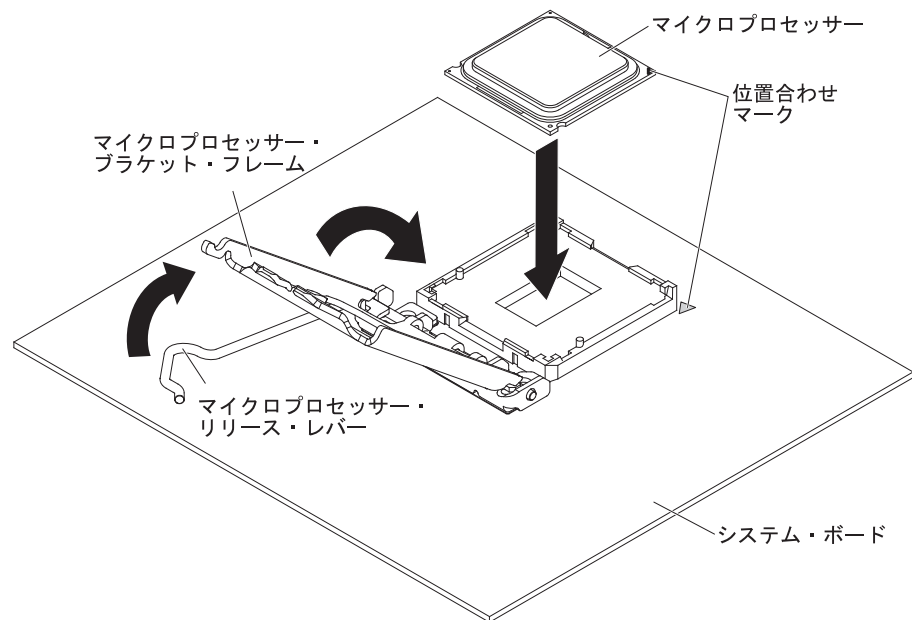
1. マイクロプロセッサが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。その上で、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。
2. マイクロプロセッサ・ソケットの表面から、保護カバー、テープ、またはラベルをすべて取り外します。
3. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを、完全に開いた位置まで回転させます。

重要: マイクロプロセッサをソケットに挿入する前に、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーが完全に開いた位置にあることを確認してください。それを怠ると、マイクロプロセッサ、マイクロプロセッサ・ソケット、およびシステム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

4. マイクロプロセッサを注意してつかみ、マイクロプロセッサをマイクロプロセッサ・ソケットに差し込みます。

注: 取り付けの際にマイクロプロセッサとマイクロプロセッサ・ソケットの間の方向付けを正しく行うために、次のことに注意してください。

- マイクロプロセッサには 2 つの切り欠きがあり、ソケットの両側にある 2 つのタブと位置を合わせます。
 - マイクロプロセッサの角の 1 つに付いている三角形のインディケーターを、システム・ボード上の 45 度の角に向けます。
 - マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
5. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じ、次に、マイクロプロセッサ保持ラッチを閉じて所定の位置にしっかりとロックします。

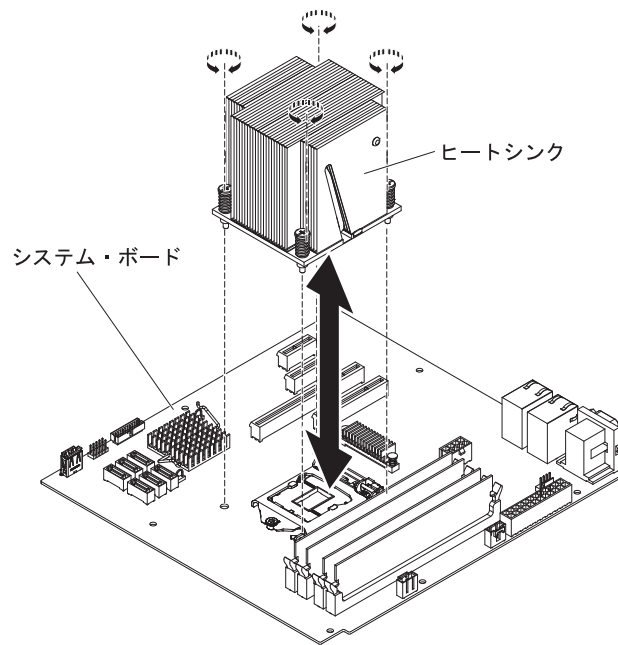


6. 次のように、ヒートシンクを取り付けます。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。

- a. ヒートシンクのねじ穴をシステム・ボード上の穴と位置合わせします。
- b. ドライバーを使用して、きつく締まるまでねじを交互に締めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。ねじがきつく締まるまで繰り返します。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の熱伝導材が汚れた場合は、サービス技術員に連絡してください。



7. 古いマイクロプロセッサを取り外す際に切り離したケーブルをすべて再接続します。
8. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
9. サーバーを元どおり垂直に立てます。
10. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサと同じマイクロプロセッサにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

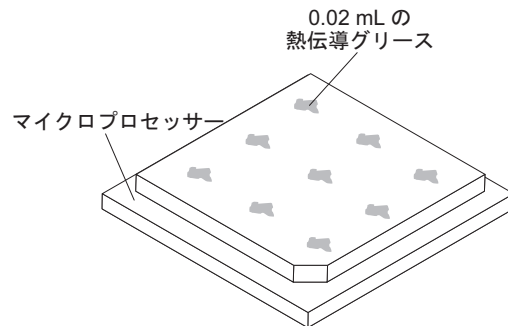
- vii ページの『安全について』の『安全について』をお読みください。
- 35 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 38 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

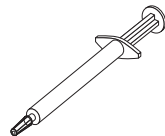
1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの下部から熱伝導グリースを拭き取ります。

注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサ上の 9 カ所に等間隔で 0.02 mL のグリースを点状に配置します。最も外側の点をマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これを行うのは、グリースを均等に配置するためです。



注: グリースを適切に塗布すると、注射器には約半分のグリースが残ります。

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます (269 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルのシステム・ボードを取り外すには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

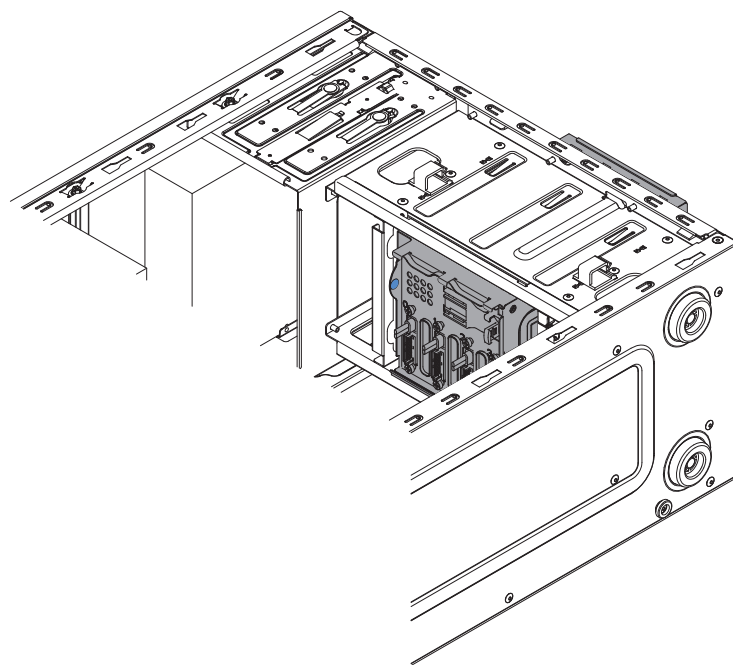
1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. サイド・カバーを取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・ダクトを取り外します。
6. マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外します (44 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。

重要: 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けてください。

7. ドライブ・ケージを、シャーシから半分引き出します。



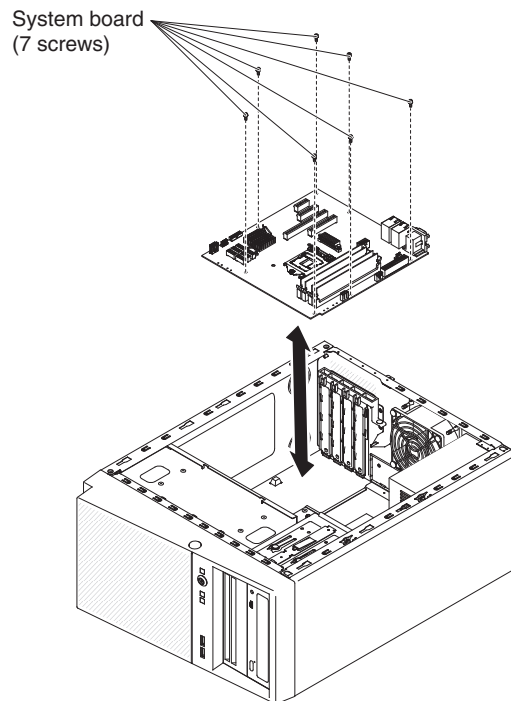
8. ケーブルを保持クリップから取り外します。
9. 各ケーブルの接続箇所をメモしてから、すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクタ上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいものです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

10. (リストされていない可能性のあるコンポーネントに追加して) システム・ボードに取り付けられている以下のすべてのコンポーネントを取り外して、帯電防止された安全な場所に置きます。

- アダプター (183 ページの『ServeRAID アダプターの取り外し』を参照)。
- DIMM (214 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
- バッテリー (220 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。

11. システム・ボードをシャーシに固定している 7 本のねじを取り外します。



12. システム・ボードを慎重に持ち上げ、サーバーから取り出します。
13. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) のシステム・ボードを取り外すには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーおよびすべての接続装置の電源をオフにしてから、すべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (39 ページの『サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードが上になるようにサーバーの側面を下にして、サーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

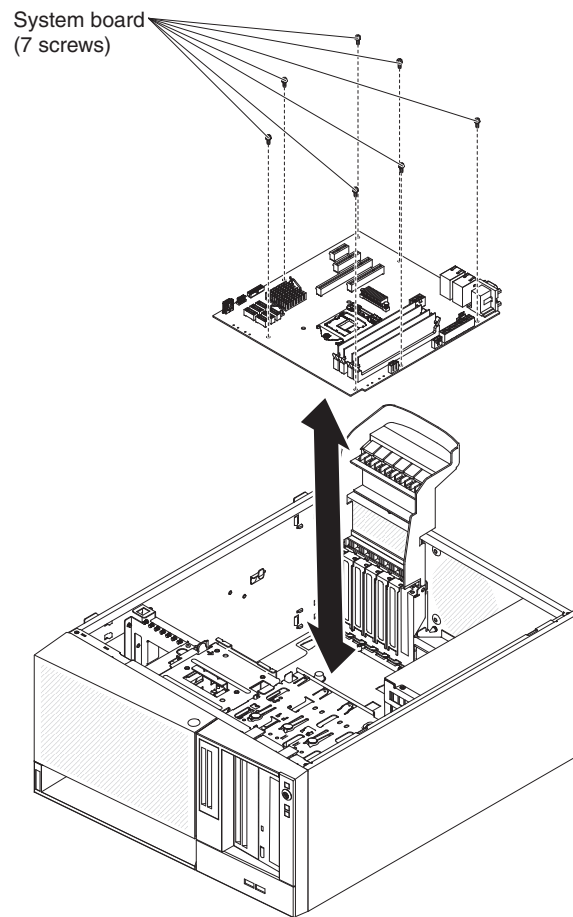
5. 背面アダプター保持ブラケットを開 (ロック解除) 位置まで回転させます。
6. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り外します (227 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの取り外し』を参照)。
7. マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外します (44 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。

重要: 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けてください。

8. ケーブルを保持クリップから取り外します。
9. 各ケーブルの接続箇所をメモしてから、すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離します。

重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクタ上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいものです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

10. (リストされていない可能性のあるコンポーネントに追加して) システム・ボードに取り付けられている以下のすべてのコンポーネントを取り外して、帯電防止された安全な場所に置きます。
 - アダプター (183 ページの『ServeRAID アダプターの取り外し』を参照)。
 - DIMM (214 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
 - バッテリー (220 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
11. システム・ボードをシャーシに固定している 7 本のねじを取り外します。



12. システム・ボードを慎重に持ち上げ、サーバーから取り出します。
13. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

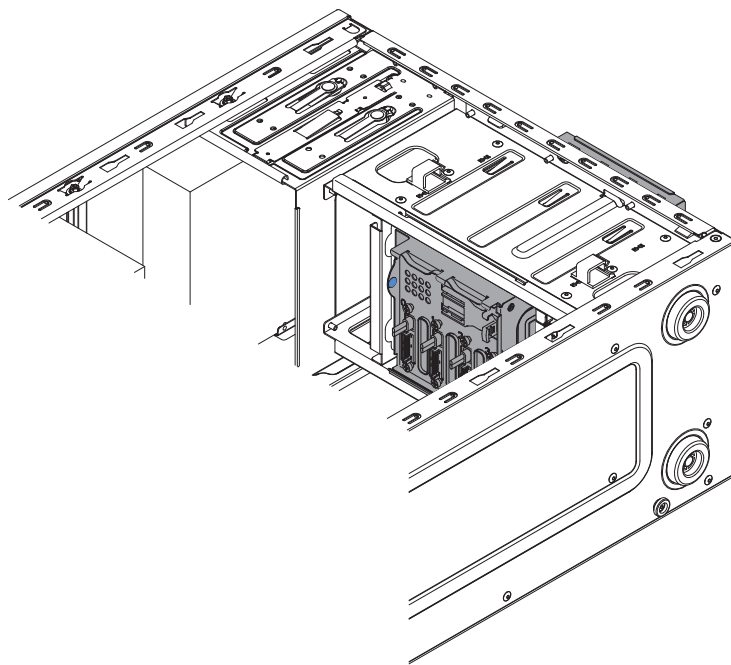
注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクセットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、93 ページの『ファームウェアの更新』、および を参照してください。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

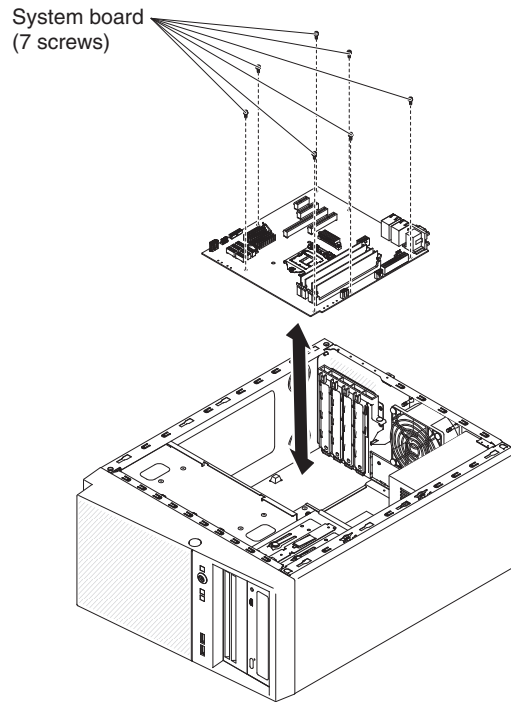
非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルにシステム・ボードを取り付けるには、以下の手順を実行します。ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) は、次のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. ドライブ・ケージを、シャーシから半分引き出します。



3. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージからシステム・ボードを取り出します。

4. システム・ボードをシャーシに挿入し、システム・ボードのねじ穴がシャーシのねじ穴の位置と合うまで、システム・ボードをサーバーの後方へスライドさせます。



5. システム・ボードをシャーシに固定する 7 本のねじを取り付けます。
6. システム・ボードから取り外した次のコンポーネントをすべて取り付けます。
 - SAS/SATA ServeRAID アダプター (186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
 - バッテリー (222 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
 - DIMM (214 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
 - マイクロプロセッサーおよびヒートシンク (269 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
 - アダプター (186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
7. 取り外しの際に切り離したケーブルをすべてシステム・ボードに再接続します (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。
8. ケーブルを保持クリップで固定します。
9. エアー・ダクトを取り付けます。
10. サイド・カバーを取り付けます (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
11. サーバーを元どおり垂直に立てます。
12. ベゼルを取り付けます (83 ページの『ベゼルの交換』を参照)。
13. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

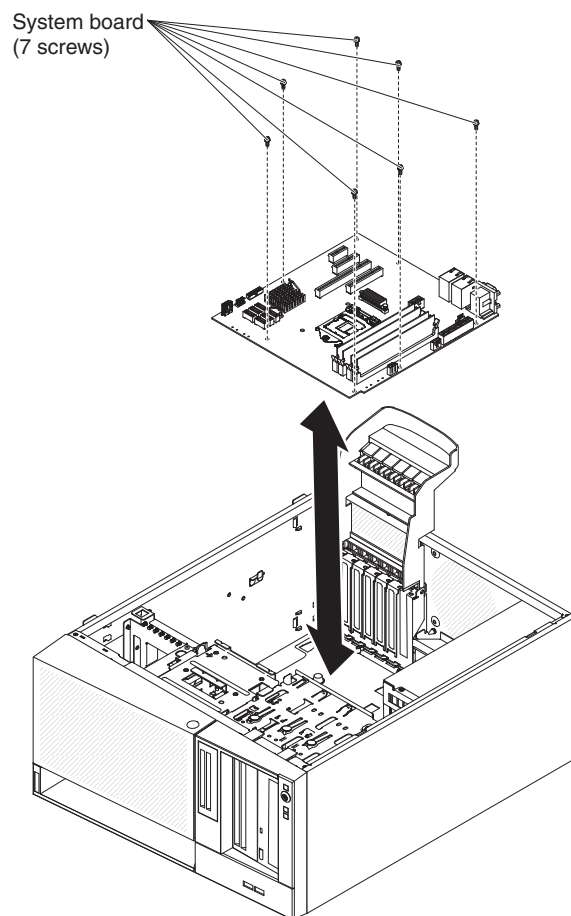
重要: 以下の更新を実行してください。

:

- 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
- UUID を更新してください (を参照)。
- DMI/SMBIOS を更新してください (を参照)。
- CMOS データをクリアします (の JP1 を参照)。

ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 5U サーバー・モデル (モデル名: 2582-F4x) にシステム・ボードを取り付けるには、以下の手順を実行します。非ホット・スワップ・パワー・サプライ付き 4U サーバー・モデルは、前のサブセクションを参照してください。

1. vii ページの『安全について』および 35 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、パッケージからシステム・ボードを取り出します。
3. システム・ボードをシャーシに挿入し、システム・ボードのねじ穴がシャーシのねじ穴の位置と合うまで、システム・ボードをサーバーの後方へスライドさせます。



4. システム・ボードをシャーシに固定する 7 本のねじを取り付けます。
5. システム・ボードから取り外した次のコンポーネントをすべて取り付けます。

- アダプター (186 ページの『ServeRAID アダプターの交換』を参照)。
 - バッテリー (222 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
 - DIMM (214 ページの『メモリー・モジュールの交換』を参照)。
 - マイクロプロセッサおよびヒートシンク (269 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。
6. 取り外しの際に切り離したケーブルをすべてシステム・ボードに再接続します (30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
 7. ケーブルを保持クリップで固定します。
 8. ハード・ディスク・ファン・ダクトを取り付けます (228 ページの『ハード・ディスク・ファン・ダクトの交換』を参照)。
 9. 背面アダプター保持ブラケットを閉 (ロック) 位置に回転させます。
 10. サーバーを元どおり垂直に立てます。
 11. サイド・カバーを取り付け、ロックします (86 ページの『サイド・カバーの交換』を参照)。
 12. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

重要: 以下の更新を実行してください。

:

- 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクセットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。
- UUID を更新してください (を参照)。
- DMI/SMBIOS を更新してください (を参照)。
- CMOS データをクリアします (の JP1 を参照)。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

Event description (イベント記述)

あるイベントについて表示される、ログに記録されたメッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、そのような追加情報は [arg1] や [arg2] などの変数で示されています。

Explanation (説明)

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:

イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

装置は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能

問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス

このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからのコールを待つ間に、イベントの推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行する必要がある処置。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5086346>) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 **Hostname set to [arg1] by user [arg2].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 **IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 **IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.

The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ロード・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ロード・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 **Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time=[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].**

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 **Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].**

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 **Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].**

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2],
NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].**

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または ID: 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimeout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2],
LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2],
PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4],
MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6],
MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9],
DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3],
AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2],
RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].**

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

**4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4],
IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].**

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアの不整合が検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 **FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.**

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 **Test Call Home Generated by user [arg1].**

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 **Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].**

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電

源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで

80010204-1d01xxxx • 80010701-0701xxxx

以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx **Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1 Tach)**

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。 (n = ファン番号)

80010701-0701xxxx **Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010701xxxx または 0x800107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010701xxxx または 0x800109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V である場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010701xxxx または 0x80010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。 3. 破損したディスクを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012001xxxx または 0x800702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012002xxxx または 0x800702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012003xxxx または 0x800702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702012004xxxx または 0x800702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80070202-0701xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070219-0701xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. AC 電源コードをいったん抜いてから差し込み、次にステップ 1 および 2 を再度実行します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. Mマイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and ID: 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。 4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0008-0a01xxxx • 806f0009-1301xxxx

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合

806f000f-220102xx • 806f000f-220103xx

は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー :

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー :

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー :

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName] has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー :

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー :

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー:

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントに対する UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストで確認することができます。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー:

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。3. オペレーター情報パネルを交

換します。

**806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(All PCI Error)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー。

**806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].
(PCI 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 PCI 2 : PCI 3 : PCI 4 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エア・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。 (n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題

806f010c-2004xxxx • 806f010c-2581xxxx

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合は、該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合は、サーバーをいったん給電部から切り離してから再接続し、サーバーを再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害のためにドライブが使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されません。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251d01xxxx または 0x806f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

**806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName].
(Watchdog)**

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイク

ロブプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境で ソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。 4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、その

エラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx または 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。 6. 状況 LED が点灯して

いるハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

**806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2004xxxx • 806f070c-2581xxxx

ロジであることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が進行中であるあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0813-0301xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08130301xxxx または 0x806f08130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッ

81010002-0701xxxx • 81010202-0701xxxx

フルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010701xxxx または 0x810107010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010701xxxx または 0x810109010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーの上昇が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010701xxxx または 0x81010b010701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012001xxxx または 0x810702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012002xxxx または 0x810702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012003xxxx または 0x810702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702012004xxxx または 0x810702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 1)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 2)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー :

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 2 : PCI 3 : PCI 4 :

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントの存在が検出された場合に使用されます。

816f01251d01xxxx または 0x816f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 4)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 5)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されなくなったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx または 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー消し込み障害リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたこと検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、クリティカル・アレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、障害が起きたアレイがリストアされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再作成が完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-0301xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08130301xxxx または 0x816f08130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

Event identifier (イベント ID)

イベントを一意的に識別する ID。

Event description (イベント記述)

イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

Explanation (説明)

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 その状態の懸念のレベルの表示。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

表 37. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。警告は、さらにモニターおよびメンテナンスを続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するため取るべき処置。

手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.

説明: 1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1100A [I.1100A] A processor microcode update failed.

説明: プロセッサ・マイクロコードがロードに失敗しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

I.18005 [I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.

説明: プロセッサのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 [I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 取り付けられているプロセッサの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 [I.18008] Currently, there is no additional information for this event.

説明: プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連したプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 [I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B [I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.

説明: 同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。If slot not available or error re-occurs, replace adapter.
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動した後にエラーが再発しなかった場合は、これがシステムの制限事項でないことを確認してから、システム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.3818001 [I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.58015 [I.58015] Memory spare copy initiated.

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは情報提供のみを目的とするものです。

I.580A4 [I.580A4] Memory population change detected.

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to the mirrored copy.

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.

説明: プロセッサ CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.1100C [S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.

説明: 訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011000 [S.2011000] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI PERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。 Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再消去します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを消去し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートできない場合、または消去しようとして失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] POST 時に訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、コネクタに損傷がないか調べます。損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再消去します。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.51009 [S.51009] No system memory has been detected.

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.5100A [S.5100A] Memory is present within the system but could not be configured. Please verify that the memory configuration is valid.

説明: 使用可能なメモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認して、すべての DIMM を取り付け直します。
4. CMOS メモリーをクリアします。ファームウェア設定はすべてデフォルトに戻されることに注意してください。
5. UEFI ファームウェアを再消去します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。

S.68005 • W.11004

4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.11004 **[W.11004] A processor within the system has failed the BIST.**

説明: プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818000 [W.3818000] TPM communication failure

説明: TPM 通信障害。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが続く場合は、システムのブートを続行し、UEFI イメージを再消去します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.50001 [W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再消去します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %, MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクタに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM が、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。

W.580A1 [W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A3 [W.580A3] Invalid memory configuration for Lock-Step Mode. Please correct memory configuration.

説明: ロック・ステップ・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがロック・ステップ・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスタのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
 2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
 3. テストを再実行してください。
 4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
 2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
 3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。
-

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
-

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
 6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
 7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
 4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
 5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
 6. テストを再実行してください。
 7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
 8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
-

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
 2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
 3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
 5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
-

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が IMM プライベート・バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-903-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LED バス (BUS 2) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が、温度センサー・バス (BUS 6) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 次のステップを実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています（追加の保守契約によって保証されていない場合）。お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号（該当する場合）
 - マシン・タイプ番号（IBM の 4 桁のマシン識別番号）
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/supportportal>に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://www.ibm.com/supportportal> では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> にあります。IBM BladeCenter 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> にあります。IBM IntelliStation 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスしてから、ページの右サイドで「パートナーを探す」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび `ibm.com` は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があります、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア（オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど）を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する可能性があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子（金属片や微粒子を含む）や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 38. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	- 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 - データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 - 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 - 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	- 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ - 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満
¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc. ² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。 ³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.	

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方式での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

"Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入
力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers
and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

安全と注意 5
安全に関する注意書き vii, ix
イーサネット 9
 コントローラー 156
 システム管理コネクタ 21
 リンク状況 LED 21
イーサネット活動
 LED 21
イーサネット・コネクタ 21
イーサネット・コントローラーの構成 94
イーサネット・サポート 9
一般
 問題 141
インフォメーション・センター 548
エラー
 書式、DSA コード 138
エラー現象 147
 一般 141
 オプション装置 149
 キーボード 142
 偶発的 142
 シリアル・ポート 151
 ソフトウェア 153
 電源 150
 ネットワーク接続 149
 ハード・ディスク 141
 マイクロプロセッサ 146
 マウス 142
 メモリー 144
 モニター 147
 DVD ドライブ 140
 ServerGuide 152
 USB デバイス 142
 USB ポート 154
エラー・コードとメッセージ
 IMM2 283
エラー・メッセージ 139
汚染、微粒子およびガス 6
汚染、粒子およびガス 554
オプション
 取り付け 27
オプション装置の問題 149
オプションの取り付け、完了 83

オペレーター情報パネル 17
オペレーティング・システム 3
オペレーティング・システム・イベント・ログ 9
音響放出ノイズ 6
オンライン資料 1, 4

【カ行】

ガイドライン
 オプションの取り付け 35
 システム信頼性 37
外部コネクタ 31
概要 1
拡張
 ベイ 6
ガス汚染 6, 554
カスタム・サポート Web ページ 549
下段ベゼル
 交換 84, 180
 取り外し 42, 179
カバー、サイド
 交換 86, 175
 取り外し 39, 174
可用性、サーバー 14
環境 6
管理、システム 9
管理者
 パスワード 107
完了
 オプションの取り付け 83
危険の注記 5
機能 6
 ServerGuide 97
機能、リモート・プレゼンスおよびブリー・スクリーン 9
キャッシュ 6
偶発的
 問題 142
組み込みハイパーバイザー
 使用 114
グリース、熱伝導 78, 273
ケーブル、接続 68, 88
現行ファームウェアの適用
 ベスト・プラクティスの使用 27
検索
 更新された資料 4
コール・ホーム機能
 IBM Electronic Service Agent 139
コール・ホーム・ツール 139

交換
 下段ベゼル 84, 180
 カバー、サイド 86, 175
 コンポーネント 173
 サーバー・コンポーネント 174
 システム・ボード 279
 考慮すべき注意事項 279
 シンプル・スワップ・ドライブ 206
 シンプル・スワップ・バックプレート 232
前面 USB コネクタ・アセンブリ 247
テープ・ドライブ 200
ハード・ディスク・ケージ 253
ハード・ディスク・ファン・ダクト 228
背面アダプター保持ブラケット 251
背面ファン 225
バッテリー、システム 220, 222
ヒートシンク 269
非ホット・スワップ・パワー・サプライ 256
フロント・パネル・アセンブリ 242
ベゼル 83, 179
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン 238
ホット・スワップ・ドライブ 211
ホット・スワップ・パワー・サプライ 259
ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージ 264
マイクロプロセッサ 269
メモリー・モジュール 214
DVD ドライブ 194
ServeRAID アダプター 186
Tier 1 CRU 230
Tier 1 CRU、交換 230
Tier 2 CRU 265
交換可能なサーバー・コンポーネント 161
更新
 サーバー構成 90
 汎用固有 ID (UUID) 118, 121
 ファームウェア 93
 IBM Systems Director 117
 Systems Director、IBM 117
構成
 情報 93
 手順 93
 RAID アレイ 116

構成 (続き)

- ServerGuide Setup and Installation CD 93
- ServerGuide で 98
- Setup ユーティリティ 93
- 構成プログラム 94
- 構成部品 170
- コネクタ
 - イーサネット 21
 - イーサネット・システム管理 21
- 外部 31
- サーバーの前面 17
- シリアル 21
- 内部 30
- 背面 21
- 背面、サーバーの 21
- パワー・サプライ 21
- ビデオ 21
- USB 17, 21
- コネクタ、内部、システム・ボード 30
- 個別設定したサポート Web ページの作成 549
- コントローラ
 - イーサネット 115
- コントロール、LED、および電源 17
- コンポーネント
 - サーバー 29, 161

[サ行]

- サーバー
 - 提供 9
 - 電源オンのサーバー内部での作業 37
 - 電源機能 23
 - 電源をオフにする 24
 - 電源をオンにする 23
- サーバー、前面図 17
- サーバー、バックアップ・ファームウェア始動 108
- サーバーが提供する機能 9
- サーバー構成、更新 90
- サーバーの構成 93
- サーバーのコントロール、LED、および電源 17
- サーバーのシャットダウン 24
- サーバーの電源をオフにする 24
- サーバーの背面図 21
- サーバーのラックへの取り付け 90
- サーバー・コンポーネント 29, 161
- サーバー・ファームウェアのリカバリー 154
- サービスおよびサポート
 - 依頼する前に 547
 - ソフトウェア 549
 - ハードウェア 550

- サイズ 6
- サポート Web ページ、カスタム 549
- サポート、入手 547
- 事項、重要 552
- システム管理 9
 - イーサネット・コネクタ 21
- システム管理ツール
 - IBM Systems Director 16
- システムの信頼性に関するガイドライン 37
- システム・ボード
 - 外部コネクタ 31
 - 交換 279
 - 始動パスワード・スイッチ 106
 - スイッチとジャンパー 32
 - 取り外し 275
 - 内部コネクタ 30
 - LED 35
- システム・ボードの内部コネクタ 30
- 次世代テクノロジー 9
- 室温 6
- 湿度 6
- 質量 6
- 始動
 - バックアップ・ファームウェア 108
 - Setup ユーティリティ 99
- 自動ブート・リカバリー (ABR) 155
- ジャンパー
 - システム・ボード 32
 - UEFI ブート・リカバリー 154
- 重要な注 5
- 重要な注記 5, 552
- 取得 111, 112
- 仕様 6
- 使用
 - 組み込みハイパーバイザー 114
 - 統合管理モジュール 109
 - リモート・プレゼンス機能 111
 - Setup ユーティリティ 99
- 使用可能化
 - Features on Demand
 - Ethernet ソフトウェア 115
 - RAID ソフトウェア 115
- 上段ベゼル
 - 取り外し 43, 85, 181, 182
- 冗長
 - イーサネット機能 14
 - イーサネット接続 9
 - ホット・スワップ電源機構 14
 - 冷却 9
 - vNIC 9
- 冗長性サポート
 - パワー・サプライ 9
- 商標 552
- シリアル番号
 - ロケーション 159

- シリアル・コネクタ 21
- シリアル・ポートの問題 151
- 資料
 - 使用 548
 - Documentation Browser 3
 - Documentation CD 3
- 資料、更新された
 - 検索 4
- 診断
 - オンボード・プログラム、開始 137
 - ツール、概要 133
 - プログラムの概要 135
- 診断コードおよびメッセージ
 - POST/UEFI 429
- 診断プログラム
 - DSA Preboot 9
- シンプル・スワップ・ドライブ
 - 交換 206
 - 取り外し 205
 - 取り付け 63
- シンプル・スワップ・バックプレート
 - 交換 232
 - 取り外し 230
- 信頼性、サーバー 14
- スイッチ
 - システム・ボード 32
- スイッチ・ブロック 32
- スタンバイ・モード 23
- スロット 6
- 寸法 6
- 静電気に弱い装置
 - 取り扱いのガイドライン 38
- 静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 38
- 接続
 - ケーブル 68, 88
 - 外付けデバイス 90
- 前面 USB コネクタ・アセンブリ
 - 交換 247
 - 取り外し 244
- 前面図
 - コネクタ 17
 - LED の位置 17
- 前面図、サーバーの 17
- 装置、静電気の影響を受けやすい
 - 取り扱いのガイドライン 38
- 外付けデバイス
 - 接続 90
- ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 549
- ソフトウェアの問題 153
- ソフトウェア要件 3

[タ行]

対称多重処理 9
チェックアウト手順 131
 実行 132
注 5
注意の注記 5
注記 5, 551
 電磁波放出 555
 FCC、Class A 555
ツール、コール・ホーム 139
ツール、診断 133
通信規制の注記 555
粒子汚染 6, 554
データ収集 127
データの収集 127
テープ・ドライブ
 交換 200
 取り外し 198
 取り付け 59
ディスプレイの問題 147
手順、チェックアウト 132
テスト・ログ、表示 138
デバイス
 取り付け 27
デバイス・ドライバー 108
電源 108
 電源制御ボタン 17
 要件 6
電源オンのサーバー内部での作業 37
電源オンの状態でのサーバー内部での作業 37
電源機能
 サーバー 23
電源コード 171
電源制御ボタン 17
電源制御ボタン・シールド 17
電源入力 6
電源の問題 150, 156
電源をオフにする、サーバーの
 内蔵ベースボード管理コントローラー 24
電源をオンにする、サーバーの 23
電子情報技術産業協会表示 558
電磁波放出 Class A の注記 555
電話番号 549, 550
統合管理モジュール
 イベント・ログ 9
 概要 9
 使用 109
統合管理モジュール II
 エラー・メッセージ 283
 プログラム 94
ドライブ 6, 11
 取り外し 190
 取り付け 54, 190

ドライブ・ベイ、内部 190
トラブルシューティング 127
 現象 139
取り外し
 下段ベゼル 42, 179
 カバー、サイド 39, 174
 コンポーネント 173
 システム・ボード 275
 上段ベゼル 43, 85, 181, 182
 シンプル・スワップ・ドライブ 205
 シンプル・スワップ・バックプレート 230
 前面 USB コネクタ・アセンブリー 244
 テープ・ドライブ 198
 ドライブ 190
 ハード・ディスク・ケージ 252
 ハード・ディスク・ファン・ダクト 227
 背面アダプター保持ブラケット 250
 背面ファン 224
 バッテリー、システム 220
 ヒートシンク 44, 265
 非ホット・スワップ・パワー・サプライ 254
 フロント・パネル・アセンブリー 240
 ベゼル 40, 177
 ホット・スワップ・ドライブ 210
 ホット・スワップ・バックプレーン 236
 ホット・スワップ・パワー・サプライ 258
 ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージ 262
 マイクロプロセッサ 44, 265
 メモリー・モジュール 212
 DVD ドライブ 192
 ServeRAID アダプター 183
取り付け 1
 サーバーのラックへの 90
 シンプル・スワップ・ドライブ 63
 テープ・ドライブ 59
 ドライブ 54, 190
 バッテリー、システム 222
 ヒートシンク 73
 非ホット・スワップ・パワー・サプライ 79
 ホット・スワップ・ドライブ 67
 ホット・スワップ・パワー・サプライ 81
 マイクロプロセッサ 73
 メモリー・モジュール 48
 DVD ドライブ 56
 ServeRAID アダプター 69
取り付け、オプション 27
取り付けのガイドライン 35

[ナ行]

内蔵機能 6
内蔵ベースボード管理コントローラー 24
内部、システム・ボード・コネクタ 30
内部コネクタ 30
熱伝導グリース 78, 273

[ハ行]

ハードウェア、構成 94
ハードウェアの構成 94
ハードウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 550
ハードウェア要件 3
ハード・ディスク
 活動 LED 17
 状況 LED 17
 問題 141
ハード・ディスク・ケージ
 交換 253
 取り外し 252
ハード・ディスク・ファン・ダクト
 交換 228
 取り外し 227
背面アダプター保持ブラケット
 交換 251
 取り外し 250
背面図 21
 サーバー 21
背面ファン
 交換 225
 取り外し 224
パスワード 105
 管理者 105
 パワーオン 105
パスワード、始動
 スイッチ、システム・ボード上の 106
バックアップ・ファームウェア
 始動 108
バッテリー、交換 222
バッテリー、システム
 交換 220
 取り付け 222
発熱量 (消費電力) 6
パワーオン LED 23
パワーオン・セルフテスト 135
パワー・サプライ 6
 冗長性サポート 9
ヒートシンク
 交換 269
 取り外し 44, 265
 取り付け 73
ビジネス・パートナーの手順 27, 28
ビデオ・コネクタ
 背面 21

ビデオ・コントローラー、内蔵仕様 6
非ホット・スワップ・パワー・サブライ交換 256
取り外し 254
取り付け 79
ブートが 3 回失敗しました 155
ブート・マネージャー・プログラム 94
ファームウェア、更新 93
ファームウェア、サーバー、リカバリー 154
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 27
ファームウェアの更新 1, 35
ファン 9
 シンプル・スワップ 6
部品、構造 170
部品リスト 161
ブルー・スクリーン機能 111
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 9
 概要 9, 111
フロント・パネル・アセンブリー交換 242
取り外し 240
文書化されていない問題 130
ベイ 6
米国 FCC Class A の注記 555
ベスト・プラクティス
 現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用するために使用 27
ベスト・プラクティスの使用
 ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用 27
ベゼル
 交換 83, 179
 取り外し 40, 177
ヘルプ
 ソース 547
 IBM への診断データの送信 549
 WWW から 548
返却
 コンポーネント 173
 装置 173
保守容易性、サーバー 14
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン
 交換 238
ホット・スワップ・ドライブ
 交換 211
 取り外し 210
 取り付け 67
ホット・スワップ・バックプレーン
 取り外し 236

ホット・スワップ・パワー・サブライ交換 259
取り外し 258
取り付け 81
ホット・スワップ・パワー・サブライ・ページ
 交換 264
 取り外し 262
ポリシー・オプション 108

[マ行]

マイクロプロセッサ 9
 および熱伝導グリース 78, 273
交換 269
仕様 6
取り外し 44, 265
取り付け 73
問題 146
未解決問題 158
ミラーリング 9
メッセージ、診断
 POST/UEFI 429
メニュー選択
 Setup ユーティリティ 100
メモリー 6, 9
メモリー・サポート 9
メモリー・スペアリング 9
メモリー・モジュール
 交換 214
 取り外し 212
 取り付け 48
モデル名
 ロケーション 159
問題 147
 イーサネット・コントローラー 156
 一般 141
 オプション装置 149
 キーボード 142
 偶発的 142
 シリアル・ポート 151
 ソフトウェア 153
 電源 150, 156
 ネットワーク接続 149
 ハード・ディスク 141
 マイクロプロセッサ 146
 マウス 142
未解決 158
メモリー 144
モニター 147
DVD ドライブ 140
IMM2 283
ServerGuide 152
USB ポート 154

[ヤ行]

ユーティリティ、セットアップ 94
ユーティリティ、Setup
 始動 99
 使用 99
ユーティリティ・プログラム
 IBM Advanced Settings 116
要件
 ソフトウェア 3
 ハードウェア 3

[ラ行]

リセット・ボタン 17
リマインド・ボタン 17
リモート・プレゼンス機能
 使用 111
冷却 9
レガシー・オペレーティング・システム
 要件 98
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 98
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 9
ロギング 113

A

ABR、自動ブート・リカバリー 155
AC 電源 LED 21
Active Energy Manager プラグイン 9
ASM イベント・ログ 9
Australia Class A statement 556

B

Boot Manager 107

C

Canada Class A electronic emission statement 556
China Class A electronic emission statement 559
Class A 電磁波放出の注記 555
CRU、交換
 システム・バッテリー 220

D

DC 電源 LED 21
Documentation CD 3
DSA 28
 エディション 136

DSA (続き)
 テキスト・メッセージ書式 138
 テスト・ログ、表示 138
 プログラム、概要 135
DSA Portable 133, 136
DSA Preboot 133, 136
DSA Preboot 診断プログラム 9
DSA データ
 IBM への送信方法 28
DSA データの送信
 IBM への 28
DSA ログ 9
DSA、IBM へのデータの送信 549
DVD
 イジェクト・ボタン 17
 ドライブ活動 LED 17
 DVD ドライブ LED 17
DVD ドライブ
 交換 194
 取り外し 192
 取り付け 56
 問題 140
Dynamic System Analysis 28
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot
 診断プログラム 9

E

European Union EMC Directive
 conformance statement 556

F

FCC Class A notice 555

G

Germany Class A statement 557

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
 概要 116
IBM Electronic Service Agent 139
IBM Systems Director 9
 更新 117
 システム管理ツール 16
IBM ビジネス・パートナー用の手順 27, 28
IBM への DSA データの送信方法 28
IBM への診断データの送信 549
IBM、次世代テクノロジー 9
IMM web インターフェース 113
IMM ホスト名 111

IMM 用の IP アドレス 112
IMM2 94
 エラー・メッセージ 283
IPMI イベント・ログ 9

J

JEITA 表示 558

K

Korea Class A electronic emission
 statement 558

L

LED
 イーサネット活動 21
 イーサネット・リンク状況 21
 サーバーの前面 17
 システム・ボード 35
 ハード・ディスク活動 17
 ハード・ディスク状況 17
 パワー・サブライ・エラー 21
 AC 電源 21
 DC 電源 21
 DVD ドライブ活動 17
Light Path 診断 9
Light Path 診断パネル 17

N

New Zealand Class A statement 556
NMI ボタン 21
NOS インストール
 ServerGuide で 98
 ServerGuide を使用しないで 99

P

PCI
 スロット 1 21
 スロット 2 21
 スロット 3 21
 スロット 4 21
 スロット 5 21
 スロット 6 21
 スロット 7 21
 スロット 8 21
PCI 拡張
 スロット 6
People's Republic of China Class A
 electronic emission statement 559
POST、概要 135

POST/UEFI
 診断コード 429
Preboot、DSA 診断プログラム 9

R

RAID アレイ
 構成 116
RAS 機能、サーバー 14
Russia Class A electronic emission
 statement 558

S

safety vii
Safety Information 5
ServeRAID アダプター
 交換 186
 取り外し 183
 取り付け 69
ServeRAID サポート 9
ServerGuide
 機能 97
 使用 97
 セットアップ 98
 NOS インストール 98
 Setup and Installation CD 93
ServerGuide CD 9
ServerProven 35
Service Bulletin 130
Setup ユーティリティー 93, 94
 始動 99
 使用 99
 メニュー選択 100
SMP 9
SW4 スイッチ・ブロックの説明 32
Systems Director、IBM
 システム管理ツール 16

T

Taiwan Class A electronic emission
 statement 559
Tier 2 CRU、交換 265
ToolsCenter for System x and
 BladeCenter 35

U

UDIMM 50, 216
UEFI
 ブート・リカバリー・ジャンパー 154
unbuffered DIMM 50, 216
Universal Serial Bus (USB) の問題 154
UpdateXpress 93, 108

USB

コネクタ 17, 21

V

VCCI クラス A 情報技術装置 558

VMware ハイパーバイザーのサポート
94

W

Wake on LAN 機能 23

X

x3100

概要 1



部品番号: 00Y8093

Printed in Japan

(1P) P/N: 00Y8093



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21